

社会基盤デザイン学科 40 周年誌

令和6年11月30日

宇都宮大学地域デザイン科学部

社会基盤デザイン学科

ご挨拶

宇都宮大学地域デザイン科学部
社会基盤デザイン学科 学科長
藤倉 修一

1982年(昭和57年)4月に宇都宮大学工学部に土木工学科が創立されて以来、40余年の歳月が過ぎました。その間、1988年の学科改組により当時の建築工学科と合体して建設学科と名称変更し、土木工学科は建設工学コースとなりました。さらに、2016年からの学部学科改組により地域デザイン科学部が創設され、その下に、建設工学コースは社会基盤デザイン学科となっております。1986年に大学院修士課程土木工学専攻の設置、1992年(平成4年)に大学院博士課程が設置されるなど、土木系学科組織として順調に発展してまいりました。

また、2006年(平成18年)には日本技術者教育認定機構(JABEE)から、技術者教育プログラムが社会の要求水準を満たしているとの認定を受けて、社会基盤デザイン学科となった現在まで継続しており、教育体制の充実にも努めてまいりました。社会基盤デザイン学科の現在があるのも、学内外の各方面の皆様の多大なるご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

卒業生も1986年(昭和61年)に第1期生を世に送り出して以来、2024年(令和6年)卒の第39期生まで既に1844名に達しております。初期の卒業生は60代の年齢を迎え、それぞれの組織の中核として活躍されてきました。そこで、ここに学科設立40周年を記念して本誌を発行し、これまでの40年を振り返るとともに、今後のさらなる発展のための礎とさせていただきたいと存じます。

現在、社会は大きな変動の時期を迎えております。特に、近年の自然災害の激甚化、地球温暖化、少子高齢化、地方の衰退などを鑑みますと、今後の建設技術者に求められる資質も変化していくものと予測されます。それに伴って社会基盤デザイン学科としては、どのような人材を育成し、世に送り出していくべきか、常に見直していきたいと考えております。我々、教職員スタッフ一同、真摯に世の中の課題と向き合い、迅速に組織対応していく所存ではございますが、皆様方のご助力も切に必要としております。どうか、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

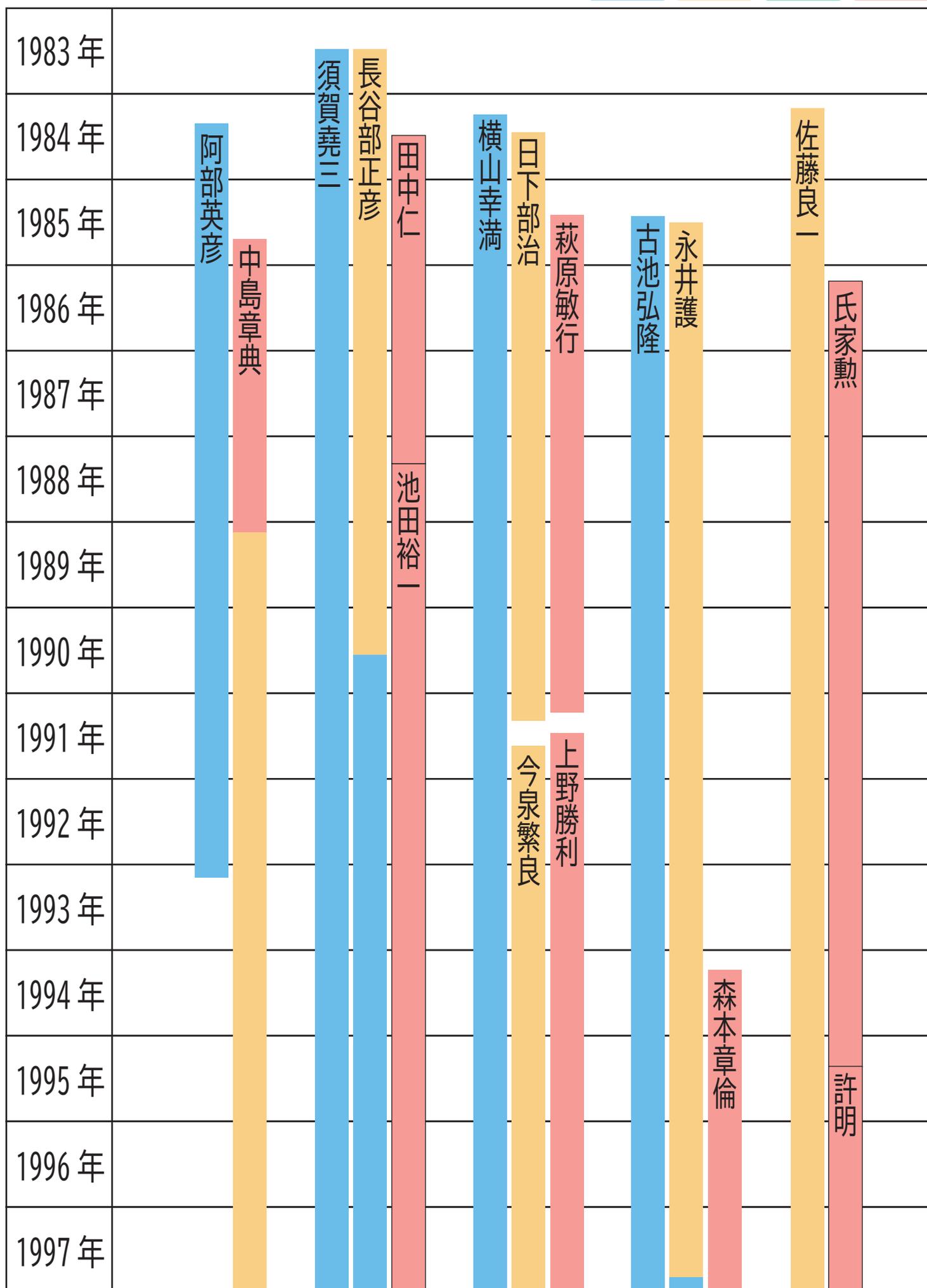
教員の異動

教授

准教授

講師

助教



構造研究室



藤倉修一教授



THAY Visal 助教

本研究室は、1984年に阿部英彦先生が赴任し、1985年には中島章典先生を迎え、2名体制で研究室の基盤を築きました。阿部先生は1993年に足利工業大学に移籍されました。2009年には秋の叙勲で瑞宝小綬章を受賞され、また、土木学会の委員会などでも顧問として活動されていましたが、2013年にご病気のため逝去されました。中島先生は約35年間にわたり研究室を率い、退職後は宇都宮大学名誉教授および(株)HRC研究所の技術顧問として研究活動を続けられており、2024年には土木学会功績賞を受賞されました。

また、1998年には斉木功先生が着任し、2005年に東北大学へ異動されました。その後、2006年に鈴木康夫先生が赴任し、2014年に京都大学へ、さらに現在は富山大学へと転任されています。本研究室出身のNGUYEN Minh Hai先生は2015年から2020年まで在籍し、その後母国ベトナムに帰国し、ダナン工科大学に赴任されています。現在、本研究室は2016年に米国のARUP社から帰国して着任した藤倉修一先生と、2021年から加わった本研究室出身のTHAY Visal先生の2名体制で運営されています。

約40年間で本研究室の卒業生・修了生は200名を超え、研究室が大きく発展して参りました。現在、教授1名、助教1名、博士後期課程1名、修士課程9名、学部4年生5名、秘書1名の計18名が所属しております。本研究室では、先輩と後輩が協力して研究を進めることにより、強い結束力を持って、活発に研究活動を行っています。さらに、研究室旅行や定期的なOB・OG会を通じて、メンバー間の親睦を深めています。卒業後も、OB・OG同士が支え合いながら、土木分野で活躍しています。

現在の、主な研究テーマは、橋梁を中心とした社会基盤構造物を対象に、地震などの災害に対して強い技術や構造形式の研究を行っています。また、複合構造や新材料を活用した新構造形式の開発も行っており、実験による実証と数値解析技術の確立を通じて、新しい技術の実構造物への可能性を追求しています。さらに、鋼構造物の補修・補強設計にも取り組み、軽量で腐食しない炭素繊維強化プラスチック接着に着目し、接着接合部の静的強度・疲労強度および破壊メカニズムの解明を行っています。具体的には、大きく分けて以下の5つの研究課題に取り組んでいます。

1. 球面すべり支承による免震橋の開発

2. 橋梁の動的挙動に関する研究
3. 新たな耐震性の高い橋脚の開発
4. 新たな橋梁上部構造に関する研究
5. 既設鋼構造物の補修・補強に関する研究

本研究室の主な実験設備として、一軸載荷フレーム、振動台、二軸載荷フレーム、振動疲労試験機の4つあります。1つ目は、阿部英彦先生と中島章典先生の時代に導入された一軸載荷フレーム（通称：富士山）で、主に鋼コンクリート複合構造の静的載荷実験を行っています。2つ目は、2004年に導入された一軸振動台で、様々な振動台実験を実施しましたが、2024年により能力の高い新たな振動台に更新されました。来年の2025年には二軸目の載荷装置を追加予定で、より幅広い振動台実験が期待されます。3つ目は、2022年に導入された二軸載荷フレームで、橋脚の正負交番載荷実験を主に行っています。4つ目は、2022年に導入された振動疲労試験機で、接着接合部や鋼部材溶接継手の疲労実験に使用しています。その他にも、載荷装置（油圧ジャッキ、ロードセル各種）、非接触3次元動的挙動計測システム、データロガー（高速・高精度・高機能データロガーT-ZACCS、動ひずみ測定器TMR、データロガーTDS各種）など、充実した実験環境が整っています。

本研究室の方針として、これまでに培ってきた日本国内外での研究および実務経験を活かし、実社会で求められるニーズを念頭に置きながら、研究と教育を進めています。国際化が進む現代において、重要なスキルや知識を学生と共有し、社会に貢献できる人材を育てていきたいと考えています。



写真-1 一軸載荷フレーム（富士山）

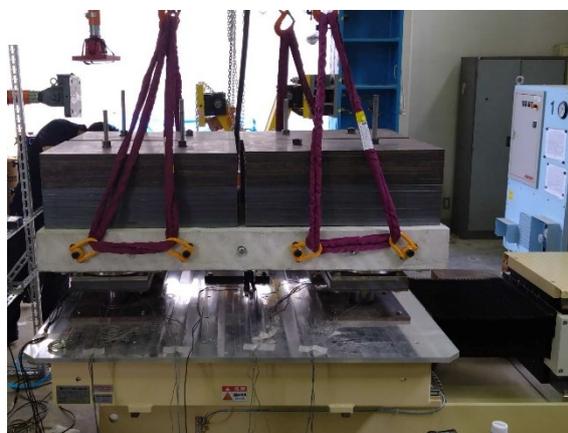


写真-2 振動台

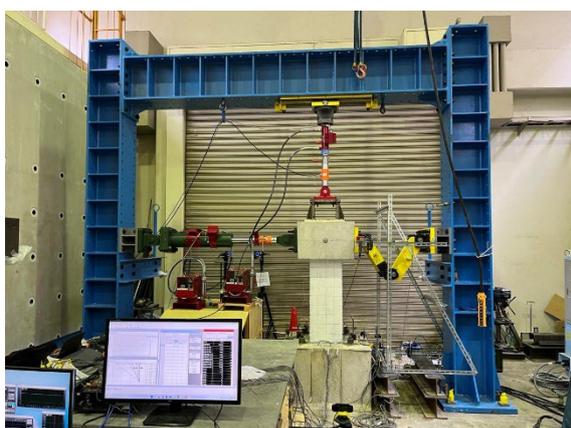


写真-3 二軸載荷フレーム



写真-4 振動疲労試験機



池田 裕一教授



飯村 耕介准教授

本研究室は当初は水工学研究室として、須賀堯三教授（当時）、長谷部正彦助教授（当時）、田中仁助手（当時）、宮崎勝巳技官の構成で発足しました。その後、1988年3月に田中助手が東北大学に転任し、同年4月に池田裕一助手（当時）が着任、また同年6月に宮崎技官が建設省に転任し、翌年4月に河森克至技官が着任しました。しばらく入れ替わりはありませんでしたが、1990年に長谷部助教授は教授に、1996年に池田助手が助教授に昇格し、1997年3月に河森技官が退任いたしました。

その後、須賀教授は2001年3月に定年退職し（宇都宮大学名誉教授）、現在は河相工学研究堂を主宰しています。また長谷部教授は2010年3月に定年退職して宇都宮大学名誉教授となりました。これと並行して、2002年5月には鈴木善晴助手が京都大学から赴任して2010年3月に法政大学に転任、同年4月には岡本隆明助教が京都大学から赴任して翌年3月には同大学に転任しました。そして2012年7月に飯村耕介助教が着任し、2014年4月には池田准教授が教授に、2023年6月には飯村助教が准教授にそれぞれ昇格し、現在はこの両名で活動しています。

現在の流域デザインという研究室名には、「流域」という水源地から海岸までを含む地域全体を対象とし、つくること（Engineering）だけでなく運用すること（Management）をも視野に入れ、広い意味で「デザイン」することを掲げて研究・社会活動をしていこうという意気込みが込められています。研究テーマとしては、水の流れ、地形の変化、水質の変化、生態系などといった、自然の仕組みや、災害対策、環境保全などといった地域社会との関わり、インターネット、GPS、GIS（地理情報システム）、衛星データなどといった情報技術の活用、等々、さまざまな視点から取り組んでいます。



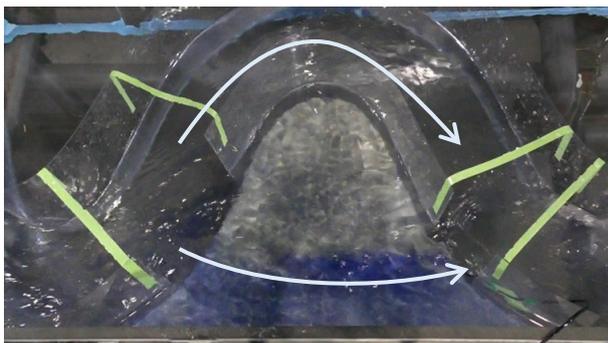
平成 27 年 9 月関東・東北豪雨の被害調査



令和元年東日本台風の被害調査

近年、地球温暖化に伴う気候変動による水災害の激甚化が大きな課題となっております。河川の外水氾濫だけではなく、堤内地における内水氾濫の対策を含めた「流域治水」の実装が急務となっております。その中でも自然環境への配慮をしつつ、自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するグリーンインフラの考え方に注目が集まっています。本研究室では高原地域における田んぼダムや、森林が有する氾濫軽減機能に関して、現地における田んぼや水路の水位計測、模型実験や数値シミュレーションなどにより検討を行っています。近年発生した河川の氾濫被害に際しては、平成27年関東・東北豪雨後の鬼怒川や、令和元年東日本台風後の栃木県内の中小河川における被害の調査を実施し、ドローンによる写真測量も導入して、破堤や氾濫被害、それに伴う水の流れの変化や地形の変化、河道内外の植生への影響について詳細に調べてきました。特に、蛇行の大きな河川における氾濫戻り流れに対して、戻ったあとの対岸にも大きな被害を与えたことから、画像処理を活用した流速測定システム（PIV）を利用した面的な流速場の非定常測定を実施して現象の解明に取り組んでいます。また、小山市の思川にある羽川西浄水場の東島田取水塔は姿川との合流部の下流側に位置し、2000年代から取水塔周辺に中州が形成され、安定した取水が困難になっているという問題が起きています。抜本的な解決に向けて、中州の粒径調査やドローンによる地形測量、移動床による模型実験や数値シミュレーションによって取水塔周辺における土砂堆積要件を明らかにするために研究を進めています。

地球温暖化に伴う気候変動によって、これまでにない自然環境の変化や想定外の自然災害にさらされることが今後ますます多くなることでしょう。少子高齢化や人口減少、地域や国の債務長期化などマネジメントでも多くの問題が現れてきています。このような状況下で、いかに流域をデザインしていくか、私たちの活動の真価が問われています。今後とも、皆様方からのご指導ご鞭撻をお願いいたします。



氾濫戻り流れの対岸への影響に関する室内実験



思川・姿川合流部における粒径調査とドローン写真測量によるオルソ画像



岩盤工学研究室



清木 隆文准教授

1. はじめに ご存知のとおり全国には、多くの大学がありますが、主に岩盤を対象に工学的な視点から研究を進める研究室の数は限られています。その数少ない岩盤系の研究室の一つが、本学にあります。ただ岩盤工学研究室とは言っても、本来持つべき岩石用のせん断試験器や圧縮試験機など、大規模で重厚な実験装置や実験機器を持って居る様な研究室ではありませんので、手元にある限られた実験機器や測定機器、数値解析ツールを活用して研究をすすめています。

2. 研究室の構成について 研究室構成メンバーは、教員他、主に学部4年生で、和気藹々と研究をすすめています。さらに研究を進めたいと希望して来る博士後期課程、博士前期課程の学生も時折在籍しています。全国的にも少ない研究分野の研究室であるからか、海外からの留学生も時折在籍しています。研究室では、全員参加のもと週1回のゼミで研究の進捗を確認するとともに、個々の学生は、それぞれの研究テーマに応じて、現場調査、室内試験、数値解析を行っています。留学生がいる時は、研究室では時折、英語が飛び交っています。

3. 研究室の研究活動 (1)岩盤工学研究室の研究概要 岩盤工学研究室では、岩盤に関連したテーマ、地下空間の有効利用に関するテーマ、その他のテーマに分けて研究を進めています。宇都宮市には、岩盤力学の分野で良く用いられる岩盤材料、大谷石(おおやいし)を産出した後に生れる広大地下採石場の跡地(以下、大谷採石地下空間)が分布しており、岩盤力学・岩盤工学の視点から、大谷石を材料として扱うとともに、採石跡の地下空間を採石地下空間としてその短期及び中長期の構造安定性が研究対象となります。これに加えて大谷採石地下空間の有効地用が地下空間利用の研究テーマとなります。次節以降、最近の研究室の研究テーマとその概略を紹介します。

(2) 研究の概要 (a) 大谷石の風化に関する研究 大谷石は風化の影響を受けやすく、劣化して肌落ちや剥離を起こすだけでなく、淡い緑色から茶褐色に変色するために石材業者鳴かせのところがあります。

(b) 大谷石表面の色調変化に関する研究 大谷石表面の色は、採石あと時間の経過とともに変化します(写真-3)。これを色調変化としてとらえ、大谷石石材がおかれている環境条件や管理の状態の違いによって変色の進行に差が生じることを検討しています。室内で管理されている大谷石と屋外で管理されている大谷石では、変色の進み方や程度に大きな差が現れていることが確認されています。実際に長年外壁に使用されている大谷石石材の多くは赤褐色や黒色に変色していま

す。自然な色合いを持つ大谷石は建材として魅力的ですが、色調が変化する際、一様に変化せず、変色速度が推定できないことが問題です。そこで、本研究では大谷石に影響を与えると考えられる環境条件を設定し、新鮮な大谷石の色調が変化する条件を実験的に検討し、色調値の測定、構成鉱物の特定、表面強度の測定を行うことによって、大谷石が色調変化する原因究明を行い、色調を上手くコントロールすることを目指しています。

(c) 大谷石の表面剥離に関する研究 大谷石は、石材として、耐震性、耐火性に優れていることから様々な用途に利用されてきました。軟らかい岩質なため、加工しやすい一方で、地上環境では風化の進行が早く、それに伴う変色だけでなく、強度低下や岩石表面の欠落がよく見られます(図-1)。こうした風化による問題の予測をするためには、地上環境における化学的風化の影響によって起こる強度低下、鉱物組成の変化の関係を捉え、化学的風化による劣化状態を定量的に判断できる指標の作成を試みています。塩類の析出と表面環境の変化や剥離を起こす引き金と考え、検討もすすめています。表面の温度の違いも一つの注目点です(図-1)。

(2) 大谷石採石地下空間の構造安定性に関する研究 大谷地域には200箇所を超える地下採石場の跡地があります。そのほとんどが水没しようとしています。平成元年～3年にかけての大規模崩落事故以降、その安定性の確認のために、(公財)大谷地域整備公社によってモニタリングが継続的に実施されています。本研究室では、これらを有効利用することを目的に必要な大谷採石地下空間の構造安全性を確認するための研究を進めています。

(3) 大谷石の採石時の安定性及び有効利用に関する研究 既存の地下空間である大谷採石地下空間跡地は過去に利用されてきた例はありますが、安全性に対する不安から、利用が中止になる場合もあります。そこで、大谷地域に関わる事業者を対象に、大谷採石地下空間内部における安全性に不安を感じる要素を知るために、大谷で事業を展開しようとする方などを対象にアンケート調査を行い、地下空間に不安を感じる要素の調査を行いました。その要素の一つがキズと言われる壁や柱などに入る節理です。構造の3次元モデル化を行い、数値解析を行った範囲では、が構造安定性に大きな影響を与えないと考えられます(図-2)。ただし、②地震時や③長期的な安定性は、岩盤動力学の視点からの検討も進めて居ます。

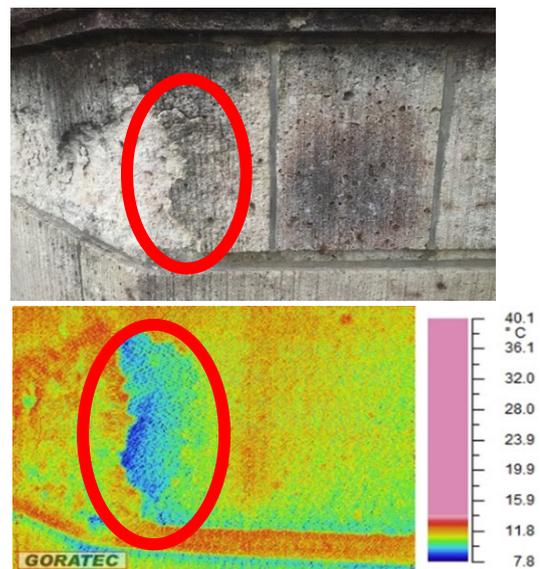


図-1 大谷石石材の剥離と温度分布(上：剥離した大谷石擁壁，下：剥離部分周辺の温度)

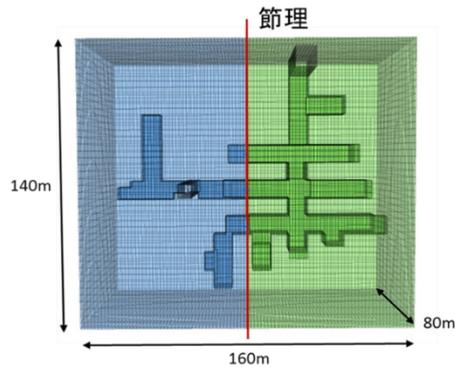


図-2 キズ(節理)を考慮した大谷採石地下空間空館間の数値解析モデル(平面図)

4. まとめ 本学は、大谷の採石地下採石場が点在する宇都宮市大谷地域の近隣にあることから、地域に根差す意味で岩盤工学の研究対象に、恵まれています。石材業者の方は、大谷石石材の色合いの経年変化や風雨に晒された後の劣化に気を揉んで居られるので、この苦労を何とか軽減したいと考えています。また、大谷地域の広大な採石地下空間群の安全性確保は、単独では達成できないので、数多くある大谷採石地下空間の有効利用を原動力として確立するフレームワークづくりを行い、これを国内外の採石・採掘後の坑道の利活用に応用できればと考えます。

地盤工学研究室



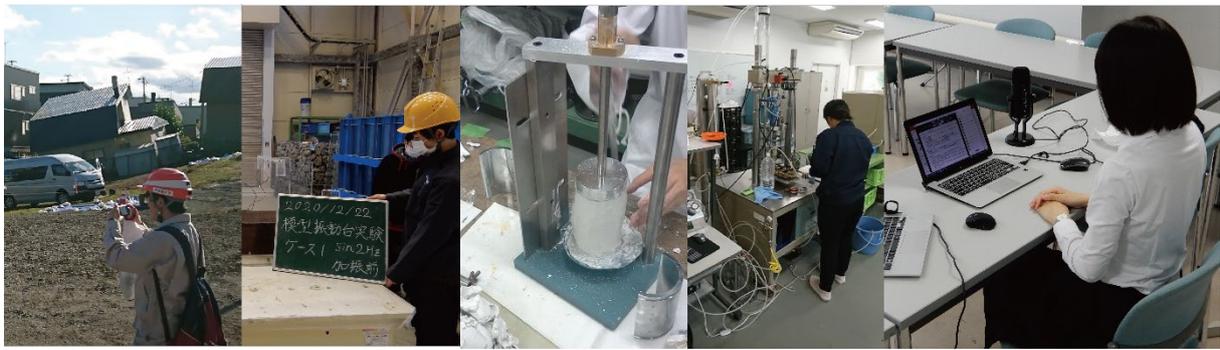
海野 寿康准教授

地盤工学 (Geotechnics, Geotechnical Engineering) は、建物、橋梁、道路、ダムなどの社会基盤を安全に支えるための「基礎」に関する学問であり、地盤災害の予防や地盤環境の保全を含む広範な分野です。この分野での研究は、社会の安全と持続可能な発展に直接的に寄与するものであり、宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科に所属する私、海野寿康が主宰する研究室では、特に「土」(soil) に焦点を当てた研究に取り組んでいます。当研究室では、土質工学／土質力学 (Soil Mechanics) を専門とし、土の物理的および力学的特性を詳細に理解することを目指しています。

私 (海野) は、2014年9月に宇都宮大学工学部建設学科に赴任して以来、地盤工学／土質工学分野で研究を続けてきました。特に、土の要素せん断特性に関する研究では、これまでの成果により国内外にて一定の評価を受けており、地震時の地盤挙動の理解や災害対策において大きな貢献を果たしています。私の研究室では、地震による液状化現象や豪雨時の土砂災害、産業活動による土壌汚染といった現代社会が直面する多様な課題に対して、物理・力学試験、模型実験、数値解析といった多角的なアプローチを用いて研究が進められています。

また、最近では地盤工学や土質工学分野に加えて、舗装工学分野にも研究活動を広げています。具体的には、アスファルト乳剤メーカーとともに、災害に強いアスファルト舗装の研究を行っています。この研究では、自然災害による道路の損傷を最小限に抑え、インフラの耐久性を向上させるための新しい材料や施工技術の開発に取り組んでいます。これにより、地盤と舗装の両方において、災害に強い社会基盤の構築を目指しています。

当研究室では、特に振動三軸試験機や中空ねじりせん断試験機、空圧式一面せん断試験装置などの高度な土質試験装置を活用し、「土」の物理特性・力学特性を詳細に分析しています。これらの研究結果は、地震や豪雨などの自然災害に対するリスクを低減するための基礎データとして、地域社会の安全性向上に寄与しています。



また、当研究室では、国内外の様々な研究機関や企業と連携し、共同研究を行っています。横浜国立大学、東北大学、鉄道総合技術研究所、五洋建設株式会社、ニチレキ株式会社など国内のパートナーとの共同研究により、実社会での課題解決に向けた新技術や知見を生み出しています。さらに、国際的には台湾科学技術大学（台湾）やオークランド大学（ニュージーランド）と協力し、地盤工学のグローバルな課題に対して共通の解決策を模索しています。これらの共同研究を通じて、地盤工学の最先端の知識と技術を世界中に発信しています。

研究室の活動は、私の研究に留まらず、学生たちの活躍にも支えられています。学生たちは、研究室での研究活動を通じて、学会発表や論文執筆を行い、国内外でその成果を発表しています。彼らの努力と成果は、地盤工学の分野において高く評価されており、多くの学生が学会での受賞や国際会議での発表を果たしています。また、学生たちは、共同研究プロジェクトに積極的に参加し、実践的なスキルを磨きながら、社会で即戦力として活躍できるエンジニアとして成長しています。

宇都宮大学地盤工学研究室では、これらの研究活動を通じて、地域社会の安全と持続可能な発展に寄与することを目指しています。そして、学生たちと共に、地盤工学と舗装工学の最先端を追求し、社会に貢献できる成果を生み出していくことをこれからも続けていきます。

文責：海野寿康



都市計画研究室



大森 宣暁教授



長田 哲平准教授

本研究室は、1985年に、古池弘隆先生（現宇都宮共和大学特任教授）と永井護先生が赴任された際に、「地域計画学研究室」として発足しました。その後、1994年に森本章倫先生（現早稲田大学教授）が赴任され、2010年より研究室名を「都市計画研究室」へ変更しました。そして、2013年4月に長田哲平先生が赴任し、2014年4月に森本先生が早稲田大学に異動され、同年9月に大森宣暁先生が着任しました。2024年9月現在のメンバーは、大森教授、長田准教授、博士後期課程4名（うち社会人ドクター3名）、博士前期課程3名、学部生7名です。研究室は、教員部屋、学生部屋、会議室が、ドアを開ければ一体となる空間として設計されており、学生全員に机とパソコンが割り当てられています。学期期間中に毎週行われる研究室全員参加の全体ゼミで、研究指導および情報共有を行う他、学生が中心となって自主的に学ぶテーマゼミを行っています。その他、新歓コンパ、忘年会、追いコンなどの飲み会をはじめ、学科研究室対抗ソフトボール大会への参加や、伝統行事である「3大学合同合宿」と称した他大学の研究室との合同ゼミ合宿など、各種イベントを実施していますが、全てのイベントの運営は学生が主体となっています。

本研究室では、都市計画、交通計画全般に関わる研究を行っていますが、ここでは現在の2教員の主な研究分野を紹介します。

●大森宣暁教授：都市交通計画、活動・交通行動分析、バリアフリーのまちづくりを専門としています。最近の研究テーマを以下に挙げます。

・バリアフリーのまちづくり：高齢者、障害者、子育て世帯を含めて、誰もが安全・安心・快適な生活を送ることができるまちづくりを目指した研究を行っています。最近では、子育てしやすく子どもにやさしい交通環境実現のための教育・行動変容プログラムの開発と適用と題して、子ども連れの移動の大変さを経験させ、心のバリアフリーの促進効果を検証する研究を行っています。

・LRTとモビリティマネジメント：2023年8月に開業したLRTの利用促進に向けて、どのような人がLRTを利用しているのか、今後どのような人がLRTを利用する可能性があるのか、LRT利用促進のための態度・行動変容に有効な動機づけ情報はどのようなものかを検討するため、Google Maps APIを活用した調査システムを開発し、データ収集・分析を行っています。

・夜の都市計画：従来の都市計画が昼間の都市活動を主たる計画対象としてきたという認識から、夜の生活活動に着目して、生活の質を向上させる都市と交通のあり方について研究を行っています。宇都宮まちづくり推進機構と連携し、泉町活性化プロジェクトに参加し、繁華街再活性化に取り組んでいます。

●長田哲平准教授：都市計画，交通計画，ロジスティクスを専門としています。最近の研究テーマを以下に挙げます。

・中心市街地の人流計測：人々が生活すると人やモノが動きます。それは時間，曜日，季節，天候さらには街中で実施されているイベントなどによって異なります。宇都宮市と連携し2016年から中心市街地での人の通行量の常時計測を行い，時系列的にどんな変化が生じているのか分析しています。

・LRTが導入されたまちづくり：開業前にはLRTが導入された交通環境や街並みを体験してもらええるVRの開発，交通の変化の交通流シミュレーション分析などを実施してきました。2023年8月に開業した芳賀・宇都宮LRT（ライトライン）が導入されたことによって沿線住民の交通行動がどのように変化したのかアンケート調査や，交通がどのように変化したのかAI画像解析を使ったデータ収集・分析を行っています。

・人と環境にやさしい都市内物流：人々が生活する上で物流は欠かせません。特に，ネット通販やフードデリバリーなどで物流量は増えています。モノを届けるためには駐車が必要ですが，駐車は道路交通の阻害などを引き起こします。都市内で余っている駐車場を都市内物流に使えないか駐車場のあり方について研究しています。

材料研究室



藤原 浩已教授

材料研究室では、社会基盤の構築に欠かすことのできないセメント・コンクリート材料を対象に、従来よりも高い機能性・耐久性・施工性を実現するための研究開発を行っています。

これまでにいくつもの世界初となるような製品を開発しています。特にチクソトロピー性状を付与したセメント質系材料は、現在、200 ミリ以上の厚付けが可能な吹き付け補修材、1000メートル以上の長距離圧送吹き付け材、3Dプリンター用モルタルなどに商品化され高いシェアを持っています。また、研究活動においては特に大学院生に海外での研究発表の機会を多く設けたり、研究室の学生を連れて海外の建設現場などを訪れ、現地で活躍する日本人技術者との交流の場を設けております。

以下にこれまでと現在の研究室の主な研究内容について紹介します。

低炭素型コンクリートの開発に関する研究

近年、地球温暖化に配慮した材料としてセメント量の少ない低炭素型コンクリートが注目されていますが、本研究室では世界に先駆けて2007年よりセメントの使用量を極力抑え産業副産物を多量に用いた、低炭素型コンクリートの開発に取り組み、世界に情報発信を行っております。

- ・ Study on High Strength Concrete for Low Cement Content, Kaname SAITOH, Hiromi FUJIWARA, Masanori MARUOKA and Yasuto YAMANASHI, International Conference on Advanced Materials, Development and Performance 2008 (AMDP2008) CD-ROM, Beijing, China, 2008
- ・ Study on the physical properties of environmental loading reduction type high strength mortar, Kaname Saito, Hiromi Fujiwara, Masanori Maruoka and Yasuto Yamanashi, Proceeding of 4th International Conference on Construction Materials, pp.1009-1014, Nagoya, Japan, (2009)
- ・ セメントフリーコンクリートの物性に関する研究, 齋藤賢, 藤原浩已, 丸岡正知, 山梨泰斗, コンクリート工学年次論文集 CD-ROM, Vol.31, 2009.

セメントクリンカーを用いたコンクリートの特性に関する研究

クリンカーとはセメント製造の中間生成物であり、これに石膏を加えて粉砕したものがセメントとなります。現在、セメント業界では、産業廃棄物・副産物を受け入れ、これらを原料としてセメントクリンカーを製造しています。近年、廃棄物発生量の増減はほとんどないのですが、セメントの国内需要は減少傾向にあることから、今後もセメント業界での廃棄物の受入れ量を維持するためにはクリンカーのセメント以外の用途を考案する必要があります。

そこで本研究室では、クリンカーを用い、クリンカーの有効な利用方法の一つとしてコンクリート用骨材に着目しました。この研究では、コンクリートにひび割れが発生した際に、ひび割れ発生面に浸入した水とクリンカーが水和反応を生じ、析出する水和生成物によりひび割れが充填されるという、クリンカーの水和反応性を利用した、補修を必要としない自己治癒コンクリートの開発を目的の一つとしています。また、クリンカーを骨材とすることで耐久性に優れたフライアッシュ多量混和コンクリートの開発も行っており、ここでも産業廃棄物の有効活用化技術の開発を進めています。

・各種クリンカーを細骨材として用いたコンクリートの自己治癒性能評価に関する研究, 伊藤駿之介, 藤原浩巳, 丸岡正知, 林建佑, コンクリート工学年次論文集 Vol. 41, No. 1, pp. 1415-1420, 2019

・ THE STUDY ON FUNDAMENTAL PROPERTIES AND SELFHEALING PERFORMANCE OF CONCRETE USING BELITEGHELENITE CLINKER AS FINE AGGREGATE, Fumihiko WATANABE, Hiromi FUJIWARA, Masanori MARUOKA, Syunnoshuke ITO, Kento HAYASHI, Proceedings of the International Conference on Sustainable Materials, Systems and Structures (SMSS2019), 2019

チクソトロピー性状を有する常温硬化型吹き付け超高強度繊維補強コンクリート (UFC) の開発

超高強度繊維補強コンクリート (UFC) とは、高強度モルタル内に繊維を混和することにより、150 N/mm² の圧縮強度と 20 N/mm² 以上の曲げ強度を有し、塩化物イオンをはじめとする有害因子に対する侵入抵抗性、凍結融解作用に対する耐久性および弱点である引張特性を改善した材料です。この UFC にチクソトロピー性状および常温硬化性状を付与することで、これまでにない極めて高い性能を有した吹き付け補修材の開発を行っております。

・ Experimental study on properties of ultra-high strength fiber-reinforced concrete containing ordinary Portland cement and various metal fiber, Ryosuke OTHUKA, Hiromi FUJIWARA, Masanori MARUOKA, Fumihiko WATANABE, Proceeding of 3rd R N Raikar Memorial International Conference & Gettu-Kodur International Symposium on ADVANCES IN SCIENCE & TECHNOLOGY OF CONCRETE, 2018

材料研究室では、以上の外にも様々な高性能材料の開発を行っております。

マネジメント研究室



山岡 暁教授



近藤 伸也准教授



中川 嵩章助教

宇都宮大学工学部建設学科建設工学コースは、2016年度より地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科になりました。これにともなって阪田和哉先生がコミュニティデザイン学科に移られ、マネジメント研究室は、株式会社ニュージェックより来られた山岡暁教授、(公財)ひょうご震災21世紀研究機構人と防災未来センターより来られた近藤伸也准教授、東邦大学付属東邦中・高等学校より来られた松本美紀助教の3人による体制となり、研究と教育をはじめました。新体制になってから2023年度までの8年間で、卒論生63名、修士課程7名、博士課程1名が卒業/修了いたしました。

松本先生は2018年に外部に移られて、現在は静岡理工科大学で准教授をされています。2019年度から高知工科大学より王玲玲(渡邊玲恵子)助教が着任され、2022年度まで在籍されました。2023年3月より東京工業大学から中川嵩章助教が着任され2024年度現在に至ります。研究室全体では2ヶ月に1度に合同ゼミと懇親会をするなど、個々の研究を尊重しながら、1つの研究室として活動できるよう努めています。

今後ですが、山岡先生は2024年度末に退職される予定です。マネジメント研究室としては時代に応じて変えないところは変えず、変えるべきところは変えながら進めて行きたいと思えます。最後に、各教員より研究と教育の近況を報告します。

●山岡暁教授

宇大には2015年4月に着任し、来年3月で勤務10年間を終えて、退職する予定です。この期間で成果を出すことを目標に、試行錯誤しながら教育・研究・社会貢献・組織運営に関わってきました。教育では、社会基盤における国際化という視点が要求されたので、前職の建設コンサルタントや電力会社での海外経験などを生かして、授業を組み立てました。『マネジメント技術の国際標準化と実践』(コロナ社・2018年10月)を執筆して教科書として使い、インドネシアの大学との交流にも取り組み、学生の考える力を伸ばすようにしました。コロナ禍で海外との対面交流が中断されましたが、オンラインでの活動が進みました。研究では、当初、日本の中小企業が海外で受注し仕事を成功させるために必要となるマネジメント技法の開発に取り組んでいましたが、栃木県では海外受注を目標とする建設会社は極めて少なかったために、実践的な研究は進

みませんでした。しかしながら、2017年以降佐野市の建設会社と共同で、水道配水系統の水質及び制御に関する研究をしてきました。配水管系統でのバイオフィルムの形成要因を解明するとともに、そのフィルムを除去するための新技術を研究開発してきました。水道インフラは社会基盤の中で最も重要であり、研究成果は配水系統の水質保全や延命化に多少なりとも役立つことができたと感じております。社会貢献や組織運営では2021年4月から地域創生推進機構の副機構長と学部附属地域デザインセンターの所長をしております。学部のまちづくりという使命を達成するためにはこのセンターの発展が期待されます。私は残り数か月でできることを全うしたいと考えております。国内外の様々な変化や大学への要求は、今後さらに多様化し複雑化していくと予想されますが、それらを解決するためにマネジメント研究の役割は大きいと感じております。学部・学科の今後の発展を祈念しております。

●近藤伸也准教授

近藤の専門は防災マネジメントです。防災にも耐震や被災者支援など様々な分野がありますが、災害が発生した後に適切な対応ができるよう日常時から訓練や教育を続けるものです。はじめは、食糧の備蓄、避難所運営の業務分析やマレーシアの登山での地震災害対応について研究していましたが、最近では中山間地域の防災（孤立集落や流域治水など）、地域の防災拠点、地域イベントが持つ潜在的防災力の抽出、観光危機管理と行政をはじめとした組織の災害対策本部運営図上訓練について研究しています。

当初は、学生とともにどのような防災にするかを試行錯誤してばかりで迷惑ばかりかけてたような気がします。ただその積み重ねがよかったからなのか、最近では、地域でのワークショップをはじめとしたイベントがあれば、テーブルファシリテーターなどで支援ができるようになってきましたし、災害の現地調査でもよい写真を撮れるようになってきました。

ここ2、3年は、前職からの縁で、次の大災害が来るだろう和歌山県で行われている訓練をお手伝いしています。宇都宮大学の学生は北関東、東北地方の学生が多くて和歌山に行くことなどなさそうなので連れて行っています。もしものときの支援につながればいいと願っています。

また2年前に学部にある地域デザインセンターに地域防災部門が設置されました。現在はその一員として、栃木県など県内組織と連携を取りながら、地域防災を進める体制づくりをすすめています。最近、忙しく気が休まらないことが多いのですが、小規模でも災害が起こる栃木県の防災力が向上して、それが当たり前になるよう、頑張っていきたいと思います。

●中川嵩章助教

宇都宮大学には2023年3月に着任しました。温かく迎えてくださった学科の皆さま、研究室の皆さまに、心より感謝申し上げます。

専門は、社会基盤史・プロジェクトマネジメントです。土木学会等では「土木史」という用語の方が聞き馴染みがあるかもしれませんが、地域との関わりという観点を含んだニュアンスが「社会基盤史」の方が伝わるのではないかと考えました。また、言葉の通り、「プロジェクト」を「マネジメント」するためには、様々な要因が複雑に関係してプロジェクト（事業）が成立し

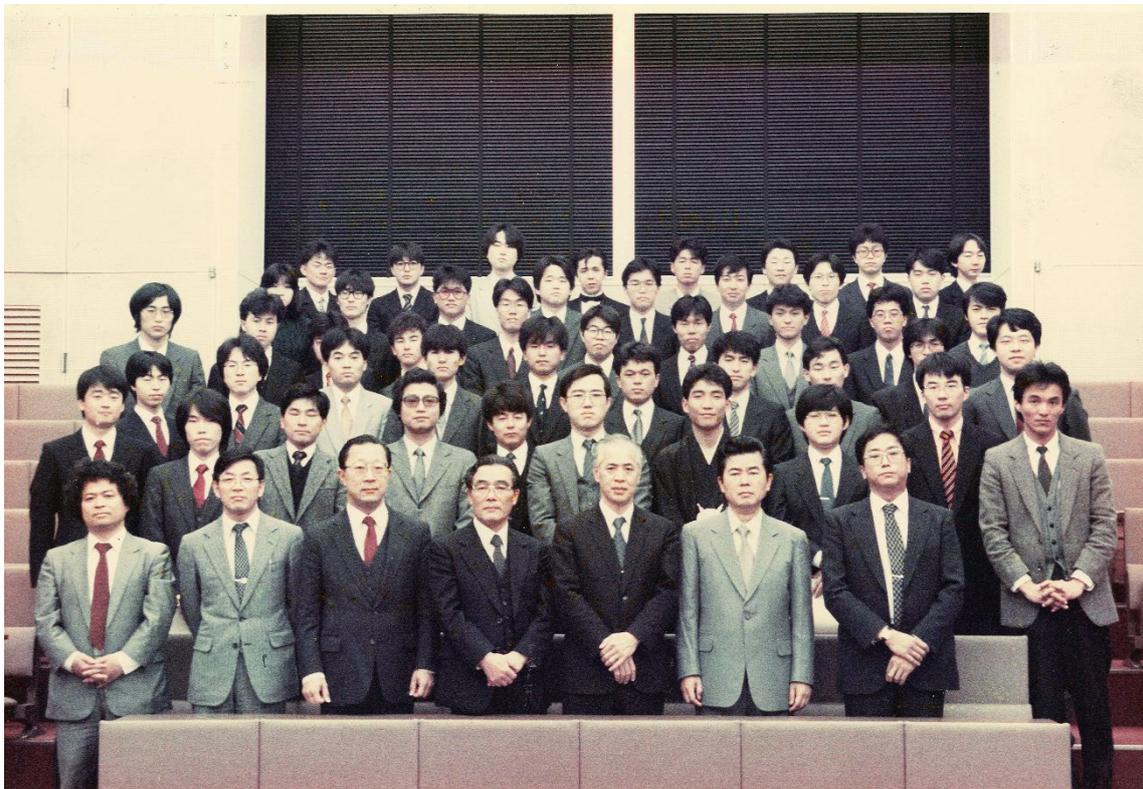
ている背景を深く理解する必要があります。そのために、歴史に立ち返って、プロジェクト（事業）の構造と戦略の解明に取り組んでいます。具体的には、官民連携、インフラの多面的側面、専門分野の縦割りといった観点から、栃木県内を含む国内外の幅広い対象を研究しています。

研究・教育ともに、まだまだ試行錯誤の段階です。学問分野としてちゃんと確立されているにも関わらず、認知度が低く、誤解されているとも感じます。この学問は、制度・計画・事業を構築する基礎的知見として重要であり、現代そして未来の都市・地域に向けた新たな視座が得られると信じています。今後もより一層真摯に学問に取り組み、一つひとつの知見をコツコツと丁寧に積み上げながら、アウトプットにも注力していきたいと思います。何よりも嬉しいことは、1, 2年目とも、ゼミの雰囲気がとてもよく、学生たちとしっかりとコミュニケーションがとれていることです。このいい雰囲気を継続しながら、ゼミ全体での研究活動に厚みをもたせられるよう、精進して参る所存です。

卒業式のアルバムと名簿(論文タイトル)



第1期生 1985年度卒業



第2期生 1986年度卒業



第3期生 1987年度卒業



第4期生 1988年度卒業



第 5 期生 1989 年度卒業



第 6 期生 1990 年度卒業



第 7 期生 1991 年度卒業



第 8 期生 1992 年度卒業



第 9 期生 1993 年度卒業



第 10 期生 1994 年度卒業



第 11 期生 1997 年度卒業



第 12 期生 1996 年度卒業



第 13 期生 1997 年度卒業



第 14 期生 1998 年度卒業



第 15 期生 1999 年度卒業



第 16 期生 2000 年度卒業



第 17 期生 2001 年度卒業



第 18 期生 2002 年度卒業



第 19 期生 2003 年度卒業



第 20 期生 2004 年度卒業



第 21 期生 2005 年度卒業



第 22 期生 2006 年度卒業



第 23 期生 2007 年度卒業



第 24 期生 2008 年度卒業



第 25 期生 2009 年度卒業



第 26 期生 2010 年度卒業



第 27 期生 2011 年度卒業



第 28 期生 2012 年度卒業



第 29 期生 2013 年度卒業



第 30 期生 2014 年度卒業



第 31 期生 2015 年度卒業



第 32 期生 2016 年度卒業



第 33 期生 2017 年度卒業



第 34 期生 2018 年度卒業



第 34 期生 2018 年度 9 月卒業



第 35 期生 2019 年度卒業



第 36 期生 2020 年度卒業



第 37 期生 2021 年度卒業



第 38 期生 2022 年度卒業



第 39 期生 2023 年度卒業

1985年度卒業

学部

氏名	論文題目	指導教員
青田 浩光	植生相違が平地での雨水の浸透課程に及ぼす影響について	長谷部
安西 正夫	軟弱地盤上の盛土の安定問題	横山・日下部
安達 達也	マスコンクリートの温度解析における一考察	佐藤
石橋 利晃	SRCばりの力学性状に及ぼすせん断キーの位置の影響に関する研究	阿部
岩下 清二	上向き浸透流のある飽和砂地盤の支持力実験	日下部
大島 知幸	合成構造の継手に関する実験的研究	阿部
岡部 敬文	都市計画街路網の変遷に関する研究	永井
荻田 利一	農地圃場整備が河川の流出機構に与える影響	長谷部
北野 晃士郎	宇都宮都市圏パーセントリップの予測に関する研究	古池
草野 裕市	合成構造の継手に関する実験的研究	阿部
中井(見田)朋子	小都市における道路の機能分類と段階構成に関する研究 ー日光市を事例としてー	永井
鈴木 智	河口二次元砂州の平衡形状に関する研究	須賀
鈴木 康之	河口導流堤近傍の流れ及び地形変化に関する基礎的研究	須賀
竹谷 信輝	段切り基礎の支持力に関する実験値と上界値との比較と解析	日下部
手塚 政男	アーミングの発達課程に関する基礎的研究	須賀
永井 吉明	観光消費額の推計方法に関する研究	永井
林 真	持続荷重下における鉄筋コンクリート部材の変形ひびわれ解析理論の定式化	佐藤
福田 康宏	自然斜面の安定	日下部
掘越 豊司	摩擦単杭の沈下に関する実験的研究	横山
宮口 竹彦	マシブなコンクリート壁体構造物のひびわれ幅の予測方法	佐藤
綿谷 達夫	地区交通計画へのAIDAの適用性に関する研究	古池

1986年卒業

学部

氏名	論文題目	指導教員
上野 寿幸	砂質地盤中の球空洞押し上げ実験	横山
榎本 弘	最適化交通網発生モデルの宇都宮都市圏への適用	古池
秋田 克彦	早期に受ける持続加重下の付着特性	佐藤
大森 智	河川の環境機能における河川公園の利用法に関する研究	須賀
岡本 晃	SRCはりの性状に及ぼすずれ止め量の影響に関する研究	阿部
荻野 淳	護岸近くにおける橋脚まわりの局所洗掘	須賀
小澤 正文	繰り返した北関東ロームの圧密せん断特性	日下部
笠井 識敬	早期に受ける持続加重下の付着特性	佐藤
加藤 博士	鋼コンクリート継手部の曲げ耐力に関する実験的研究	阿部
川島 明	ドラム型遠心力載荷装置を用いた河川堤防の破壊実験	日下部
坂田 一茂	産業関連分析による観光経済効果 ～米沢市をケーススタディとして～	須賀
小口 辰巳	河川環境の評価手法 ～景觀実体論に関する研究～	須賀
斉藤 晶史	中心商業地におけるアーケードの研究 ～宇都宮市を事例として～	古池
斉藤 修一	斜面上段切り基礎の模型実験と解析	横山・日下部
設楽 和久	SRCはりの性状に及ぼすずれ止め量の影響に関する研究	阿部
関 一弘	上向き浸透流のある砂地盤上基礎の支持力実験	横山・日下部
高山 博行	河口部の流れと河口砂洲の形成に関する研究	永井
高須 祐行	護岸近くにおける橋脚まわりの局所洗掘	須賀
坪野 寿美夫	コンクリートの透気係数の評価方法に関する研究	佐藤
丹羽 隆泰	住民意識を考慮した資源調査に関する研究 ～地域開発のテーマ設定のために～	永井
羽鳥 隆泰	河口部の流れと河口砂洲の形成に関する研究	永井
羽生 峰夫	中心商業地域における自転車放置問題対策についての基礎研究 ～宇都宮市～	古池
浜津 威彦	住民意識を考慮した資源調査に関する研究 ～地域開発のテーマ設定のために～	永井
古澤 勝	自然・歴史資源から見た地方小都市の地域特性に関する研究 ～栃木県北東部の36小都市を対象として～	永井
宮川 勝支	日光市街地の観光交通に関する実証的研究	永井
望月 久資	産業関連分析による観光経済効果 ～米沢市をケーススタディとして～	永井
山岸 健一	洪水時における護岸の破壊に関する研究	須賀
吉田 稔	波形の相違を考慮した漂砂量算定式の検討	須賀
吉本 徹	持続加重を受けるRC曲げ部材の変形ひび割れ	佐藤
青木 敏倫	地方都市における情報ネットワーク化に関する研究	古池
井上 浩樹	たわみ性スラブの応力・変形実験と解析	横山
塩浜 敏英	不完全合成桁のスラブ目地の効果に関する研究	阿部
鹿内 愛彦	観光交通と生活交通について～日光市を事例として～	古池
田辺 睦	融雪機構とその算定式について	長谷部
手塚 孝幸	都市河川における雷雨性の集中豪雨のタンクモデルによる流出解析について	長谷部
西岡 耕一郎	微細ひび割れを有するコンクリートの透気性状	佐藤
藤岡 英之	段切り基礎の支持力実験	日下部
北条 義則	レキ混じり過圧密粘性のせん断試験	日下部

1987年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
阿久津 富弘	アーケード街を通行する自転車及び歩行者に関する一考察	古池
浅野 将之	傾斜荷重を受ける斜面上段切り基礎の支持力実験	横山・目下部
上野 幹夫	マスコンクリートの温度応力に関する数値解析的研究	佐藤
太田 清文	静的不安定性を有する構造物の動的破壊に関する研究	阿部
太田 英樹	河口部の流れと砂移動現象に関する研究	須賀
大森 善幸	市街地の形成過程に関する比較研究 ～宇都宮市と大宮市をケーススタディとして～	永井
長田 敦	宇都宮都市圏における分布・配分交通量の推測に関する研究	古池
加賀 正之	二次元海浜における混合砂の移動現象について	須賀
片山 裕黄	二次元海浜における混合砂の移動現象について	須賀
河合 伸由	上向き浸透流のある砂地盤上基礎の支持力	目下部
木下 智弘	電算機による計画代替案の体系化に関する研究	古池
近藤 勝裕	河口部の流れと砂移動現象に関する研究	須賀
坂本 秀行	合成桁におけるスラブ目地及びずれ剛性の影響に関する研究	阿部
佐野 芳彦	植生が浸透過程に及ぼす影響と効果について	長谷部
鈴木 雅博	持続荷重を受けるPRC部材のひびわれの実験的研究	佐藤
高久 友男	レキ混じり粘性土地盤の強度特性	横山
高橋 裕司	合成トラスの実験および解析	阿部
田中 重巳	ドラム型遠心力載荷装置を用いた自重圧密実験	目下部
網川 祐一	大型加圧土槽を用いた球空洞の押し上げ実験	横山
中山 英徳	高温にさらされるコンクリートの透気性に関する研究	佐藤
原島 洋乃	テレビを媒体とした情報に対する住民意識の研究 (CATVを例に)	古池
深津 悟	市街地の形成過程に関する比較研究 ～宇都宮市と大宮市をケーススタディとして～	永井
松原 崇	融雪流出機構とその流出率について	長谷部
松本 茂	街づくりに対する住民ニーズに関する研究 ～栃木市の蔵と巴波川を生かした街づくりをケーススタディとして	永井
森澤 仁	連続鉄筋コンクリートのひびわれ制御に関する研究	佐藤
屋代 紀明	非線型波による底質移動限界について	須賀
遠藤 聡	先端膨張型杭に関する基礎的研究	目下部
大上 龍男	複列桁の節部の水理特性に関する実験的考察	須賀
柏木 和文	複列桁の節部の水理特性に関する実験的考察	須賀
加藤 浩康	持続荷重を受けるRC部材のひびわれに関する実験的研究	佐藤
金子 勉	曲げを受ける鋼・コンクリート継手部のずれ止めの効果	阿部
菊原 信隆	鉛直粘性土斜面の安定問題	目下部
高際 浩治	地方都市の中心市街地における駐輪実験の評価方法に関する研究	永井
塚原 啓司	波・流れ共存時における岸沖漂砂量の検討	須賀
柳岡 隆	北開東ローム (宝木ローム) の工学的特性	横山・目下部
山本 隆生	合成トラスの実験および解析	阿部

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
手塚 政男	コンクリート部材の時間依存性変形・ひびわれ挙動に関する研究	佐藤
西村 豊雄	円孔周辺に圧縮残留応力を有する帯板の疲労強度に関する研究	阿部
荻田 利一	圃場整備等の土地利用変化が水文流出系の流出特性に与える影響について	長谷部
竹谷 信輝	段切り基礎の支持力機構に関する研究	目下部
掘越 豊司	空洞押し上げ理論による杭先端の支持力機構に関する研究	横山
青田 浩光	街づくりにおける地域資源の評価と活用に関する研究	永井

1988年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青木 利憲	複断面水路の接合部における大規模渦のスケール因子	須賀
有江 寛	鋼板で補強したコンクリート梁の性状に関する実験研究	阿部
大内 英二	大谷石（堆積軟岩）の工学的特性	横山
大森 満	植生と雨水の鉛直水分移動と蒸発散との関係について	長谷部
小楠 元久	乾燥収縮ひずみの予測に関する一検討	佐藤
久野 強	那須高原におけるリゾート開発の歴史	永井
児島 啓太郎	合成逆アーチの実験及び解析	阿部
近藤 享	混じり粘性地盤の支持力評価に関する研究	横山
斎藤 晃一	ドラム型遠心載荷装置での振動装置の開発	横山
斎藤 義和	圃場整備と流域保留量および土地利用係数の関係について	長谷部
城倉 敏彦	先端膨張杭のモデル押し上げ実験	日下部
菅原 学	那須高原におけるリゾート開発の歴史	永井
高山 誠	重複バス路線の改善に関する一考察 ～宇都宮市をケーススタディとして～	古池
丹野 善彦	県北農協の集出荷体制の最適化に関する研究	古池
大門 禎広	中流域河川のダム流入量のオンライン予測	長谷部
寺内 威夫	複断面水路の低水路側壁勾配と仮想境界面剪断力	須賀
富永 道彦	河床砂レキの強度特性	横山
中森 浩和	地方都市における放置自転車問題の対策に関する研究	永井
服部 美智彦	2次元河床波下流における3次元乱流構造の形成過程	須賀
浜野 勝	斜面上長方形基礎の安定問題	横山
福田 重美	高温下のコンクリートの透気性に及ぼす骨材の影響	佐藤
星野 三夫	地方都市における中心商店街の活性化のための街路整備に関する研究	永井
増田 康彦	県北農協の集出荷体制の最適化に関する研究	古池
松本 好正	砂地盤上の三次元直接基礎の支持力実験	日下部
村上 通章	合成逆アーチの実験及び解析	阿部
森田 康彦	大型加圧土槽を用いた四成分コーン貫入実験	横山
渡辺 陽太	RC部材の長期変形とひびわれの性質に関する基礎的研究	佐藤
市村 慎一郎	2列蛇行の節部における三次元流況	須賀
大江 浩一	拡孔した鋼板の疲労強度に関する研究	阿部
萩島 達也	遠心養生されたセメント改良土の強度特性	日下部
櫻井 実	マスコンクリートの温度応力とひびわれに関する基礎的研究	佐藤
関谷 力	高速道路渋滞時におけるパーキングエリア立ち寄りに関する研究	古池
千賀 裕二	非侵食層の下層侵食層における局所洗掘	須賀
仲川 昌宏	スクランブル交差点における自転車及び歩行者の挙動特性について	古池
中澤 秀幸	利用者の満足度から見たキャンプ場施設水準に関する研究	永井
増子 学	河川イメージの測定法と河川公園評価についての研究	須賀

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
吉本 徹	連続鉄筋コンクリート舗装の収縮拘束によるひび割れ挙動に関する研究	佐藤
高山 博行	流出予測とその予測制度に関する研究	長谷部
田辺 睦	融雪流出機構と融雪量の算定に関する研究	長谷部
高須 祐行	河川空間における親水性意識構造に関する研究	須賀
古澤 勝	日光杉並木の保全に関する研究 ～並木杉の伐採率に関する分析～	永井

1989年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
綾部 慶	流出予測とFuzzy理論を利用したダム管理エキスパートシステムの構築について	長谷部
岩崎 享	芳賀地区の青果物集出荷施設設置に関する研究	古池
岩澤 裕史	コンクリートの透気係数と酸素拡散係数の関係に関する研究	佐藤
大草 正則	ドラム型遠心載荷装置を用いた長大構造物の地震時挙動に関する研究	日下部
大根田 隆光	高校生の自転車交通の実態と意識に関する一考察	古池
岡田 宏樹	大規模地下空間の安全性評価	横山
金田 泰明	板接合による鋼薄板構造の振動制御に関する基礎的研究	中島
小池 敏哉	連続気泡噴流を用いた密度成層の混合に周囲境界が与える影響についての基礎的実験的研究	須賀
佐野 友紀	不規則外力作用下における倒壊型構造物動的強度設計法に関する研究	中島
塩田 勉	観光交通の機関選択に関する研究。一日光をケーススタディとして	永井
篠原 哲也	日光の開発と保全の歴史の変遷に関する研究	永井
高桑 正直	高速道路基礎の安定問題の研究一砂レキ地盤の支持力、変形機構に関する研究一	日下部
高橋 勝久	芳賀地区の青果物集出荷施設設置に関する研究	古池
高橋 昌克	T形桁の首溶接へ及ぼすくり返し偏心載荷の影響	阿部
武田 祐司	日光杉並木の保全に関する研究 一沿道土地利用が住宅地となっている区間を中心として一	永井
童田 文雄	連続鉄筋コンクリート舗装モデル供試体のせん断実験	佐藤
仲松 宇大	遠心載荷装置を用いたトンネルに作用する荷重に関する研究	日下部
永山 正典	ペーン工による橋脚周辺の局所洗掘の軽減に関する研究	須賀
西田 稔	開水路滑面平坦床から、円柱粗度床への急変部における流れの遷移に関する基礎的研究	須賀
林 隆	CN法による圃場整備が流域に及ぼす影響	長谷部
半田 博之	不撓乱スコリアの高圧時におけるせん断特性に関する研究	日下部
東山 和生	大深度地下掘削の施工時安全性の研究	横山
平野 英司	ドリフトピンを圧入した鋼板の疲労強度に関する研究	阿部
堀名 信也	河道内二列蛇行河川における洪水路の流況に関する実験的研究	須賀
松島 伸二	段落ち流れにおける組織的乱流運動の解明	須賀
湊 英一	RC部材のひびわれ幅に及ぼす乾燥収縮の影響	佐藤
森影 篤史	遠心載荷装置による砂地盤の3次元支持力実験	日下部
森崎 佳子	橋梁の景観についての研究 一宇都宮市田川に架かる橋梁を例として一	阿部
守屋 茂	気泡弾式揚水塔の揚水能力が水面位置に及ぼす基礎的実験的研究	須賀
柳沼 孝昌	T形桁の首溶接へ及ぼすくり返し偏心載荷の影響	阿部
築瀬 和裕	栃木県内の交通死亡事故に関する研究	古池
山本 剛史	地区交通環境改善に関する研究 一地区交通安全カルテに対する一考察一	古池
横尾 元央	湯の湖の環境保全に関する研究	横山
阿久津 政巳	融雪流出に影響を与える気象要素の役割の実験的研究	長谷部
石川 浩三	引張鉄筋周辺に発生する内部ひびわれがコンクリートの透気性に及ぼす影響	佐藤
岩崎 肇	温度ひびわれを有するRC部材の力学的性状に関する実験的研究	佐藤
遠藤 英樹	合成逆アーチ橋に斜材を加えた効果に関する研究	阿部
瀧藤 文博	温度ひびわれを有するRC部材の力学的性状に関する実験的研究	佐藤
白石 正俊	静的不安定性を有する動的強度設計法に関する基礎的研究	中島
高宮 明秀	遠心模型による杭の水平抵抗挙動の研究	日下部
菅原 賢一	市町村における公共投資額の評価に関する研究 一栃木市をケーススタディとして一	永井
福嶋 浩	土地利用変動についての住民意識に関する研究 一宇都宮駅東第2地区をケーススタディとして一	永井
宮本 浩介	合成逆アーチ橋に斜材を加えた効果に関する研究	中島
半田 浩行	栃木県の道路景観に関する研究	永井
森内 彰人	非侵食層の下層侵食層における局所洗掘	須賀
吉野 通夫	斜面長分布及び到達時間分布の地形側を考慮した流出解析	長谷部

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
大上 龍男	二列蛇行の節部の流れと安定形状	須賀
柏木 和文	円柱群が存在する流れ場の評価	須賀
河合 伸由	基礎地盤の異方性、応力依存性及び浸透流を考慮した支持力解析	横山
鈴木 雅博	応力履歴を考慮した鉄筋コンクリート曲げ部材の長期変形・ひびわれ形状の予測方法に関する研究	佐藤
Mohamed Anzar	Arrangement of Shear Connectors in Composite Arch Bridge	阿部

1990年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
相川 智彦	砂地盤中の鋼管杭の水平抵抗に関する遠心模型実験	横山
石崎 浩	リゾート開発に対する自然環境の保全対策についての研究～栃木県を事例に～	永井
小野 浩明	道路と沿道を一体とした環境整備の比較分析 ～栃木市中心商店街と宇都宮駅東第二地区をケーススタディーとして～	永井
小野寺 一史	組合せ荷重が作用する砂地盤中三次元基礎の支持力実験	日下部
海瀬 忍	CRCはりモデルのせん断伝達特性に関する研究	佐藤
金沢 健一	静的不安定性を有する多自由度構造物の動的倒壊判定法に関する研究	中島
倉知 禎直	杭先端支持力の基礎的研究	横山
佐藤 勝則	荷重履歴が鉄筋コンクリート部材の透気性に及ぼす影響	佐藤
佐藤 鉄也	ファジィ理論を用いたダム制御に関する研究	長谷部
鈴木 孝之	大深度地下掘削の施工時安全性の研究	横山
高野 卓	画像処理装置を用いての交通流自動解析システムの研究	古池
高橋 徹	地区内交通環境改善に関する研究～地区交通安全カルテに対する一考察～	古池
高橋 紀之	合成桁ずれ止めの応力伝達機構に着目した基礎的実験	中島
田口 敦	大深度地下空間利用に関する研究－乾燥中の深い立抗の土圧に関する遠心模型実験－	日下部
田澤 武男	計画案の合意形成に意識調査が与える効果に関する研究 ～日光市中祠地区を事例に～	永井
田村 文直	融雪流出に影響を与える気象要素の役割の実験的研究	長谷部
寺澤 修	大型商業施設の立地要因に関する研究～宇都宮市をケーススタディーとして～	永井
中富 俊彦	乾燥砂中の剛な埋設管に作用する土圧の遠心模型実験	日下部
中原 一浩	点在する樹木群が流れに与える影響に関する基礎的研究	須賀
浪岡 和浩	ドラム型遠心模型装置を用いた液状化実験	日下部
成瀬 真勝	スコリア試料を用いたせん断特性における乱れの影響	日下部
橋本 則之	小半径のドラム型遠心模型実験装置を用いた自重圧密実験	横山
日原 順	二列蛇行河道の洪水時における挙動	須賀
福島 賢二	小径差のドリフトピンを圧入した鋼板の疲労強度に関する研究	阿部
藤野 毅	複断面水路の接合部における組織的乱流構造について	須賀
藤牧 和也	網板でせん断補強したコンクリート梁の実験的研究	阿部
松波 幹夫	走行荷重による合成桁ずれ止めの伝達せん断力の動的応答に関する研究	中島
丸山 明紀	温度応力を受けたRC部材の力学的性質に関する実験的研究	佐藤
森田 孝信	洪水流一次元計算における一考察	須賀
山田 明弘	深層水揚水筒の流れに水面が及ぼす影響について	須賀
若梅 宏之	フレックスタイム制の影響に関する研究	古池
渡邊 恵一	密度成層の混合に壁面が及ぼす影響についての基礎研究	須賀
和田 敏雄	I 形桁のフランジの首振り疲労に関する研究	阿部
柴崎 美樹	JR宇都宮駅における新幹線通勤者の動向に関する研究	古池
高原 崇之	高校生の自転車交通に関する調査研究	古池
藤巻 靖久	CRCはりモデルのせん断伝達特性に関する研究	佐藤

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
桑川 高德	気象要素が融雪・融氷に及ぼす影響の実験的研究	長谷部

1991年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
伊里 猛	複断面水路の接合部における組織渦の形態とスペクトル特性	須賀
石黒 邦男	鉄道橋縦桁のフランジの首振り疲労に関する研究	阿部
伊藤 尚	二層打設されたRC部材の力学性状に及ぼす水和熱の影響	佐藤
伊藤 豊	圃場整備された河川流域とフラクタル次元の関係	長谷部
臼井 恒夫	Bubble Plumeの低密度水混入による連行促進効果	須賀
大竹 博	地方中核都市圏の農村部における土地利用変動に関する実証分析 ー宇都宮市周辺をケーススタディとしてー	永井
岡 俊道	高校生の自転車通学の安全性に関する研究 ー宇都宮市をケーススタディとしてー	古池
岡田 誉	走行車両による合成桁ずれ止めの動的伝達せん断力の評価に関する研究	中島
小川 和彦	宇都宮市に於けるバス輸送活性化方策に関する研究	古池
小川 幸子	融雪期の降水時系列の統計的特性について	長谷部
金田 昌幸	観光地における利用者の交通手段選択行動の構造とその調査方法 ー日光市をケーススタディとしてー	永井
神山 義幸	柱状粗度床から平坦床への遷移部における流速分布の変化	須賀
菊地 康郎	融雪(氷)実験を考慮した実流域の融雪流出解析	長谷部
岸 省治	合成桁のずれ止め伝達せん断力の評価法に関する実験的研究	中島
木村 方哉	二層打設されたRC部材の力学性状に及ぼす水和熱の影響	佐藤
工藤 宏生	圧縮力を受ける上端支持柱の動的強度特性に関する基礎的研究	中島
小成 正博	宇都宮市に於けるバス輸送活性化方策に関する研究	古池
小林 清和	内部ひびわれを有するRC要素の塩分浸透性について	佐藤
斎藤 雅敏	橋脚周辺の局所洗掘に及ぼす河岸の影響について	須賀
柴 健司	地方中核都市圏の農村部における土地利用変動に関する実証分析 ー宇都宮市周辺をケーススタディとしてー	永井
清水 貴史	画像処理を用いた交通流解析方法の研究 ー車両抽出及び認識方法の開発ー	古池
早乙女 勉	ドラム型遠心模型装置を用いた液化化実験ーその2初期間隙比の影響ー	横山
高木 晋作	組み合わせ荷重を受ける基礎の降伏に関する基礎的実験	横山
高橋 直樹	ドロマイトにより安定処理されたへどろの土質工学的特性	今泉
田崎 政史	杭などの周面抵抗動員特性に関する基礎的実験	横山
鳥羽 正樹	鋼板でせん断抵抗を補ったRC梁の実験的研究	阿部
中山 好仁	深層水揚水筒ブリュームの混合に水面がおよぼす影響	須賀
本間 毅	亀裂のある鋼板の孔にドリフトピンを圧入した場合の疲労強度	阿部
水澤 大輔	街路景観の整備手法に関する研究	永井
安野 伸春	栃木県における交通事故の実態と運転者の危険度意識に関する研究	古池
谷中 聡久	鋼板でせん断抵抗を補ったRC梁の実験的研究	阿部
山下 智康	均等な粒径に調整された砂地盤の2次元支持力実験	横山
山下 浩	CRCモデル供試体のせん断変形特性に関する実験	佐藤
山本 雅朗	自然保護と治水に係わる情報の伝播の実態	須賀
若月 章子	遠心力場におけるシールド掘進模型実験システムの構築	横山
稲葉 繁	根固めされた杭の破壊と支持力に関する実験	横山
牛久 秀俊	街路景観の整備手法に関する研究	永井
関口 健一	砂地盤中の群杭の水平抵抗に関する遠心模型実験ーその2杭間隔の影響ー	横山
田代 有宏	日単位の融雪流出解析に影響する気象要素のスペクトル解析	長谷部
長山 八州総	ファジィ理論によるダム制御の最適化	長谷部
北條 泰秀	RC部材の変形・ひびわれ挙動に及ぼす環境条件の影響に関する研究	佐藤

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
大草 正則	ドラム型遠心模型実験装置を用いた地中構造物の地震時挙動に関する研究	横山
岡田 宏樹	大規模地下空洞の破壊に関する研究ー堆積軟岩のクリープ破壊についてー	横山
塩田 勉	自然環境の優れた観光地における自動車交通の制御方策に関する研究 ー日光市をケーススタディとしてー	永井
梁瀬 和裕	地方都市の交通事故に関する研究 ー高齢者、高校生、事故多発地点の事故と潜在的事故危険性についてー	古池
任 儂	The Anatomy of Traffic System in Tianjin, China	古池

1992年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青木 偉司	八型水路床土上の流れと馬蹄形渦	須賀
秋山 信之	砂地盤上浅い基礎によって生じるせん断層の発達に及ぼす粒径の影響	横山
荒井 洋	載荷方法による杭の摩擦力の發揮度	横山
飯村 和義	ジオメンブレン土の居間摩擦特性に関する研究	今泉
池川 真也	亀裂を有する鋼板の孔を高力ボルトで締め付けた場合の疲労強度	阿部
伊沢 良則	温度応力がRC部材の自由変形と力学性状に及ぼす影響に関する実験的研究	佐藤
石原 義之	堆積軟岩(大谷石)の一軸圧縮強度特性とクリープ強度特性について	横山
伊藤 雅司	観光地における自然環境保全のための交通対策に関する事前評価-奥日光をケーススタディとして-	永井
稲葉 基純	二次元Bubble Plumeによる二成層の混合過程	須賀
岩下 直樹	鉄道橋ガーダーの首振り疲労に及ぼす影響要因に関する研究	阿部
岩田 裕史	都市内自転車道の整備に関する調査研究-『なかよし通り』・『栃木街道』をケーススタディとして-	古池
遠藤 俊宏	宇都宮市におけるバス輸送活性化方策に関する研究-バスサービスに対する時間感覚について-	古池
及川 栄司	剛性基礎上粘土層地盤の支持力に関する研究	今泉
大井 明	根固め杭の破壊と支持力に及ぼす杭形状の影響に関する実験的研究	横山
構 英二郎	圃場整備された流域のフラクタル構造について	長谷部
小嶋 尚	観光地における自然環境保全のための交通対策に関する事前評価 -奥日光をケーススタディとして-	永井
斎藤 崇	合成桁ずれ止めの水平せん断伝達性況に着目した実験的研究	中島
品田 耕治	気象要素と融雪流出システムの関係について	長谷部
嶋田 貢一	使用状態におけるPRC部材の力学的性状に関する実験的研究	佐藤
蘇武 邦行	ファジー制御の治水型ダム操作への応用	長谷部
櫛先 正尚	鋼材腐食因子の拡散係数と透気係数の関係に関する実験的研究	佐藤
錦戸 綾子	鋼製橋脚の2段階耐震設計法に関する基礎的研究	中島
福田 健次	気象要素と融雪流出システムの関係について	長谷部
福間 康二	開発と自然保護に係わる新聞報道の特性	須賀
伏見 聡	温度応力がRC部材の自由変形と力学性状に及ぼす影響に関する実験的研究	佐藤
細田 理	ドラム型遠心模型実験装置のための振動実験装置の開発について	横山
三浦 哲也	高水敷における植物群落の分布性状に関する野外調査	須賀
宮田 明	合成桁ずれ止めの水平せん断伝達性況に着目した実験的研究	中島
森田 武聡	宇都宮市駐車場案内システム導入による整備効果に関する研究	古池
山本 浩嗣	使用状態におけるPRC部材の力学的性状に関する実験的研究	佐藤
山本 嘉昭	都市郊外における野立て看板の立地に関する研究	永井
吉迫 武	都市化に対する農家の土地利用に関する実証分析	永井
吉田 英久	交通安全施設改善に関する研究 -標識BOXをケーススタディとして-	古池
菊地 謙太郎	橋脚周辺洗掘に及ぼす並列らせん流の影響	須賀
茂木 考昌	鋼板でせん断補強した合成梁の実験的研究	阿部

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
倉和 禎直	根固め杭の先端支持力機構	横山
高橋 徹	住民意見の活用による地区内交通環境改善に関する研究	古池
田口 敦	乾燥砂中の深い立坑に作用する土圧に関する研究	横山
中富 俊彦	過圧密砂地盤の支持力特性ならびに圧縮性状に関する研究	横山
湊 英一	鉄筋コンクリート曲げ要素の長期変形とその機構に関する基礎的研究	佐藤

1993年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青島 弘和	新聞情報における情報伝播形態 —長良川河口堰問題をケーススタディとして—	須賀
荒木 有一	圃場整備流域内の河道地形則とフラクタル次元との関係について	長谷部
海瀬 寛	地区レベルの計画案に対する住民意識に関する研究—那須町湯本地区を事例として—	永井
金子 雅和	降雨観測地点の少ない流域での水文流出予測	長谷部
梶沢 寛	自然環境保全のための交通対策に関するインパクトスタディ ～奥日光に於ける施策の事前事後調査を通して～	永井
河又 寿一	道路照明に関する基礎的研究	古池
北井 千種	補強土工法による盛土の遠心模型実験	横山
小島 修平	宇都宮市中心市街地に於ける放置自転車に関する研究	古池
小林 功	複合応力下での新旧コンクリートの打継ぎ目の強度特性について	佐藤
小松 勝久	上向き浸透流を受ける仮設構造物の安定に関する研究	横山
近藤 裕昭	複断面水路の接合部に発生するボイル現象の基本的性状に関する実験的研究	須賀
鈴木 倫久	砂土上植生の繁茂形態の基本パターンとその遷移に関する基礎的研究	須賀
高萩 正幸	視覚障害者の誘導システムに関する研究	古池
高橋 和宏	Bubble Plumeの連行特性に関する基礎的研究	須賀
高橋 悟	ジオメンブレンの引抜き抵抗力に関する研究	今泉
財田 孝巳	農村へのリゾート導入に対する住民意識に関する研究	永井
千葉 光	熱収支法による融雪に影響する気象要素の評価について	長谷部
津田 健治	複断面河道における河床低下前後の洪水特性変化の数値実験	須賀
津田 守	PRC連続ばりの変形と断面力に関する実験的検討	佐藤
筒井 英之	複合応力下での新旧コンクリートの打継ぎ目の強度特性について	佐藤
中井 勝彦	フランジおよびウェブ鋼板とコンクリート合成はりの力学特性に関する実験的研究	中島
畠山 仁	押しボタン式信号制御の横断歩道における歩行者の挙動特性に関する研究	古池
平野 宏幸	実構造物レベル応力下での浅い基礎の支持力と粒子寸法との関係	横山
古田 茂嗣	拘束圧を受ける種々の粒状体に発生するせん断層の寸法に関する研究	横山
増田 英一	不完全合成桁のずれ止めの挙動に関する実験的研究	中島
水沼 孝恵	大谷地区空洞陥没のメカニズムに関する基礎的研究	横山
源 寛輝	形状が異なる浅い基礎の砂地盤上における支持力特性	今泉
深田 大介	高架橋鋼製橋脚の固有周期特性に関する研究	中島
谷田部 勝博	不完全合成桁のずれ止めの挙動に関する実験的研究	中島
柳沼 健一	杭の摩擦抵抗に関する研究 (材質の影響)	横山
渡辺 一靖	道路景観計画におけるテーマとゾーニングの決定方法に関する研究	永井
金丸 智朗	ジオメンブレン—土の層間摩擦試験における供試体寸法の影響	今泉
小島 朋樹	PRC連続ばりの変形と断面力に関する実験的検討	佐藤
作田 康範	宇都宮市部心部における駐車場の有効利用に関する研究	永井
佐藤 富一	補修を対象とした新旧コンクリート接合面の透気性状について	佐藤
田島 圭介	橋脚周辺の局所洗掘に及ぼす並列らせん流の影響	須賀
長濱 義彦	ファジィ理論による2山型洪水に対するダム制御の最適化に関する研究	長谷部
阿部 秀晃	粘土地盤上長方形基礎の三次元支持力特性に関する研究	今泉
菱山 義規	斜面の三次元的幾何形状を考慮した安定評価に関する研究	今泉

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
佐藤 和彦	バスサービス評価へのファジィ理論の適用	古池
篠田 雅男	ひずみ軟化材料を用いた斜面の遠心模型実験	今泉
高橋 直樹	軽焼ドロマイトにより安定処理されたへどろの強度特性について	今泉
田崎 政史	浅い基礎の支持力におよぼす応力レベルと粒子寸法の影響について	横山
鳥羽 正樹	ウェブ銅板による合成はりのせん断補強効果に関する基礎的研究	中島
長山八州 稔	ファジィ理論のダム操作支援システムの応用について	長谷部
北條 泰秀	RC部材の長期変形・ひびわれ幅に及ぼす環境条件の影響に関する研究	佐藤
山下 浩	2層打設されたRC部材の自由曲げ変形と温度応力に及ぼす外部拘束圧の影響に関する研究	佐藤

1994年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
相田 雄二	土地区画整理地区の街区形状からみた宅地割に関する研究	永井
阿部 貴之	SCAにおける代替案の総合評価に関する研究	古池
阿部 司	曲げせん断を受ける鉄筋コンクリート部材の変形、ひびわれ解析に関する一考察	佐藤
荒川 美将	宇都宮市内の交通事故の分析と事故多発地点の抽出に関する研究	古池
遠藤 孝博	熱収支法による融雪量の算定	長谷部
大野 文嘉	新旧コンクリート打継面の表面形状と強度及びひずみ特性に関する実験的検討	佐藤
鎌田 清孝	水田圃場における流出特性の実験的研究	長谷部
川崎 康	観光地における駐車場選択行動に関する研究 -奥日光をケーススタディとして-	永井
木下 靖貴	一様密度水域におけるエアリフト内部の流動形態と揚水特性に関する基礎的研究	須賀
木村 美佳	湯田ダム流域における融雪量の流出解析	長谷部
栗本 晴夫	都市構造が運輸エネルギーに与える影響に関する研究	古池
黒川 誠	X線写真の画像解析による拡底杭引抜き抵抗メカニズムの研究	横山
小林 充	パークアンドバスライド導入のための交通行動に関する実証分析 -都心部従業者における通勤行動について-	永井
坂入 芳昭	河岸付近における橋脚周辺の局所洗掘に及ぼす並列らせん流の影響	須賀
杉山 康浩	人工衛星データによる栃木県内の地盤環境調査	今泉
高橋 章行	流動化処理された下水汚泥焼却灰の特性に関する研究	横山
戸村 武志	地方中核都市におけるバス交通と土地利用の関連性に関する実証的研究	古池
内藤 裕之	直接層間摩擦試験によるジオメンブレンの摩擦特性評価	今泉
中川 貴之	新旧コンクリート打継面の表面形状と強度及びひずみ特性に関する実験的検討	佐藤
浜西 豊	鬼怒川における河床変遷と植生変化の特性	須賀
福村 寿敏	河川計画における音環境特性について	長谷部
藤本 英悟	砂地盤上の浅い基礎の支持力特性とその評価法	今泉
溝江 慶久	不完全合成桁の不完全度の推定に関する研究	中島
村田 慎	矢板壁の掘削時安定性に関する研究	横山
山崎 正治	高架橋の構造モデルが橋脚の耐震設計に及ぼす影響に関する研究	中島
山田 俊行	一般的な全高軸径比のスタッドを有する合成桁の力学性状に関する実験的研究	中島
菊地 一義	新旧コンクリートの打継目の透気性状に影響を及ぼす要因に関する実験的研究	佐藤
小川 たける	三軸試験における有効拘束圧が砂の変形・強度特性に及ぼす影響の研究	横山
柴山 学	長良川堰問題の報道に関する新聞記事の特性	須賀
丸山 敏	複断面接合部に自由せん断渦が発生している際のボイル渦の挙動に関する基礎的研究	須賀
森内 大介	非合成桁スラブ止めの水平せん断伝達力と疲労強度に関する研究	中島
八木 秀信	大谷石切り粉の有効利用に関する基礎的研究	横山

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
池川 真也	ずれ止めの非線形挙動を考慮した不完全合成桁の弾塑性性状に関する研究	中島
伊沢 良則	引張及びせん断応力下の新旧コンクリート打継面の強度特性に関する研究	佐藤
岩田 裕史	道路照明施設の夜間交通事故に対する影響の研究	古池
遠藤 俊宏	地方都市の公共交通を促す土地利用のあり方に関する研究	古池
大井 明	剛性を考慮した円形立坑に作用する土圧に関する研究	横山
山本 浩嗣	PRC部材の長期変形・ひび割れ幅に関する基礎的研究	佐藤
山本 嘉昭	農村集落における景観構成要素に関する研究	永井
吉迫 武	農山村への帰郷行動に関する実証的研究	永井

1995年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
井口 誠	数種の砂の変形・強度特性に及ぼす拘束圧の影響について	横山
井筒 春生	観光統計作成手法の改善を目的とした市町村の分類評価に関する研究 ～栃木県をケーススタディとして～	永井
植村 奈央美	地盤のアーチング現象に関する実験的研究	今泉
大嶽 敦郎	上部構造の支承条件を考慮した高架橋の大地震時挙動に関する研究	中島
大竹 勝彦	交通実験が交通手段選択に与える影響に関するパネル分析 ～宇都宮市パークアンドバススライド実験をケーススタディとして～	永井
小野寺 理	鋼板接着による既設鋼製橋脚の耐震補強法に関する研究	中島
梶谷 裕子	速度を用いた構造物の耐震設計法に関する基礎的研究	中島
川上 弓子	杭などの波動伝播に関する基礎的研究	横山
菊池 成志	鬼怒川河道の地形発達に関する考察	須賀
黒澤 学	自転車の利用圏域の特性に関する研究	古池
小滝 功	押し抜きおよび桁試験におけるスラブ止めの疲労強度に関する研究	中島
藤田 学	栃木県地盤情報データベースの構築とその利用に関する研究	今泉
島村 亮太	宇都宮市における夜間交通事故の特性に関する研究	古池
杉山 浩一	植生が繁茂する砂州周辺部の水質動態に関する基礎的研究	池田
袖山 隆行	クリープ・収縮に及ぼす部材寸法の影響に関する実験的検討	佐藤
並木 徹弥	実測ひずみに基づく新旧コンクリートの打継面応力の算定方法について	佐藤
西田 剛仁	模型実験に及ぼす土槽壁面摩擦の影響	横山
野本 哲也	地盤の沈下に伴うジオメンブレンの変形挙動に関する実験的研究	今泉
畑中 克好	街づくりの事後評価に関する研究 ～栃木市のシンボルロード事業をケーススタディとして～	永井
藤原 直樹	圃場整備された水田の非灌漑期における流出特性	長谷部
三浦 淳	縦渦と並列らせん流に関する実験的検討	須賀
三瀬 あゆこ	直交異方性モデルを用いた鉄筋コンクリート部材の非線形解析について	佐藤
湊 文孝	地方都市における公共交通と土地利用の関連性に関する研究	古池
宮崎 隆洋	流動化処理された下水汚泥焼却灰の地盤工学的特性に関する研究	今泉
本村 康高	沿岸部植生境界における水平渦の三次元構造に関する基礎的研究	池田
森 貴之	首都圏における都市間相互の認知距離に関する研究	古池
謝 秀軍	貯留・流出曲線による計画高水流量の比較検討	長谷部
Lim Hong Ling	自然地域における観光者の駐車行動特性に関する研究	永井
五十嵐 壮太郎	浅い湖沼における水温成層が水質動態に及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
鳥部 敏文	塩水くさびの中間層の性状に関する2, 3の考察	須賀
伊藤 克浩	柔な立杭に作用する土圧分布に関する如究	横山
末永 仁良	融雪期における山地植生分布と熱収支	長谷部
中村 大助	温度変化に伴うジオメンブレンの変形挙動の評価	今泉
上原 哲一	実験水路による音環境特性	長谷部
大坪 恭	河川から見た橋梁のシビックデザイン	須賀
大西 竜浩	押し抜きおよび桁試験におけるスラブ止めの静的荷重ずれ性状に関する研究	中島
加藤 幸生	地域特性から見た農村出身者の帰郷行動に関する比較分析	永井
佐久間 啓吾	環境イメージの調査方法に関する比較分析	永井
鈴木 和典	高強度コンクリートにおける自己収縮に関する実験的検討	佐藤
鈴木 教弘	計画情報の提供が住民の態度に与える影響に関する分析	永井
外館 隆紀	土地区画整理後の建築物の立地特性に関する研究	古池
高橋 克己	大谷石切り粉の埋戻し材としての利用に関する研究	横山
増澤 公男	生コン廃スラッジの地盤工学的有効利用に関する研究	横山
町田 太一	拡底杭の三次元的支持力評価に関する研究	横山

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
鈴木 倫久	砂州周縁部に繁茂する植生が高水時の流れに与える影響	須賀
高橋 和宏	軸対称及び二次元BubblePlumeによる密度成層の混合特性とその比較検討	須賀
高橋 悟	地盤内に敷設されたジオシンセティックスの引張り変形挙動に関する研究	今泉
津田 守	短期および持続荷重を受けるPRC連続はりの断面力と変形に関する研究	佐藤
筒井 英之	高強度コンクリートの自己収縮に関する基礎的研究	佐藤
島山 仁	地区における用途地域制と空間立地動向の比較研究	古池
水沼 孝恵	大谷石の地盤工学的性質に関する基礎的研究ー空洞陥没メカニズム解明のためのー	横山
深山 大介	弾塑性有限変位解析を用いた鋼製橋脚の保有水平耐力照査法の構築に関する研究	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
Amira Maher	Frictional Resistance of Single Bored Pile	横山

1996年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
阿保 真喜子	局所沈下を受けるジオシンセティックスライナーの伸び特性に関する模型実験	今泉
荒川 太郎	鋼製ラーメン橋脚の弾塑性地震応答性状に関する研究	中島
伊藤 薫	自転車交通と都市環境の関連性の研究	古池
岩崎 正晃	情報が私事目的交通行動に与える影響について	古池
金今 孝弘	ジオテキスタイルを用いた補強土工法の研究	横山
川崎 靖幸	高強度コンクリートのクリープに関する実験的研究	佐藤
川島 智彦	都市特性からみた輸送エネルギー原単位の推計に関する研究	古池
北野 嘉一	風速場を用いた融雪量の算定に関する研究	長谷部
熊田 淳一	夜間交通事故と道路照明環境の関連性の研究	古池
黒崎 充能	ニューラルネットワークとファジイ理論を用いたダム操作支援システムの構築	長谷部
斎藤 崇	オープンスペース付近での2次元火災対流に伴う3次元流動に関する基礎的研究	池田
隅田 智之	並列らせん流の減衰過程に関する実験的検討	須賀
土岐 浩之	剛体ばねモデル解析を用いた桁橋の構造減衰特性に関する研究	中島
中村 麻衣子	宇都宮の都市計画史と計画の事後評価に関する研究	古池
中村 友香	含水状態がジオメンブレン土との層間摩擦特性に与える影響	今泉
生天目 実一	実験水路による流水音特性	長谷部
平野 真人	小河川の河道特性と社会環境に関する考察	須賀
廣田 篤	スラブ止めの静的水平せん断ずれ性状に着目した実験的研究	中島
本間 均	地方中核都市を対象とした公共交通と土地利用についての実証的分析	古池
吉原 知佳	スラブ止めの疲労強度に着目した実験的研究	中島
米田 光徳	砂州周辺における流況の多様性が水質動態に及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
陳 建宏	高強度コンクリートを用いたPRC部材の時間依存性変形評価	佐藤
陳 俊銘	混雑状況に着目した観光周遊行動の分析	古池
松谷 定信	生コン塵スラッジの土質安定材としての有用性に関する研究	横山
平野 俊一	付着に基づくRC曲げ部材の非線形解析について	佐藤
石川 勝雄	浅い湖沼の規模と日成層が水質動態に与える影響に関する基礎的研究	池田
庄司 泰啓	高架橋システムの大地震時挙動に関する研究	中島
鈴木 征大	高強度コンクリートの自己収縮応力のFEM解析	佐藤
瀬川 信弘	地盤-杭-構造物の相互作用を考慮した動的応答に関する基礎的研究	横山
高本 賢司	敷設されたジオメンブレン内に発生する熱応力の評価	今泉
豊崎 秀一	高強度コンクリートを用いたRCはりのせん断特性に関する検討	佐藤

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
阿部 貴之	宇都宮市における都市計画の変遷と今後の計画策定のあり方に関する研究	古池
阿部 司	重ね合わせの原理に基づくRC曲げ要素のクリープ解析法に関する基礎的研究	須賀
鎌田 清孝	圃場整備事業対象流域における流出解析手法の評価と整備後における流出予測について	長谷部
木下 靖貴	エアリフト流れの流動形態と水圧変化が揚水特性に及ぼす影響	須賀
熊倉 浩司	身体障害者用専椅子の走行を考慮した下水道等の埋戻し工法の研究	横山
小林 充	交通実験が交通手段選択に与える影響-宇都宮市のパークアンドバスライドをケーススタディとして-	古池
戸村 武志	東京都市圏における都市構造と輸送エネルギーの将来予測に関する研究	古池
藤本 英悟	円形、正方形基礎による地盤の破壊形状と支持力特性に関する研究	今泉
溝江 慶久	スラブ止めの合成効果を考慮した連続非合成桁橋の力学特性に関する研究	中島
村田 慎	上向き浸透力を考慮した締切矢板壁の掘削時安定性に関する研究	横山

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
文 松森	拡底杭の抵抗挙動に関する研究	横山

1997年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
安齋 慎介	破壊力学を導入したRC曲げ部材の時間依存性変形解析	佐藤
出雲 大士	集計指標からみた観光地における来訪者の周遊行動特性に関する研究 ～奥日光地域をケーススタディとして～	永井
伊勢 典浩	大谷石の電磁波乾燥による乾湿履歴が圧縮・引張強度に及ぼす影響	横山
梅木 美日子	多摩川の流況変化に応じた長期水質変動に関する基礎的研究	池田
加藤 友美	都市流域の土地利用形態の変化が河川水質に与える影響について	長谷部
金丸 和稔	鋼製橋脚-基礎地盤系の減衰特性に関する基礎的研究	中島
木内 崇偉	渡良瀬貯水池の目成層現象に関する基礎的研究	池田
葛生 光晴	圃場整備事業が流出特性に与える影響に関する研究	長谷部
佐々木 雅彦	観光地における周遊行動モデルに関する研究	永井
佐藤 大	両振りせん断力を受けるスタッドの静的・疲労強度に関する実験的研究	中島
佐野 薫	既成観光地の駐車場整備に関する事後評価	永井
塩谷 哲司	LESモデルによる融雪量の算定	長谷部
鈴木 克範	短時間路上駐車車両が交通流に及ぼす影響	古池
鈴木 伸司	みお及び2次のみおの安定性に関する検討	須賀
藪部 基信	再生粗骨材を用いたRCはりのせん断特性に関する実験的研究	佐藤
谷川 貴信	固定工の断面形状が遮水シートの固定能力に与える影響	今泉
戸松 泰志	還元力特性の履歴法則がエネルギー定則の適用性に及ぼす影響に関する研究	中島
早川 智浩	収縮・曲げ・せん断作用を受けるRCはりの耐力・変形解析に関する一考察	佐藤
半沢 雄作	宇都宮市における自転車走行環境についての調査研究	古池
日野 正御	地盤反力係数の寸法・剛性効果に関する実験的研究	横山
二見 智子	基盤の局所的沈下の大きさが遮水シートの伸び挙動に与える影響	今泉
牧野 健太郎	土地区画整理における事業完成後の立地動向に関する研究	古池
山口 治	車椅子走行に必要な筋力と路面性状の関係について	横山
山田 充彦	一般廃棄物焼却灰の土質特性に関する研究	今泉
雪田 憲子	水和熱、外気温変動およびプレストレッシングによるPRCラーメン橋の挙動と連成応力解析	佐藤
川又 啓介	遮水シートの摩擦特性を考慮した熱応力評価	今泉
田村 壮	河道内植生の効率的調査方法に関する基礎的研究	池田
茂木 信祥	長良川河口堰運用開始後の新聞報道の分析	須賀
吉田 育生	橋軸直角方向力を受ける合成桁スタッドの挙動に着目した実験的研究	中島
市原 豊一	観光者の周遊行動特性に関する非集計分析	永井
平本 寛之	鬼怒川における河道特性の変化が植生繁茂状態に与える影響に関する基礎的研究	池田
青木 達也	デザインゲームとSCAを用いた街づくりに関する手法論的検討	古池
井出 賢司	住民意識から捉えた住民参加型まちづくりの方向性に関する研究	古池
伊藤 正教	水源地からみる栃木県内の川の種類・特性の検討	須賀
上野 生弥	オープンスペース周辺における広域火災が旋風の発生に与える影響に関する基礎的研究	池田
河合 敦	流水音特性に関する研究	長谷部
小林 芳章	生コン廃スラッジの土質安定処理材としての有用性に関する研究	横山
東田 学	オリノコデルタ内の水路群の特性	須賀
宮崎 理彦	再生粗骨材を用いたRCはりの曲げ特性	佐藤
森 誠	埋立廃棄物の圧縮に伴うジオメンブレン引込み力の評価	今泉
亀井 謙介	砂州周縁部に植生が繁茂する場合の断面内二次流の鉛直分布形について	池田
小海 昌伸	中空三軸圧縮試験を用いた土の応力・ひずみに関する研究	横山
深田 浩昭	長期社会実験が参加者の交通機関選択の意志決定に与える影響	永井

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
井筒 春生	自然資源の優れた観光地における適正収容力の推定方法に関する基礎的研究 ～奥日光地域をケーススタディとして～	永井
小野寺 理	鋼製ラーメン橋脚の耐震設計におけるエネルギー定則の適用性に関する研究	中島
薦田 学	栃木県内地盤の地震防災的観点からの評価に関する研究	今泉
佐久間 啓吾	観光レクリエーション地区における歩行行動特性に関する研究	永井
島村 亮太	道路の照度環境が夜間交通事故にもたらす影響に関する研究	古池
袖山 隆行	クープ・収縮の寸法依存性と実大PRC部材モデルの長期変形解析法	佐藤
鳥部 敏文	塩水くさび先端部の挙動が中間層に与える影響	須賀
西田 剛仁	模型砂地盤の作成方法と地盤内応力分布に関する基礎的研究	横山
畑中 克好	街づくり計画に関する事後評価	永井
三瀬 あゆこ	RCはりのせん断特性に及ぼす自己収縮の影響に関する実験的研究	佐藤
宮崎 隆洋	下水汚泥焼却灰の地盤工学的有効利用に関する研究	今泉
MD. Mohsin Jahangir Sarker	Assessment of Gap Actuated Push Button Signal by Using Traffic Simulation Model	古池
本村 康高	側岸部植生境界における組織的乱流運動の三次元構造	須賀
森 貴之	広域都市圏における交通目的から見た行動圏域に関する研究	古池
揚 揚	高強度コンクリートの体積変化の成分分離と拘束応力に関する基礎的研究	佐藤

1998年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
浅井 貴幸	長期有効曲げ剛性を用いたマトリクス法によるPRC連続はりの長期変形解析について	佐藤
荒武 宗人	時間軸に着目した観光者の周遊行動特性に関する分析～奥日光地域をケーススタディーとして～	永井
安中 真紀	橋軸直角方向力による合成桁ずれ止めの挙動の把握に関する研究	中島
伊藤 和典	平成10年8月末、那須水害による余笹川の流路変化の特性	須賀
井上 芳友	中小河川での改修工法の縦断変化が流況と生態系に及ぼす影響に関する基礎調査	池田
植木 雅雄	連続合成桁の力学性状に関する実験的研究	中島
生出 佳	橋脚の三次元大地震時挙動に関する研究	中島
大野 貴史	並列らせん流の組織的構造に関する実験的検討	須賀
岡村 正巳	スタッドの両振り繰り返しせん断ずれ性状に関する研究	中島
檜原 秀隆	RCはりのせん断特性に及ぼす再生骨材の品質と利用方法の影響	佐藤
加藤 百合子	土木教育に対する社会構念と学生の意識に関する比較分析	永井
上谷 和幸	NETSIMを用いた地区内交通流と容積率に関する研究	古池
栗田 智則	栃木県南部地域の地盤沈下現象に関する地盤工学的考察	今泉
栗山 徹也	大気場を考慮した融雪量の算定	長谷部
後藤 陽一	降雨強度と音特性に関する基礎研究	長谷部
佐々木 俊典	二成層水域におけるBubblePlumeによる酸素供給についての実験的検討	池田
柴田 陽子	高架橋システムの耐震設計におけるエネルギー一定則の適用性に関する研究	中島
竹高 麗子	都市河川と山地河川の流出機構の比較について	長谷部
土田 真理子	野外レクリエーション地区における歩行行動特性の実証的分析 ～交通手段との関係を中心として～	永井
中道 正晴	斜面上多層遮水工に作用する張力評価のための遠心模型実験	今泉
中村 洋文	高強度コンクリートのせん断特性に及ぼす収縮の影響とその検討	佐藤
成田 里絵	熱赤外画像による地盤構造物の管理評価に関する研究	今泉
根城 澄子	宇都宮の月平均気温及び月降水量の時系列解析	長谷部
檜山 伸明	降水量の確率分布と確率降水量について	長谷部
山田 絵里	東南アジアにおける土地利用と交通に関する比較研究	古池
山田 周治郎	下水汚泥焼却灰の重金属安定化と地盤工学的有効利用に関する研究	今泉
吉田 真紀	東京都市圏における交通容量を考慮した容積率設定に関する研究	古池
吉田 奈央	観光周遊行動のシミュレーション分析	永井
若松 剛臣	PRC桁からなる連続橋モデルの長期載荷実験とクリープ解析	佐藤
渡部 剛	民間の集客施設開発が周辺に与える社会経済的インパクトの事後評価 —ツインリンクもてぎをケーススタディーとして—	永井
金成 修一	側岸部植生境界における水平滴の三次元構造の発生要因に関する基礎的研究	池田
久我 英之	高炉スラグ微粉末を用いた高強度コンクリートの自己収縮に及ぼす乾燥の影響	佐藤
黒井 祐	長期有効曲げ剛性の高強度コンクリート部材への適用性	佐藤
伊藤 正顕	ステップ・アンド・プールの河道形態について	須賀
藍原 和弘	静止型火災旋風の発生に関する基礎的研究	池田
花崎 豪	北陸急流河川の特性と社会への反映	須賀
阿部 秀治	不等沈下を受けるジオメンブレンの種類の違いがひずみ分布に与える影響	今泉
今井 真人	鬼怒川の主水路位置の平面的変化量に関する基礎的研究	池田
遠藤 寛之	塩水くさび先端部の挙動が中間層に与える影響	須賀
小川 真司	オリノコデルタ河川の河道特性とフラクタル次元の関係について	須賀
片外 喜久	道路環境と歩行者・自転車利用者の意識に関する研究	古池
高橋 英行	RCはりの曲げ特性に及ぼす再生骨材の品質と利用方法の影響	佐藤
高橋 真弓	宇都宮市における路面電車（LRT）の成立可能性についての研究	古池
戸田 亮介	交差点改良が交通環境に及ぼす影響に関する研究	古池
檜原 英治	台湾におけるキャンプ場の嗜好に関する分析	永井
樋渡 佳浩	水浸状態が各種ジオメンブレンの層間摩擦特性に与える影響	今泉
増田 雄祐	鋼柱の後座屈挙動に関する研究	中島
三ヶ田 能	ロームおよびベントナイト混合土の透水性評価に関する研究	今泉
池野 誠司	多摩川中流域における水質と付着藻類の分布状況に関する基礎的研究	池田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
川嶋 桂	降水のイオン濃度特性と、その降水の森林土壌への影響について	長谷部
瀬川 信弘	地震時の鉛直衝撃力により構造物—杭系に生じる応力波伝播に関する実験的研究	今泉
生天目 実一	大和川水系石川流域における水循環過程について	長谷部
平野 真人	並列らせん流に与える河床の影響について	須賀
米田 光徳	砂州に繁茂する植生が流れに及ぼす影響に関する実験的研究	須賀
野本 哲也	基礎の局所沈下を受けるジオメンブレンの挙動に関する研究	今泉
伊藤 薫	宇都宮市における自転車交通の実態とその利用促進に関する研究	古池
川島 智彦	宇都宮市において交通施策が環境負荷に与える影響に関する研究	古池
庄司 泰啓	高架橋システムの大地震時挙動および耐震設計法に関する研究	中島
土岐 浩之	連続合成桁橋の車両走行による使用性応答に関する研究	中島

1999年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
大植 健	ミクロスケールに骨組モデルを用いたマルチスケールセル構造解析	中島
大田 和明	鬼怒川における流路変遷の数値的特徴に関する基礎的研究	池田
長内 圭太	ブントナイト混合土の透水性評価	今泉
小沼 裕	交通エネルギーから見た都市特性と公共交通の効率性に関する研究	森本
加茂 洋二	中小河川における多自然型改修工法による流況変化に関する基礎的調査	池田
葛巻 賢二	上載荷重が基礎の局所沈下を受けるジオメンブレンの伸び挙動に与える影響	今泉
工藤 忠	高架橋システムの簡易モデルによる大地震時挙動に関する研究	中島
相良 光紀	混合砂礫を用いた横侵食に関する実験	須賀
篠原 秀文	人為的に酸性化した土壌のイオン濃度特性とそれがスギ、コナラ、シラカシに与える影響	長谷部
清水 恵美子	区画整理地区における建物の立地パターンに関する研究	森本
白石 慎重	GISを用いた交通事故と危険意識の空間的関連性に関する研究	古池
須長 裕晶	農地河川の排水路整備による流出の変化について	長谷部
関 達也	NETSIMを用いた都市内交通流の再現と都市開発に関する研究	森本
橋 公司	山地河川における河川と社会の相互関係に関する考察	須賀
千葉 修市	既成観光地の公共政策に関する事後評価	永井
富田 渉	余笹川の近自然工法に関する基礎調査	須賀
土井 和美	履歴エネルギーに着目したスタッドの疲労特性に関する研究	中島
西 健之	接近風がある場合の火災旋風の発生に関する基礎的研究	池田
橋井 伸和	デルタの発達と土地利用	須賀
服部 克典	下部保護層の厚さが局所沈下を受けるジオメンブレンの伸び挙動に与える影響	今泉
菱谷 純子	ジオメンブレンの突刺し抵抗に関する地盤強度等の影響	今泉
福田 淳	橋脚の大地震時挙動に及ぼす複合非線形性の影響	中島
水口 直人	地方鉄道の利用促進に関する研究	永井
皆川 洋	渡良瀬貯水池における濁度の上昇によるDOの低下に関する基礎的研究	池田
宮下 尊司	道路及び鉄道混雑緩和を目指した東京都区部の都市構造設定に関する研究	森本
守田 健太郎	砂州に繁殖する植生が大出水時の流れに及ぼす影響に関する実験的研究	池田
渡邊 洋治	観光都市における入込観光客数の推計方法と市場分析に関する研究 ～栃木市をケーススタディーとして～	永井
長嶋 孝明	余笹川の橋梁被害と土地利用	須賀
栗田(小川) 茜	一般廃棄物焼却灰が浸出水集排水工の目詰まりに与える影響	今泉
鈴木 一由	地区内の道路容量に対応した都市開発に関する研究	古池
宮下 修一	LRT開発に伴う効率的な駐輪場整備に関する研究	古池
小野 暁生	自動車交通の需要と供給のギャップ指標と都市特性の関連性	古池
古川 一史	直線縦断面河道の勾配急変部における断面分割1次元解析	池田
千本 英男	観光周遊行動モデルの現状再現性に関する研究	永井
谷藤 大地	田川流域の土地利用形態が河川水質に及ぼす影響	長谷部
戸田 晃寿	大谷川流域の地質構造と河川水質について	長谷部
大木 太	2径間連続合成桁の負荷げ領域の力学性状に関する実験的研究	中島
迫田 昌一	利用者属性別に見た道路危険意識と交通事故実態の関連性に関する研究	古池
佐々木 敦之	混合強さの相違による塩水くさびの中間層に与える影響	須賀
橋 優一	フレックスタイム制の事後評価に関する一考察	古池
大道 隆史	二酸化炭素濃度と気温及び降水量の時系列との関係について	長谷部
塚田 哲生	エコセメントを用いたコンクリートの基礎物性に関する研究	梶田
野澤 龍彦	洗浄分級された一般廃棄物焼却灰の土質特性ならびに溶出特性	今泉
吉川 朱音	観光都市における入込観光客数の推計方法と市場分析に関する研究 ～栃木市をケーススタディーとして～	永井
山本 兼二	東南アジアにおける交通需要マネージメント (TDM) の都市比較	森本

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
安斎 慎介	性能規定に基づくコンクリート構造部材の変形・ひび割れ挙動とその評価に関する研究	佐藤
出雲 大士	観光周遊行動の特性分析	永井
金丸 和稔	橋脚-基礎地盤系の減衰特性に関する研究	中島
木内 崇偉	渡良瀬貯水池における魚類致死と水質動態に関する研究	池田
小海 昌伸	両振り載荷によるスタッドの強度とせん断ずれ性状に関する研究	中島
佐々木 雅彦	観光地における駐車場政策のシミュレーション分析	永井
佐野 薫	観光地の活性化を目指した公共政策の事後評価に関する研究	永井
鈴木 克範	地区内交通の円滑化からみた土地利用に関する研究	古池
谷川 貴信	廃棄物処分場に敷設される遮水シートの固定工構造に関する研究	今泉
早川 智浩	せん断補強された高強度RC部材のせん断特性に及ぼす収縮の影響	佐藤
半澤 雄作	利用者属性別にみた危険認知と交通事故に関する研究	古池
茂木 信祥	河道内高木群落の実態と動態予測について	須賀
雪田 憲子	PRC桁のクリープ・収縮による橋脚応力の解析と設計に関する一考察	佐藤
加藤 友美	流域内の土地利用形態が河川水質特性に与える影響	長谷部
川又 啓介	覆土で拘束された遮水シートの熱応力評価に関する研究	今泉
葛生 光晴	低平地の水田流出解析と圃場整備後の排水機能に関する研究	長谷部
塩谷 哲司	LESモデルによる融雪量と酸性降下物の湿性沈着量の算定に関する研究	長谷部
山口 治	歩道の傾斜特性と車椅子利用者の登坂性に関する研究	今泉
山田 充彦	一般廃棄物燃却灰土質特性の経時変化に関する研究	今泉

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
坪井 正行	ジオメンブレンの材料特性とライナーとしての力学評価に関する研究	今泉

2000年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青山 昌代	2軸曲げを受けるRC橋脚の弾塑性地震応答解析	中島
芦澤 良一	閉鎖空間を充填する高流動コンクリートの間隙部における流動圧力損失現象に関する研究	藤原
阿曾 淳	那須高原地域における道路交通情報提供とその効果に関する研究	森本
石井 祐道	余笹川における近自然工法による災害復旧に関する調査	須賀
内川 直洋	単純な橋脚モデルの固有振動特性に関する基礎的研究	中島
大金 洋平	高流動コンクリートの型枠内流動時における鉄筋間での表面高さ損失現象に関する研究	藤原
岡村 洋一	比抵抗法を用いた非破壊的コンクリート強度推定方法に関する研究	藤原
長田 哲平	javaを用いた都市計画データベースシステムの開発	森本
河西 司	火災旋風の発生に接近風の地表境界層が及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
小島 大司	都市ごみ焼却灰がジオテキスタイルの透水性に与える影響	今泉
小竹 正幸	セル構造体に対する平均化手法の適用性に関する一考察	中島
小又 昭彦	低粘土型再充填用グラウト材の流動性に及ぼす各種混和材の影響	藤原
小松崎 敦志	奥日光湯川に沿う水質変化に関する基礎的研究	池田
千葉 のぞみ	地域レベルの住宅需給に関する分析方法	永井
富田 浩司	渡良瀬貯水池の魚類斃死における魚のサイズの影響	池田
富田 芽夢	大規模商業開発が広域な都市交通に与える影響に関する研究	森本
沼尾 健太郎	土地利用から見た大陸デルタの分類	須賀
藤原 崇泰	観光地における公共交通利用促進策の比較分析	永井
古川 裕勝	局所沈下を受ける遮水シートの張力分布に関する模型実験	今泉
松枝 真吾	堆積軟岩(大谷石)における粘土鉱物の含有率と力学特性の関連性について	清水
宮澤 俊介	一般廃棄物焼却灰の洗浄分級法におけるPb、Cd、Cr6+の物質収支	今泉
村瀬 岳	細孔分布測定装置を用いたマイクロ空隙の測定と透水係数の関係	今泉
森藤 早苗	複合構造の鋼・コンクリート支圧挙動に関する基礎的研究	中島
守谷 隆志	認知空間を考慮した交通事故と危険意識に関する研究	古池
山中 久	まちづくりからみた釜川改修事業の効果に関する事後分析	永井
和田 吉隆	鬼怒川における河道内高木と河道特性との関係について	須賀
小野 尚志	勾配急変部における混合砂礫の堆積状況に関する基礎実験	池田
茅野 紘治	平成10年8月末、那須水害による橋梁被害とその対策	須賀
仲田 大豊	万歩計を用いた都心及び郊外店舗の歩行者行動特性に関する研究	森本
鮎沢 淳一	掘削跡地空間の有効利用条件に関する研究	清水
小林 靖	岩石の風化に伴う強度・組成の変化に関する実験的研究	清水
古川 保明	青森県浅瀬石川ダム流域の融雪流出解析	長谷部
亀原 大道	画像解析による岩石の鉱物再組成とその力学的性質に関する研究	清水
赤對 祐治	シャトルバスに関する交通実験の事後分析	永井
高林 佳弘	低サイクル疲労に着目した両振り載荷によるスタッドの疲労特性に関する研究	中島
石川 知美	中小河川データベースの構築とGISへの活用に関する基礎的研究	池田
大川 貴英	ポーラスコンクリートと溶岩を用いた吸音体の吸音特性に関する研究	藤原
河田 康弘	酸性雨が樹木・土壌に与える影響と酸性土壌の化学的性質	長谷部
小西 竜也	観光地における交通行動調査の集計方法の比較分析	永井
竹腰 祥紀	自転車から自動車への利用転換期における移行メカニズムに関する研究	古池
牧野 哲	宇都宮市における新交通導入施策の評価に関する研究	古池
宮下 高德	北半球と南半球の二酸化炭素濃度による時系列解析	長谷部
村上 篤史	地区内交通におけるバスと容積率の関係に関する研究	古池
村松 宣明	生活排水が都市河川田川の水質に与える影響	長谷部

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
浅井 貴幸	連続合成桁橋の力学性状に関する実験および解析的研究	中島
伊藤 和典	余笹川にみる低頻度大洪水による横侵食性河道変化に関する研究	須賀
金成 修一	側岸部植生境界における組織的乱流運動の三次元構造とその発生要因に関する実験的研究	池田
佐々木 俊典	閉鎖性二成層水域における曝気循環流の特性と酸素供給に関する実験的研究	池田
吉田 真紀	宇都宮都市圏における交通負荷の少ない土地利用規制に関する研究	古池
栗山 徹也	栃木県内における酸性降下物の分布特性と東アジアからの長距離輸送解析	長谷部
竹高 麗子	地球規模的な二酸化炭素の時系列特性	長谷部
中道 正晴	廃棄物埋立に伴い発生する斜面上遮水シートの張力評価に関する研究	今泉
三ヶ田 能	ペントナイト混合土を用いた遮水工に関する研究	今泉

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
本橋 稔	観光地における交通行動の調査・分析プロセスの改善と駐車場政策への適用に関する研究	永井

2001年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
浅利 正俊	危険意識のメカニズムと交通事故の評価に関する研究	古池
阿部田 樹里	地質統計手法による斜面安定度評価に関する研究	清木
飯原 伸幸	準高流動コンクリートの硬化性状に関する研究	藤原
石澤 由	高流動コンクリートの間隙通過時における圧力損失に関する研究	藤原
永岡 智子	岩石の人為的風化とその力学特性に関する研究	清木
井上 仁志	地球規模での二酸化炭素濃度の時系列特性	長谷部
大河原 良子	植生を有する砂州の出水時の状況に関する基礎的調査	池田
尾上 真理	観光地における来訪者の交通行動分析	永井
加藤 祐哉	チクソトロビー性状を示すグラウトの性状に関する研究	藤原
上出 洋輔	酸性土壌の化学的性質が樹木の地下部（根）の生長に与える影響	長谷部
北澤 淳	路面の凹凸が自転車走行に及ぼす影響に関する研究	古池
近藤 輝定	宇都宮における機関分担率を考慮した交通影響評価に関する研究	森本
酒川 真二	巻込み型火災旋風の構造に関する基礎的実験的研究	池田
佐川 雄亮	岩盤節理の分布特性と透水性に関する研究	清木
佐倉 隆司	マルチスケール法を用いた連続合成桁橋RC床版のひび割れ解析	中島
櫻井 健太郎	都市緑地保全政策への参加形態に関する実証分析	永井
柴田 勲	小河川における多自然型改修の環境価値の経済評価	池田
下野 清司	首都圏計画における交通・土地利用計画の変遷に関する研究	森本
鈴木 祐介	土質改良における生石灰とドロマイトの比較	今泉
立石 弥保	油污染土の洗浄処理後の土質特性	今泉
二瓶 和美	地方都市における交通アセスメントの基準に関する一考察	古池
沼野 友伸	ポーラスコンクリートの吸音特性及びその改良に関する研究	藤原
野呂 徹	全国PTを用いた交通エネルギー特性の推移と都市構造に関する研究	森本
廣田 明子	観光地における来訪者の交通行動分析	永井
本田 結美	複合構造鋼・コンクリート接触面の付着に関する実験的研究	中島
前川原 貴	フラットバーを用いたHDPE遮水シートの固定能評価	今泉
宮田 秀一	大和川の上流域から下流域における応答特性	長谷部
柳 智子	鋼アーチ橋の2次元弾塑性地震時挙動とそのモデル化	中島
井上 直	中心市街地と郊外大型店における歩行行動の差異に関する研究	古池
木下 幸治	スタッドの両振り載荷による静的・疲労強度-応力伝達に着目した検討-	中島
斎藤 和行	インターネットを用いた交通行動のアンケート調査方法に関する研究	永井
足立 孝之	交通環境負荷と都市構造の関連性に着目した研究動向に関する一考察	森本
阿部 果林	準高流動コンクリートのフレッシュ性状に関する基礎的研究	藤原
磯部 智史	路線価の設定方法に関する実証分析	永井
菅家 茂理	ポテンシャル関数を用いた離散体のマルチスケールモデリング	中島
斎藤 公治	宇都宮市における自転車事故の特性と対策に関する研究	古池
佐藤 剛志	ジオグリッド・ジオテキスタイルによる遮水シートの補強効果	今泉
原 耕一郎	宇都宮市内における都市河川田川流域の下水処理場前後の水質に関する研究	長谷部
松田 伯春	X線CTによる結晶質岩の内部幾何構造の再構築と力学的特性に関する研究	清木
村田 浩之	渡良瀬貯水池における1次生産に関する基礎的研究	池田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
大植 健	構造要素を用いたセル構造体の非線形マルチスケールモデリング	中島
工藤 忠	2方向地震動を受ける高架橋の弾塑性地震応答性状に関する研究	中島
清水 恵美子	観光地における交通円滑化を目指した交通予測情報システムに関する研究	古池
関 達也	空間的・時間的視点から見た大規模開発の影響評価に関する研究	古池
千葉 修市	交流による活性化を目指した公共政策の事後評価に関する研究	永井
白石 慎重	交通取締りが交通事故増減に与える影響に関する研究	古池
土田 真理子	CVMを用いた水辺環境の評価方法-支払い意志額関数の説明要因の分析-	永井
池田 浩和	多層ジオシンセティクス遮水工の突き刺し抵抗評価に関する研究	今泉
葛巻 賢二	局所沈下を受ける遮水シートの変形挙動	今泉

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
土居 洋一	都市ごみ焼却灰の土質特性と埋立て問題に関する研究	今泉

2002年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青木 拓也	解析写真測量を用いた室内実験における河床形状の測定について	池田
青柳 篤史	SP調査を用いたLRTの需要予測に関する研究	古池
明石 和美	非定常流下で植生が砂州変形に及ぼす影響に関する基礎的実験	池田
今村 麻希	家庭部門の電力消費量と都市形態に関する研究	森本
大平 博司	環境がガマの生育に及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
奥山 広太	交通流シミュレーションを用いた交差点での交通事故の危険性に関する研究	古池
小原 麻美	中宮祠地区活性化事業の事後評価に関する研究	永井
門垣 武	片振りおよび両振り載荷を受けるスタッド基部のひずみ性状-パイプスタッドによる検討-	中島
鎌田 雅憲	空間スケールおよび複数の地形因子を考慮した降雨-地形関係の解析	長谷部
川崎 絵理	渡良瀬貯水池における水質動態と底泥が与える影響についての研究	池田
川田 亜衣子	地球規模における水質分析と地下水の関係について	長谷部
河野 友彦	来訪者の交通手段が店舗の満足度に及ぼす影響に関する研究	森本
北島 由実	大規模小売店舗における日來客数原単位の変動に関する研究	森本
木村 進	岩盤節理浸透流れの管路モデル化に関する研究	清木
木村 雅幸	陽東キャンパスにおける廃棄物の実態調査と環境影響評価	今泉
倉澤 賢一	有限な対称性を有する周期構造の多重分岐問題におけるブロック対角化法の適用	中島
篠原 雄介	粒界クラックの分布特性を考慮した花崗岩の力学的特性に関する研究	清木
清水 保	地球規模における月単位のCO2濃度の時系列特性	長谷部
新田 勝紀	地盤時系列データに基づく変状分析に関する研究	清木
鈴木 聖子	準高流動コンクリートの表面気泡低減および材料分離抵抗性に関する研究	藤原
鈴木 由人	ジオシンセティックス・クレイライナーの力学的特性評価に関する研究	今泉
須藤 宗雄	重金属汚染土壌の処理方法に関する研究	今泉
須之内 雅	土木工学を専攻する学生の就職意識構造に関する研究 -宇都宮大学建設工学コースにおける実証分析-	永井
早乙女 直也	コンクリートの施工性評価方法に関する研究	藤原
高木 一成	交通施設整備が土地利用推移に与える影響に関する研究	森本
豊田 愛子	中宮祠地区活性化事業の事後評価に関する研究	永井
橋本 泰紘	交通取締りが交通事故に与える年齢別影響に関する研究	古池
橋本 有紀	繊維補強コンクリートへのゴミ溶融スラグの適正	藤原
古橋 裕	高架橋モデルの固有振動特性に関する実験および解析	中島
松田 政禎	既設鋼アーチ橋の固有振動特性を再現するモデル化の検討	中島
山下 晴美	個人の自転車利用履歴が違法駐輪に及ぼす影響に関する研究	古池
栗谷川 朋子	移動制約者の属性を考慮した交通バリアフリー整備に関する研究	古池
藤江 幸人	高チクソトロピー性状を有するグラウト材に関する研究	藤原
星 洋之	流動性の異なる各種コンクリートにおける収縮低減剤の効果	藤原
高橋 邦夫	画像解析による移動型火災旋風の流速場係数に関する基礎的実験	池田
為我井 浩	人工酸性土壌の化学的性質が長期育成した苗木の生長に与える影響	長谷部
原 広樹	インターネットを用いた交通行動のアンケート調査方法の改善に関する研究 ~被験者の回答のしやすさに着目して~	永井
平島 圭介	高流動コンクリートの圧力損失と間隙幅との関係に関する研究	藤原
藤澤 知樹	鋼・コンクリート接触面の付着性状に及ぼす支圧およびスタッドの影響	中島
前沢 浩史	交通シミュレーションを用いた観光地の渋滞発生要因に関する研究	森本
小林 芳博	現地調査に基づく岩盤斜面崩壊の危険度因子の抽出に関する研究	清木
板東 剛司	鉛直遮水シートの引き込み力評価に関する模型実験	今泉

大学院(博士前期課程)

芦澤 良一	高流動コンクリートの間隙部における圧力損失に関する研究	藤原
長田 哲平	統合型データベースを用いた交通影響評価の基準に関する研究	森本
小野 尚志	勾配急変部における河床波の遷移に関する基礎的研究	池田
小松崎 敦志	渡良瀬貯水池における魚類死に底泥が及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
富田 芽夢	都市開発が交通環境負荷に与える影響に関する研究	森本
竹腰 祥紀	過去の交通環境が自転車利用とその意識に及ぼす影響に関する研究	古池
守谷 隆志	交通事故削減を目的とした効果的な交通取締りに関する研究	古池
山中 久	土地区画整理事業が周辺地域に与える波及効果に関する研究	永井
和田 吉隆	低木ヤナギのバイオマス構成と個体ベース成長モデルに関する基礎的研究	長谷部
河田 康弘	酸性土壌がスギ、コナラ、シラカシ苗の生長反応に与える影響の実験的研究	長谷部
宮澤 俊介	一般焼却灰の洗浄利用に関する基礎的研究	今泉
松枝 真吾	大谷石の内部構造不確実性が力学的挙動に与える影響に関する研究	今泉

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
高島 一彦	自動車の走行特性に基づく交差点部の交通安全対策の策定支援に関する研究	古池
MD. MOHSIN J. SARKER	Gap Between Demand and Supply of Auto-related Transportation Infrastructure and Urban	古池
宇佐見 貞彦	廃棄物処分場における基盤変形に伴う遮水シートの挙動と設計方法	今泉

2003年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
阿部 涼一	メソ気象数値モデルによる集中豪雨の発生・維持機構に関する研究	長谷部
飯塚 重房	中心市街地の活性化から見た公共事業の比較分析 -栃木県内の市町村を事例として-	永井
石川 千尋	膨潤量を制御したGCLの透水特性の評価	今泉
石森 大輔	家庭部門の電力消費量に影響を及ぼす地域特性に関する研究	森本
井上 淳	両引き試験による鋼板を介したRC部材の力学性状に関する研究	中島
今泉 聡英	時系列解析による岩盤斜面の地すべり挙動予測に関する研究	清水
岩崎 麻美	下水汚泥溶融スラグを細骨材として用いたコンクリートのフレッシュ性状に関する研究	藤原
海老原 和	画像解析による花崗岩中の粒界クラックの分布特性を考慮した力学性状に関する研究	清水
江守 太一郎	大谷採石地下空間の安全性検討に関する研究	清水
大内田 昌史	大規模小売店舗立地法における審査体制が交通問題発生に及ぼす影響に関する研究	古池
太田 雅人	栃木県およびその周辺部における酸性降下物の分布特性に関する研究	長谷部
大塚 伸悟	現地調査に基づく岩盤斜面崩壊の安定度に関する数値解析的研究	清水
小川 大介	複合構造のための接触解析手法に関する一考察	中島
掛端 太郎	廃棄物の圧縮と基盤沈下を受ける遮水シートの挙動評価実験	今泉
片岸 道悟	トランジットモール導入における合意形成ツールの開発	古池
鹿野 幹夫	大気中CO2濃度の長周期変動と太陽活動との相互関係に関する研究	長谷部
川端 徹	通勤交通手段選択モデルを用いたシャトルバス施策の分析	永井
喜美候部 直子	うろつき度による中心市街地の魅力評価に関する研究	古池
小見山 公孝	構造特性の不確実性が鋼製橋脚の弾塑性地震応答性状に及ぼす影響	中島
斎藤 敬子	交通環境からみた大規模商業施設の立地動向に関する研究	森本
佐藤 玲	砂州上のオギ群落に関する基礎的調査	池田
佐野 道徳	平面セル構造体の3次元マルチスケール解析法の構築	中島
白根 澤玲子	LRTの情報提示が住民の心理に与える影響に関する研究	古池
瀬尾 恵介	中心市街地の活性化から見た公共事業の比較分析 -栃木県内の市町村を事例として-	永井
瀬川 隆大	堆積軟岩の風化による表面色調および強度の変化に関する研究	清水
曾根原 高志	大規模小売店舗立地法における日來客数予測の事後評価に関する研究	森本
高秀 賢史	来訪者から見たまつりの便益と消費額に関する比較分析 -ふるさと宮まつりととちぎ秋まつりをケーススタディとして-	永井
武田 良樹	下水溶融スラグを細骨材として用いたコンクリートの硬化性状に関する研究	藤原
田澤 達博	底泥の巻き上げによる水質変化と魚類斃死についての基礎的研究	池田
塚田 野絵	植生群落の拡大が河床変動に及ぼす影響に関する基礎的実験	池田
中田 好古	宇都宮市釜川における水質の位置的、時間的変動に関する基礎的研究	池田
藤田 由美子	LRT導入における属性別の交通行動変化の予測	森本
三浦 啓幸	北海道・茂辺地大橋橋脚部架換工事における準高流動コンクリートの適用に関する実験的研究	藤原
渡辺 剛	飲酒事故の実態と飲酒取締りの影響力に関する研究	古池
渡辺 有寿	高流動コンクリートの鉄筋間げき部における粗骨材体積濃度の増大に関する研究	藤原
加藤 純一	ファジィおよびニューラルネットワークシステムを用いたダム操作支援システムの比較検討	長谷部
中田 睦実	傾斜フロー試験を用いたコンクリートのフレッシュ性状評価に関する研究	藤原
西村 美也子	鋼・コンクリート接触面の付着性状に及ぼす支圧負荷方法の影響	中島
安藤 優生	中心市街地の活性化から見た公共事業の比較分析 -栃木県内の市町村を事例として-	永井
佐久間 徹	来訪者から見たまつりの便益と消費額に関する比較分析 -ふるさと宮まつりととちぎ秋まつりをケーススタディとして-	永井
大学 洋幸	超高強度コンクリートの断熱条件下における強度発現性および自己収縮に関する実験的研究	藤原
越間 康文	郊外型開発から公共交通指向型開発への転換がLRT利用に及ぼす影響	森本
菊池 研	画像解析による花崗岩のマイクロクラック分布特性および浸透モデルに関する研究	清水
齋藤 裕幸	高流動コンクリートの圧力損失メカニズムに関する実験的研究	藤原
桜井 康博	大芦川流域の土地構造と地下水が河川水質に与える影響に関する研究	長谷部
鈴木 潤	地形特性および気候特性を考慮したグローバルな降雨-地形関係の解析	長谷部
中村 正行	グループ配置スタッドの応力伝達性状に関する研究	中島
Angalan Ganbayar	Java言語を用いた河川不定流のオブジェクト指向プログラミング	池田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
浅利 正俊	交通施設の整備が地区レベルの交通環境負荷に与える影響に関する研究	古池
阿部 果林	準高流動コンクリートの基本性状およびその適用性に関する研究	藤原
阿部田 樹里	統計的手法による斜面評価基準設定に関する研究	今泉
石澤 由	高流動コンクリートの間隙部流動挙動に関するレオロジー的考察	藤原
磯部 智史	社会的ジレンマを考慮したTDM施策に関する研究 ~公共交通施策における協力金が交通手段選択行動にもたらす影響~	永井
井上 直	歩行行動を指標とした中心市街地の評価に関する研究	古池
加藤 祐哉	高チクソトローピー性状を有するPCグラウトに関する研究	藤原
菅家 茂理	材料のナノ構造設計のための原子・連続体連立解析手法の構築	中島
北澤 淳	地域特性を考慮した効果的な交通取締りに関する研究	古池
沼野 友伸	各種溶融スラグのコンクリート製品への適用に関する研究	藤原
柳 智子	2方向地震動を受ける高架橋の耐震設計法に関する研究	中島
飯塚 正樹	遮水工としてのベントナイト混合土配合設計手法に関する研究	今泉
原 耕一郎	降雨場のスケール不変性および地形効果を考慮した擬似降雨発生モデルに関する研究	長谷部
前川原 貴	遮水シートの構造物への固定能評価に関する実験的研究	今泉

2004年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
我妻 順子	公共交通と連携したレンタサイクルの利用促進に関する研究	古池
安藤 充哲	崩壊事例に基づく岩盤斜面の安定性評価に関する研究	清木
猪股 勇希	勾配のある支圧応力を受ける鋼・コンクリート接触面の付着性状に関する研究	中島
鶴岡 紗綾	中山間地域における高齢者の生活形態から見た公共交通の需要に関する研究	永井
碓氷 陽子	集中豪雨の発生・維持機構に地形が及ぼす影響に関する研究	長谷部
海山 和長	振動傾斜フロー試験によるコンクリートの施工性評価	藤原
笠松 正樹	高架橋モデルの振動特性に関する実験と数値解析による再現	中島
狩野 智哉	地域特性から見た家庭部門の電力需要推定に関する研究	森本
川口 剛	北関東における酸性降下物の時空間分布特性と移流経路に関する研究	長谷部
河和 雅之	TRMM/PR観測情報を用いたグローバルな降雨-地形関係の解析	長谷部
齋藤 宣文	観光地における交通実験のインパクト分析 ～日光市街地を事例として～	永井
清水 靖史	経路選択および交通手段変更に伴う交通環境負荷に関する研究	森本
杉村 晴二	ヒサン状河岸の構成種としてのオギの引張強度に関する基礎的研究	池田
高橋 沙代	遊水池における湛水と刈り取りがツルヨシとセイタカアワダチソウの生長に与える影響に関する基礎的研究	池田
竹田 理恵	商業開発を考慮した公共交通指向開発に関する一考察	森本
千葉 託巳	現場計測に基づく大谷採石地下空間の工学的安定性に関する研究	清木
寺内 和久	土の分散・吸着特性の評価に関する基礎的実験	今泉
中居 伸吾	温度変化に伴う遮水シートの伸び挙動評価に関する実規模模型実験	今泉
永山 守	景観の価値を考慮した構造物地下化の可能性に関する研究	清木
藤村 ゆい	超高強度コンクリートの諸特性に及ぼす各種粉体材料の影響に関する研究	藤原
藤本 大輔	鋼板を介したRC部材の応力伝達に及ぼす異形スタッドの効果に関する研究	中島
藤原 了	高チクソトロピー性を有するPCグラウトの性状改善に関する研究	藤原
松本 秀和	都市・山地河川の混在した大和川における流出機構解析	長谷部
水野 絵夢	LRT導入時における高齢者・障害者の交通行動の予測に関する一考察	古池
岩崎 太志	砂州前縁部における常流射流混在流れの形態に関する基礎的研究	池田
繁野 祐治	バス輸送システムの改善による交通環境改善の分析	古池
登坂 麻美	観光地における交通実験のインパクト分析 ～日光市街地を事例として～	永井
安田 浩二	下水汚泥溶融スラグを細骨材として用いたコンクリートの諸性状改良に関する研究	藤原
齋藤 誠	複合構造の有限要素接触解析のための界面モデル生成に関する一考察	中島
豊岡 淳	交通アクセスメントのためのWebデータベースシステムの開発	森本
永友 大彰	数種の現場発生土を用いたベントナイト混合土の透水特性	今泉
横村 貴之	変形を受けたベントナイト混合土の透水係数の評価	今泉

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
今村 麻希	宇都宮市におけるエネルギー負荷低減を目指した都市政策の評価	森本
河野 友彦	LRT導入における3次元VRシミュレーションを活用した合意形成支援ツールの開発	森本
北島 由美	大規模小売店舗立地法における地域性を考慮した必要駐車台数算出基準に関する研究	森本
高木 一成	開発途上国における交通と土地利用の関連性が環境負荷に及ぼす影響に関する研究	森本
藤江 幸人	高チクソトロピー性状を有するグラウトの性能評価方法に関する研究	藤原
山下 晴美	端末交通としての自転車利用促進に関する研究	古池
青木 拓也	勾配急変点近傍における河床変動に関する基礎的研究	池田
鎌田 雅憲	時間・空間変動特性を考慮した山岳域における降雨-地形関係の解析とそのモデル化	長谷部
清水 保	大気中CO2濃度の時間・空間変動特性およびそのメカニズムに関する研究	長谷部
新田 勝紀	時系列解析による岩盤構造物の挙動管理に関する研究	今泉
鈴木 由人	Geosynthetic Clay Liner の力学特性と斜面上での安定性評価	今泉

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
Md. Khasro Miah	Behavior of stud shear connectors under pulsating and alternating shear forces (片振りおよび両振りせん断力を受けるスタッドの挙動)	中島
許 四法	廃棄物埋立てに伴う遮水シートの張力評価に関する研究	今泉
横倉 順治	開発途上国の未改修・不安定河川における架橋、築堤および取水施設等の建設計画に関する河川工学的考察	中島

2005年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
虻川 麻里子	高チクソトロピー性を有する断面修復材の開発	藤原
阿部 淳也	水浸を受ける粒状タイプGCLの力学特性	今泉
綾野 智美	門前町の歩行者回遊空間に関する歴史的解析 ～日光市街地をケーススタディとして～	永井
井上 慎一	風速測定による河道内高木群落の抵抗係数の推定に関する基礎的検討	池田
丑越 勝也	運転時におけるドライバーの危険意識に関する研究	古池
小高 暁	接着剤を用いた鋼部材接合の強度に関する基礎的研究	中島
齋川 幾美	鋼コンクリート接触面のせん断強度に及ぼす摩擦・機械的作用の影響	中島
遠藤 嘉則	鬼怒川の河道特性がハリエンジュの繁茂領域の変遷に与える影響に関する基礎的研究	池田
大塚 昂	しらすや凝灰質砂岩破砕砂を用いたペントナイト混合土の透水特性	今泉
川島 隼	タイの熱帯河川流域における流量データに基づいた降雨時系列の逆推定	長谷部
川名 伸明	時間変動を考慮した公共交通不便地域に関する研究	森本
榊原 大輔	交通不便地におけるデマンド交通システムの導入可能性に関する研究	永井
佐久間 香奈	来訪者とプログラム参加者に関するインパクト調査 ～「とちぎファームフェスタ2005」をケーススタディとして～	永井
佐藤 侑	大規模小売店舗の方面別來台数の事後評価に関する一考察	森本
坂口 淳一	合成桁の負曲げ領域におけるコンクリート床版内鉄筋のひずみ挙動	中島
佐藤 遼	高性能気象レーダを用いた沖繩本島の降雨特性とそのメカニズムの解析	長谷部
渋谷 誠	物資流動実態にもとづく東京都市圏における輸送エネルギーの推計	森本
白井 貴之	高チクソトロピー性状を有する吹付けモルタルの長距離ポンプ圧送性に関する研究	藤原
南風野 吏	産業遺産の評価方法に関する研究 ～足尾町を事例として～	永井
早川 大介	公共交通指向型開発を既存都市に導入する場合の一考察	森本
日野 秀幸	地震動下における高架橋モデルの減衰特性に着目した研究	中島
藤田 浩史	ペーパースラッジ灰の超硬練りコンクリート製品への適用に関する研究	藤原
藤田 朋子	交通環境負荷の低減を目的とした交通・土地利用施策の比較研究	森本
堀部 明紀子	来訪者とプログラム参加者に関するインパクト調査 ～「とちぎファームフェスタ2005」をケーススタディとして～	永井
丸山 健太	都市交通体系の変化による交通流動予測に関する研究	古池
三田 康太	TRMM/PRデータを用いた熱帯・亜熱帯地域における降雨-地形関係の解析	長谷部
宮本 浩樹	大気条件の人為的操作を導入した集中豪雨のメカニズムに関する数値実験	長谷部
谷田部 雅人	居住地から見た高齢者の交通行動に関する研究	古池
山口 瑞樹	雨水地下貯留槽の耐荷重実験	今泉
山寄 桂	温度変化を受ける遮水シートのひずみゲージによる伸び挙動評価	今泉
羅 霄	アジア途上国の大都市における交通機関と所得の関連性に関する比較研究	古池
渡部 和也	栃木県北東部に存在する凝灰質砂岩破砕砂の強度特性と盛土の安定解析	今泉
渡邊 暢	超高強度コンクリートの諸特性と粉体構成の関係に関するモルタルによる実験的研究	藤原
緒方 友一	高架橋モデルの地震時非線形挙動に関する実験と数値解析による再現	中島
本郷 久美子	砂州上に繁茂する植物群落の密生度が河床変動に与える影響に関する実験的研究	池田
山崎 孝	遊水地における刈取りと湛水がセイタカアワダチソウの生長に与える影響に関する基礎的研究	池田
上村 恭子	高施工性コンクリートの基本特性に関する研究	藤原
佐藤 光	オギの地下部の引張強度に繊維質成分が与える影響についての基礎的研究	池田
清水 由司	LRT導入に伴う交通政策が自動車交通流に与える影響	古池
廣澤 昌浩	高チクソトロピー性を有するPCグラウトの分離抵抗性改善に関する研究	藤原

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
石森 大輔	高齢者世帯の電力消費実態の把握と都市政策に関する研究	森本
岩崎 麻美	下水汚泥溶融スラグのコンクリート用細骨材への有効利用に関する研究	藤原
大内田 昌史	栃木県における道路行政マネジメントの支援システムの開発	古池
瀬尾 恵介	中心市街地活性化からみた道路交通政策のプロセスに関する研究	永井
曾根原 高志	大規模小売店舗の交通アセスメントにおける栃木県の基準作成に関する研究	森本
高秀 賢史	非集計分析のための行動調査に関する基礎的研究	永井
渡辺 有寿	高流動コンクリートの間隙部通過における圧力損失メカニズムに関する研究	藤原
太田 雅人	関東地方における酸性降下物の分布特性及びその輸送メカニズムに関する研究	長谷部
塚田 野絵	砂州上の植物群落の拡大が河床変動に及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
富永 綾乃	太陽活動、地球規模の大気中CO2濃度および気温の因果関係に関する研究	長谷部
井上 淳	鋼コンクリート複合構造内の鉄筋貫通型剛結部の力学性状に関する研究	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
野村 和宏	公共交通の推進に向けた都市形態の比較に関する研究	古池
原田 高志	処分場遮水シートの耐久性および変形挙動評価に関する研究	今泉
長田 哲平	統合型データベースを用いた大規模商業施設の交通影響評価に関する研究	中島

2006年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
安部 智昭	線状対流系における風速場や降水分布に地形形状が及ぼす影響に関する数値実験	長谷部
石崎 康暖	高流動コンクリートの粘性が間隙通過性に及ぼす影響	藤原
市ノ澤 治	景観からみた屋外広告物等の改善方策に関する研究 -日光市街地をケーススタディとして-	永井
井上 卓也	TRM/PR観測情報による熱帯・亜熱帯地域における降雨-地形関係の変動特性	長谷部
小川原 久美子	景観からみた屋外広告物等の改善方策に関する研究 -日光市街地をケーススタディとして-	永井
小田桐 悠太	組立てユニット型雨水地下貯留槽の水平耐力に関する実験的研究	今泉
加藤 教弘	下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート梁の曲げ耐荷性状に関する実験的研究	藤原
川島 顕	リサイクル材料を用いた保水性インターロッキングブロックの特性に関する研究	藤原
栗山 聡子	大気中CO2濃度と気温の長期的な時系列変動の解析	長谷部
小堀 哲	回遊行動を促進する為の交通実験の影響分析	永井
齋藤 寛子	公共事業による温室効果ガス排出削減効果の評価方法に関する比較分析	阪田
坂野 修次	大谷石の風化による表面色調と成分の変化及び強度の経年劣化に関する研究	清木
佐藤 峻一	公共事業による温室効果ガス排出削減効果の評価方法に関する比較分析	阪田
佐藤 正人	移流拡散モデルを用いた東日本における酸性降下物の輸送メカニズムに関する研究	長谷部
澤舘 英樹	鬼怒川上流ダム群連携事業におけるダム操作ルールの検討	長谷部
篠崎 康人	セメント安定処理した凝灰質砂岩破砕砂の強度特性評価	今泉
高松 靖弘	単純せん断変形を受けるまさ土の浸透性評価に関する実験的研究	今泉
角田 真彦	常時微動計測を用いたRC橋脚の振動特性に関する考察	中島
中村 直樹	トランジットモール社会実験時の交通手段選択に関する研究	森本
日笠 有子	大気中水蒸気量の観測データを用いた降雨-地形関係の変動特性の解析	長谷部
堀 圭佑	産業遺産の現状調査に関する研究 ～足尾町を事例として～	永井
堀池 雅人	二酸化炭素の地中貯留に伴う岩盤の安定性に関する研究	清木
松本 拓也	負曲げを受ける合成桁RC床版内の鉄筋ひずみ挙動に及ぼす鉄筋比の影響	中島
三浦 達也	アクセシビリティ指標を用いた集積誘導地域の選定に関する研究	森本
山下 悟史	交通取締りが交通事故減少に及ぼす狭域的な効果に関する研究	森本
山梨 泰斗	各種混和材料が超高強度コンクリートの諸特性に及ぼす影響に関する研究	藤原
渡邊 尚貴	岩盤の節理分布及び浸透経路可視化に関する研究	清木
青戸 清剛	逸散減衰の影響を受ける高架橋モデルの振動実験とその解析	中島
片寄 友康	簡易試験による大谷採石地下空間の力学的安定性の検討に関する研究	清木
清水 崇寛	継手面にシール材を有する高力ボルト引張継手の力学的挙動に関する基礎的研究	中島
松茂良 智佳	個人属性から見たバス利用促進のモビリティ・マネジメントに関する研究	森本
三條 拓人	都市のコンパクト化が道路維持管理コストに及ぼす影響に関する一考察	森本
柴田 正史	地上施設との比較に基づいた大谷採石地下空間の有効利用に関する研究	清木
関谷 正	処分場遮水シートの固定端張力と固定能力に関する実験的研究	今泉
田口 雄一	砂・しらすの分散・吸着特性に関する実験的研究	今泉
中村 武生	回遊行動を促進する為の交通実験の影響分析	永井
平口 翔	高チクソトロピー性状を有する断面修復材の開発	藤原
岩切 剛史	高チクソトロピー性状を有する吹付け材料の長距離ポンプ圧送性に関する研究	藤原
西 健治	曲げとせん断を受ける鋼部材接着接合部の力学的挙動に関する研究	中島
松浦 岳春	負曲げを受ける合成桁RC床版内鉄筋ひずみ挙動に及ぼす床版幅の影響	中島

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
鶴岡 紗綾	高齢者交通に対する社会的ニーズに関する研究	永井
梅山 健太郎	「足尾銅山」における生産体系の発展プロセスからみた産業遺産の評価	永井
齋藤 宣文	観光地における合意形成に着目した交通管理政策のプロセスに関する研究	永井
繁野 祐治	郊外店舗立地時における交通行動の変化が外部性に及ぼす影響に関する研究	森本
清水 靖史	LRT沿線の土地利用特性からみた交通需要予測に関する研究	森本
竹田 理恵	交通まちづくり社会実験が中心市街地活性化に及ぼす影響に関する研究	森本
藤村 ゆい	超高強度コンクリートの諸特性に及ぼす各種混和材料の影響に関する研究	藤原
藤原 了	高チクソトロピー性状を有するPCグラウトの開発	藤原
安田 浩二	下水汚泥溶融スラグのコンクリート用細骨材への適用に関する研究	藤原
岩崎 太志	交互砂州地形における常射混在流の構造に関する基礎的研究	池田
川口 剛	河道内高木群落の鉛直構造と平面配置が通水能力に及ぼす影響に関する2次元数値解析	池田
中居 伸吾	箔ひずみゲージを用いた遮水シートの伸び挙動計測に関する研究	今泉
付 強	ペントナイト混合土遮水工の透水特性に関する研究	今泉
猪股 勇希	支圧力を受ける鋼・コンクリート接触面のせん断強度特性に関する解析的研究	中島
笠松 正樹	減衰要因に着目した高架橋モデルの非線形挙動に関する振動台実験とその数値解析	中島
齋藤 誠	鋼部材接着接合部の力学性状に関する研究	中島
藤本 大輔	床版内の鉄筋・コンクリート間の付着を考慮した合成桁の負曲げ挙動に関する解析的研究	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
李明飛	FEM ANALYSES OF TENSILE FORCES CREATING AT FIXED ENDS OF GEOSYNTHETIC COMPONENTS IN WASTE LANDFILL LINER	今泉
丸岡 正知	石灰石微粉末を混和した自己充填コンクリートの諸性質と圧力損失の評価に関する研究	藤原

2007年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
浅井 陽子	積層ゴム支承を有する高架橋模型の振動実験とその解析	中島
安部 貴宏	すみ肉溶接形状の簡易測定システムの開発に関する研究	中島
井上 晃一	種々の土の六価クロム吸着特性に関する実験的研究	今泉
岩松 優二郎	高木群落の鉛直構造による流速分布の遷移に関する実験的研究	池田
遠藤 雅也	社会実験におけるインパクトの計測方法に関する研究	永井
小倉 恵里香	高流動コンクリートの粘性及び間隙条件が圧力損失現象に及ぼす影響	藤原
小野 友彰	高チクソトロピー性を有する水中不分離自立グラウトに関する研究	藤原
小嶋 浩	宇都宮市の中心市街地の歴史的変遷に関する研究～商業活動に対する行政政策の対応に関する分析～	永井
後藤 明	足尾地域の治山事業に伴う流出特性の変遷に関する基礎的研究	池田
小湊 康太	水蒸気量や地形標高との相関関係を考慮した降雨量の推定手法に関する研究	長谷部
齋藤 未希	3DVRシミュレーションを用いた都市景観が市民意識に及ぼす影響に関する研究	森本
坂寄 信行	高チクソトロピー性状を有する断面修復材の開発	藤原
佐藤 陽	風化による大谷石の構成成分と表面色調の変化及び強度低下に関する研究	清木
椎谷 成孝	河川網の入れ子構造を考慮した不定流計算のオブジェクト指向プログラミング	池田
常松 正幸	交通不便地におけるデマンド型交通システムに関する研究	阪田
根本 拓治	アセットマネジメントのための維持管理技術の指標化に関する研究	阪田
野沢 恵	シール材を有する高力ボルト引張接合継手の曲げ挙動に関する実験的研究	中島
松田 隆太	まさ土のせん断変形と透水性との関係に関する実験的研究	今泉
丸山 和也	地球温暖化予測情報に基づいた極端降雨事象の生起・分布特性の解析	長谷部
横溝 恭一	バスLOSを考慮した被験者分類とMMIによる行動変容に関する研究	森本
吉儀 和恭	経年的床面積変化を考慮した大規模店舗の発生集中原単位に関する研究	森本
平澤 紘史	簡易現場試験による大谷石採石地下空間の健全性評価に関する研究	清木
舟山 雅史	環境負荷に基づいた大谷石採石地下空間の再生用途に関する研究	清木
松田 慎介	HYSPLITを用いた中国起源の酸性物質に関する長距離輸送シミュレーション	長谷部
荒川 知英	降水システムの感度分析に基づいた集中豪雨の発生・維持機構に関する研究	長谷部
小倉 正照	分子構成の異なるポリカルボン酸系高性能減水剤が超高強度コンクリートのフレッシュ性状に及ぼす影響に関する研究	藤原
齊藤 雅範	宇都宮市の中心市街地の歴史的変遷に関する研究 ～商業活動に対する行政政策の対応に関する分析～	永井
宮崎 俊夫	持続荷重を受ける鋼部材接着接合部の力学性状に関する実験的研究	中島
柳澤 隆文	遮水シートとの固定工隅部摩擦抵抗に関する実験的研究	今泉
中嶋 良純	工学教育・技術者教育のこれからのありかたについて ～大学生・高校生へのアンケート調査による一考察～	阪田
細川 未帆	街並みと参道の一体的整備の提言～日光門前町の再生へ向けて～	永井

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
蛇川 麻里子	大谷石採掘跡地の有効利用と安定化に関する研究	藤原
丑越 勝也	G I Sを用いた総合的交通事故マネジメントに関する研究	森本
嶋田 利光	栃木県の地方部における公共交通の在り方に関する研究－日光市をケーススタディとして－	永井
白井 貴之	長距離ポンプ圧送性を有する法面吹付け材の開発	藤原
藤田 浩史	ペーパースラッジ灰を用いた超硬練コンクリートの諸特性に関する研究	藤原
丸山 健太	バックキャストリングからみた交通環境にやさしい都市構造の関する研究	森本
羅 霄	3DVRシミュレーションを用いた情報公開が市民意識に及ぼす影響に関する研究	森本
渡邊 暢	自己充填コンクリートの多層流動障害通過時における圧力損失現象に関する研究	藤原
渡 昌純	種々の土質母材の限界ベントナイト添加率の推定に関する研究	今泉
郭 暁光	栃木県内土壌の重金属バックグラウンド値の調査研究	今泉
川島 隼	熱帯流域のビン川の流出解析と流出率に関する研究	長谷部
宮本 浩樹	都市河川である田川流域の流出特性に関する研究	長谷部
柳田 翔	焼却灰徐冷溶融スラグを活用したベントナイト混合土の特性評価	今泉
山寄 桂	泊ひずみゲージを用いた遮水シートの伸び挙動計測に関する研究	今泉
緒方 友一	高架橋模型の橋軸直角方向地震時挙動の振動台実験とその解析	中島
坂口 淳一	引張軸力を受ける合成桁RC床版の力学特性に関する実験と数値解析	中島
日野 秀幸	鋼部材接着接合部の静的強度評価に関する研究	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
手嶋 潤一	日光の風景地計画とその変遷に関する研究	永井
大門 創	人口減少化における地方中核都市のTOD戦略に関する研究	森本
高岡 耕子	イベントのインパクト調査に関する研究－公共イベントの効果分析－	中島
佐野 薫	観光まちづくりのための事業評価に関する研究	永井

2008年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
内田 清香	3DVRを用いた環境情報提供による市民の意識変容に関する研究	森本
宇部 遼子	環境にやさしいまちに向けてのマイカー通勤削減方策に関する研究	阪田
大森 祐助	多層配筋構造における自己充填コンクリートの圧力損失現象に関する研究	藤原
上神田 健太	鉾山都市足尾の土地利用に関する変遷一地図と写真を用いた比較分析一	永井
菊池 健太	風化に伴う大谷石の鉱物組成の変化と色調、強度に関する研究	清木
小関 聡一郎	複合ラーメン橋と免震橋における橋脚の耐震性に着目した研究	中島
酒井 亮太	すべり支承の制震効果に関する振動台実験および数値解析	中島
佐々木 絵美	時系列解析による全球規模の大気中CO2濃度の時間変動特性について	長谷部
佐藤 晃	都市のコンパクト化による維持管理費用削減に関する研究	森本
澤井 雄介	樹冠抵抗の小さい河道内高木群落における流速分布の遷移に関する実験的研究	池田
鈴木 麻美	基礎沈下に伴う遮水シートの斜面先付近の伸び挙動評価実験	今泉
高橋 京	大谷採石地下空間の有効利用と維持管理に関する研究	清木
田中 徹	栃木県内土壌の汚染度評価に関する基礎調査	今泉
戸村 睦	足尾地域における植生変化を考慮した栃木県周辺の水文・気象特性の解析	長谷部
内藤 雅人	複数配置した孔あき鋼板ジベルのせん断力分担特性に関する研究	中島
中川原 賢宣	変形を受けるペントナイト混合土の漏水性評価実験	今泉
仲藤 忍	波形鋼板屋根の熱伸縮量と接合部に生じる力に関する実験的研究	中島
福田 温哉	宇都宮市におけるサイクル&バスライドの実態とその利用要因に関する研究	森本
藤田 寛貴	土地利用からみた宇都宮市の郊外かに関する研究	永井
船川 真広	複合材料を用いた環境負荷低減型コンクリートに関する研究	藤原
牧内 美由紀	高チクソトロピー性を有する高強度断面修復材の開発	藤原
水野 篤史	那珂川上流域における流路形態を考慮した河道デザインに関する基礎的研究	池田
村上 学	宇都宮市のまちづくりと財政見直しに関する研究	阪田
渡辺 香菜	ペントナイト混合土の強度評価実験	今泉
渡辺 寛也	大規模小売店舗におけるバス交通の利用実態に関する研究	森本
VIUONG THANH VAN	軽量屋上保水性ブロックの開発に関する研究	藤原
北川 一希	救急医療搬送の観点からの道路事業評価手法の研究	阪田
神 章文	鉄道沿線雨量計データおよびメソ気象モデルを用いた降雨-地形関係の解析	長谷部
秋山 功樹	テーパー鋼板を用いたPBLの引抜きせん断挙動に関する実験的研究	中島
藤井 美帆	MODIS衛星データによる足尾地域の植生モニタリングに関する基礎的研究	池田
LAI ZANITH	可撓性ファイバーを有するスプリットティー継手の力学挙動に関する実験的研究	中島
小山田 邦弘	各種リサイクル材料を細骨材として用いたコンクリートの基本性状に関する研究	藤原
金丸 太一	観光地における交通実験に基づくパークアンドバスライドの需要予測に関する研究	永井
郷 祐美子	地形形状と大気場の変化が集中豪雨の発生・停滞に与える影響に関する研究	長谷部
高妻 由香里	交通不便地域における利用時間帯に応じたバス運行に関する研究	森本
小林 聡	都市開発を考慮した適正な固定資産税の検討に関する研究-宇都宮市をケース・スタディとして-	阪田
鈴木 慎二	足尾地域における観光振興活動のモニタリング手法の研究	阪田
鈴木 知洋	足尾地域に基づく大谷石採石地下空間の構造健全性に関する研究	清木
高橋 優	類似石との比較による大谷石の構成成分及び工学的性質に関する研究	清木
渡辺 麻美	生産技術の変遷が鉾山都市足尾の空間構造に与えた影響	永井
佐藤 広基	将来推計データに基づいた気象現象に対する地球温暖化の影響に関する研究	長谷部
照井 賢二	直線水路の交互砂州上における常流射流混在流れの流動形態に関する基礎的研究	池田
藤野 誠	都市型河川である田川流域の流出率、貯留量及び部分流出寄与率について	長谷部
村上 一馬	非接触3次元レーザー変位計を用いたすみ肉溶接形状の特徴量評価	中島

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
浅見 早紀	鉾山都市・足尾の生活環境に関する歴史的特徴と現在の住民意識	永井
加藤 教弘	高チクソトロピー性を有する注入グラウト材の開発	藤原
小堀 哲	観光まちづくりの事後評価に関する研究 一日光市の交通社会実験をケーススタディとして一	永井
中村 直樹	バックキャストイングからみた低炭素社会実現のための都市構造に関する研究	森本
船本 悟史	道路行政マネジメントに着目した市道における交通事故対策に関する研究	森本
松茂良 智佳	住民意識における環境まちづくりと環境価値の関連性に関する研究	森本
三浦 達也	土地利用と交通の相互関連性に着目した集積誘導地域の選定に関する研究	森本
山梨 泰斗	環境負荷低減型コンクリートの基本的性状に関する研究	藤原
篠崎 康人	ペントナイト混合土遮水工の変形挙動と遮水性評価に関する研究	今泉
関谷 正	最終処分場多層遮水シートのコンクリート固定工の能力評価に関する研究	今泉
中野 貴代美	常時微動に基づく独立橋脚および橋梁完成系の振動特性把握	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
三品 智和	発散・収束河道における流路形成機構の実態解明に関する研究	長谷部

2009年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
浅香 俊朗	超遅延剤を用いた温度応力低減工法の実用化に関する研究	藤原
阿部 友哉	大谷石採石地下空間の熱交換特性に基づいた環境負荷に関する研究	清木
岩田 正幸	クリンカフリーモルタルの特性に及ぼす各種アルカリ刺激材とボゾラン物質の影響に関する研究	藤原
遠藤 和貴	部材のリユースを前提とした仮設橋梁（TMB）の主桁連結構造の提案と実大実験	中島
大野 達也	足尾地区における植生状態の変化が周辺地域の降水現象に及ぼす影響に関する研究	長谷部
大和田 雄斗	イベントの観光消費による経済波及効果の比較に関する研究	阪田
岡崎 祐也	樹冠抵抗の相違が高木群落内の流速分布とその下流における遷移に与える影響に関する実験的研究	池田
柏木 将幸	可撓性ファイバーを有するスプリットティール継手の力学性状に関する解析的研究	中島
蜘蛛 春香	国内起源の酸性物質に関する移流・拡散シミュレーションとその影響評価に関する研究	長谷部
倉持 弥奈	鋼とコンクリートの界面の腐食に関する基礎的研究	中島
齋藤 拓哉	すべり支承の地震時挙動に関する模型実験と数値解析	中島
齋藤 優貴	栃木県内の橋梁における床版補修のLCC分析に関する研究	阪田
坂 尚哉	自転車事故の実態把握による自転車レーンの有効性に関する研究	森本
佐藤 大輝	足尾銅山における社会基盤を中心とした産業遺産に関する研究	永井
塩井 恵理子	VRを用いた2050年の未来都市の再現に関する研究	森本
白木 聡仁	支持条件が異なる梁部材の構造減衰に関する基礎的研究	中島
菅原 景	シーディングを用いた気象制御手法による豪雨抑制効果に関する数値実験的研究	長谷部
杉山 将	日光市中宮祠地区における渋滞対策社会実験に関する研究	永井
鈴木 貴之	各種繊維を用いた繊維補強モルタルの基本性状に関する研究	藤原
高梨 倫明	含水状態の違いによる大谷石の強度変化と自硬性に関する研究	清木
田中 洋	GISと植生モデルによる足尾地域の植生動態に関する基礎的研究	池田
田原 卓朗	宇都宮市の道路橋を対象とした修繕対策の優先順位判定手法に関する研究	阪田
丹野 光康	フィルター分離AR法を用いた都市型河川（栃木県田川）の流域特性の解析	長谷部
中島 絢平	十字鋼板押抜き試験による孔あき鋼板ジベルのせん断力分担特性に関する研究	中島
長澤 和彦	高チクソトロピー性を有する寒冷地対応型断面修復材の開発	藤原
野原 康弘	産業遺産からみた足尾の地域特性に関する研究	永井
樋口 大樹	大谷採石地下空間の健全性評価方法の検討に関する研究	清木
室井 健宏	足尾地域の双方向Webシステムによる産業遺産・環境情報の共有に関する基礎的研究	池田
柳沼 良輔	TOD促進のための駅圏の評価指標に関する研究	森本
山口 香	共分散構造分析に基づいた大気中CO2濃度変動のメカニズムに関する研究	長谷部
上野 真誉	数種の母材を用いたベントナイト混合土の強度特性評価	今泉
鈴木 一将	集約型都市構造実現に向けた立地誘導策の体系化に関する研究	森本
関川 浩平	風化に伴う大谷石の色調変化が強度と構成成分に与える影響と原因究明に関する研究	清木
臼井 瑛憲	自転車走行時の減速要因に着目した走行速度推計に関する研究	阪田
大田 為倫	足尾地域における植生回復に着目したゾーニングに関する基礎的研究	池田
小野寺 広和	事例に基づいた地下空間の価値評価指標の構築に関する研究	清木
金子 浩之	局所沈下を受けるベントナイト混合土層の亀裂発生評価実験	今泉
熊倉 卓磨	IFASを活用した足尾地域における流出モデルの構築	池田
澄田 高宏	鉦山都市・足尾の歴史的景観特性に関する研究—足尾地域の景観計画策定を目指して—	永井
田中 麻衣子	景観評価指標を用いた釜川の魅力向上に関する研究	阪田
富永 圭一	大きな湾曲部に挟まれた直線河道における河床形態に関する基礎的実験的研究	池田
西原 敦史	日光市中宮祠地区における渋滞対策社会実験に関する研究	永井
佐塚 一仁	基盤沈下に伴うLLDPE遮水シートの伸び挙動評価実験	今泉
伊藤 喬徳	那珂川中流域における流路デザインの変更が上下流に与える影響に関する基礎的研究	池田
橋本 樹	自転車利用時における夜間街路の暗さの影響に関する研究	阪田
林 聖也	大谷石と大谷石類似石の構造及び成分の比較に基づいた工学的性質に関する研究	清木

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
小倉 恵里香	クリンカフリーコンクリートの微視的構造および耐久性に関する研究	藤原
小野 友彰	高チクソトロピー性を有する断面修復材の基本性状に関する研究	藤原
川島 顕	各種リサイクル材料を用いた即脱コンクリート製品の開発	藤原
齋藤 末希	CG動画を用いた低炭素都市イメージの可視化に関する研究	森本
常松 正幸	自動車利用抑制と中心市街地活性化を目指した心理的方略に関する実証研究	永井
根本 拓治	「うつのみやジャズのまち」をケーススタディとした文化資源によるまちづくりの社会＝空間構造に関する研究	永井
松田 隆太	宇都宮市LRT計画におけるイメージ動画提示と市民意識変容に関する研究	森本
横溝 恭一	MM実施による行動変容の経年変化に関する研究	森本
吉儀 和恭	LRT導入におけるTODの交通空間及び環境空間の評価に関する研究	森本
渡邊 宗一郎	温暖化予測情報に基づいた東アジアにおける酸性物質の越境汚染に関する将来予測	長谷部
佐藤 陽	大谷石の化学的風化による力学的性質の変化予測に関する研究	今泉

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
関 達也	大規模開発における交通アセスメントの整理と今後の展望に関する研究	森本
横川 英彰	橋梁構造物の動的解析時における減衰導入法の提案と模型実験による検証	中島

2010年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
飯澤 悠	事例に基づいた地下空間の選択指標構築に関する研究	清木
板橋 辰矩	高チクソントロビー性を有する断面修復材の凝結時間の促進	藤原・丸岡
市川 卓也	住民意識に着目した真岡市の地域公共交通システムに関する研究	阪田
井出 裕之	水深の相違が高木群落内の流速分布に与える影響に関する実験的研究	池田
井上 達也	施設の熱負荷推定に基づいた大谷採石地下空間の有効利用に関する研究	清木
大澤 恭平	減衰に着目した単純な橋梁模型の振動実験とその数値解析	中島
岡島 貴大	防災事業評価における被扶養家族のリスクプレミアムに関する研究	阪田
岡村 祐輝	長距離圧送吹付けモルタルのコスト低減に関する研究	藤原・丸岡
奥寺 雄一	観光地における継続的な交通社会実験の評価に関する研究 ～日光市中宮祠地区を事例として～	永井
佐藤 潤一	観光地における継続的な交通社会実験の評価に関する研究 ～日光市中宮祠地区を事例として～	永井
金子貴登史	駐留軍用地跡地における商業立地が既存商業地区に及ぼす影響に関する研究	森本
川上 唯	合成桁の曲げ耐力に及ぼす断面の劣化損傷の影響に関する基礎的研究	中島
菊池 達	サービスマンに着目した交通弱者対策の評価に関する研究	阪田
小松 直矢	大谷石採石地下空間の長期安定性評価に関する研究	清木
後藤 誠治	交通取締りの効果と地域的傾向に関する研究	森本
阪路 英史	佐野市中心市街地活性化のための沿道景観整備施策の検討	阪田
定山 真輝	ステンレス鉄筋を用いた埋設型枠の開発	藤原・丸岡
神 亮佑	自転車駅における必要機能に関する一考察	森本
高野 穂泉	デマンド交通における利用者数の実測と予測の乖離性に関する研究	森本
高葉 悠	大谷石採石地下空間の構造再現と掘削時および地震時の安定性評価に関する研究	清木
竹井 智哉	クリンカーフリーコンクリートのRCCPへの適用に関する研究	藤原・丸岡
出川 佑莉	鋼とコンクリート界面の腐食の発生・進展に関する基礎的研究	中島
戸館 光	空中写真と衛星データによる足尾地域の植生の判読に関する基礎的研究	池田
中川 生恵	大谷石の塩類風化と構成鉱物及び岩石構造との関連性に関する研究	清木
中澤 彩	風化に伴う大谷石の色調変化の原因究明に関する研究	清木
橋本 昌利	孔あき鋼板ジベルのせん断耐力に及ぼすコンクリートブロック寸法及び孔内骨材の影響	中島
林 一哉	ぼいすーとん導流堤の流況に関する基礎的実験的研究	池田
廣瀬 陽一	凝灰質土の六価クロム吸着性に関する研究	今泉
三浦 竜	鉱山都市の都市構造に関する比較分析	永井
水本 斉	都市の集約パターンが環境負荷に与える影響に関する研究	森本
迫田 貴秀	電気炉酸化スラグ細骨材を用いたコンクリートの基本的性状	藤原・丸岡
瀬谷 寿英	自己充填コンクリートの粘性が二層配筋通過時の圧力損失現象に及ぼす影響	藤原・丸岡
竹嶋 竜司	異なるレベルの微小振動下における独立橋脚の振動特性の把握に関する研究	中島
松本 宗浩	高齢者の生活形態から見たデマンド交通の需要分析～栃木県真岡市を事例として～	永井
LiV CHANBOTRA	高力ボルトT継手の力学挙動とてこ反力算定式の適用性に関する研究	中島
合田 圭一	足尾地域における渓流水窒素濃度に関する基礎的調査	池田
泉 達也	宇都宮市中心市街地における違法駐輪対策の検討	阪田
上野 真紀	セメント低減型コンクリートの遠心成型製品への適用に関する研究	藤原・丸岡
里見 亮輔	歴史的都市のガイドルートの形成に関する研究～鉱山都市足尾をケースとして～	永井
野村 貴宏	箔ひずみゲージ接着に伴う遮水シートの伸び拘束に関する研究	今泉
渡辺 幸一	落とし戸実験によるベントナイト混合土層の変形挙動評価	今泉
張 サク	コミュニティサイクル事業へのカーボン・オフセット制度の活用に関する研究	阪田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
内田 清香	CG動画を用いたネットワーク型コンパクトシティにおける情報提供の効果に関する研究	森本
大森 祐助	自己充填コンクリートの多層配筋構造における圧力損失現象に関する研究	藤原
小山田 邦弘	フライアッシュを多量添加した環境負荷低減コンクリートの製品への適用に関する研究	藤原
郷 祐美子	シーディングを用いた気象制御手法による豪雨抑制効果に関する数値実験	永井
佐々木 絵美	共分散構造分析を用いた大気中CO2濃度変動に対する影響因子に関する研究	藤原
VUONG THANH VAN	ベトナムと日本の都市計画に関する比較研究 -ヴィンフック省と栃木県の都市マスタープランを中心に-	永井
渡邊 寛也	地域ブランド戦略の推進が居住意向に与える影響に関する研究	森本
小関 聡一郎	拘束度の高い押抜き試験に基づく孔あき鋼板ジベルの強度評価に関する研究	中島
田中 徹	樹冠抵抗の相違が高木群落周辺の流速分布に与える影響に関する基礎的研究	池田
菊池 健太	水分変化に伴う大谷石の風化メカニズムに関する研究	清木
NGUYEN VAN NHAM	コンパクトシティにおける交通事故減少に関する研究	森本
高妻 由香里	低密度な都市における地域特性を考慮した公共交通形態のあり方に関する研究	森本
佐藤 晃	財政面及び環境面に着目した都市のコンパクト化の有効性に関する研究	森本
酒井 亮太	すべり支承の特性値が連続桁橋の制震効果に及ぼす影響に関する研究	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
齋藤 賢	高強度クリンカーフリーコンクリートの実用化に関する研究	藤原

2011年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
荒井 大河	採石場洗い泥有効活用のための土質特性評価	今泉
石島 萌衣	引張ボルト接合を用いたI型断面部材フランジ連結部の力学挙動に関する研究	中島
大武 博史	交通利便性からみた広域的な都市の人口推計に関する研究	森本
大坪 孝太郎	残柱の破壊機構に着目した大谷採石地下空間の健全性評価に関する研究	清木
岡崎 洋子	同一形式曲弦プラットトラス15径間を有する鬼怒橋の振動特性調査	中島
奥村 和真	国内外の産業遺産に関する比較分析-足尾銅山の世界遺産に向けて-	永井
亀田 涼	渡良瀬川の砂州上におけるハリエンジュの繁茂状況に関する基礎的調査	池田
菅家 拓朗	音楽のまちづくりに関わる主体の意識に関する研究 -楽都郡山をケーススタディとして-	阪田
木村 理紗子	大谷石の構造推定と劣化メカニズムに関する研究	清木
工藤 祐梨	夜間街路の特性が不安感に及ぼす影響に関する研究 -久部街道をケーススタディとして-	阪田
NGUYEN MINH HAI	孔あき鋼板ジベルの貫通鉄筋の効果に関する実験的研究	中島
小泉 貴宏	ダイヤモンド交通社会実験に対する利用者ニーズに関する研究-栃木県真岡市をケーススタディとして-	永井
齋藤 廣太郎	異なる振動レベルにおけるコンクリート高架橋の振動特性の把握に関する研究	中島
齊藤 友彦	風化に伴う大谷石の色調変化の定量化とその原因究明に関する研究	清木
桜井 章恵	真岡市におけるダイヤモンド交通システムの利用実態に関する研究	阪田
佐藤 祐輔	高力ボルトの軸力測定精度と簡易モデルを用いた有限要素解析に関する研究	中島
島田 大輔	ベントナイト混合土の遮水特性評価実験	今泉
鈴木啓祐	透過型捨石導流堤を有する流れの三次元構造に関する基礎的実験的研究	池田
鈴木 成	水和促進剤を用いた環境負荷低減型コンクリートの基本性状	藤原・丸岡
田中 辰郎	垂直方向に長距離ポンプ圧送可能な法面吹付け材料の開発	藤原・丸岡
塚田 健斗	PIVを用いた高木群落内の乱流測定に関する基礎的研究	池田
津國 翔太	経済活動を考慮した地域特性と交通取締りに関する研究	森本
中田悟嗣	継続的な交通社会実験の事後評価に関する研究-交差点改良案を含めて-	永井
早坂 晃	施設供用時・維持管理時の環境負荷定量化に基づいた大谷採石地下空間の有効性評価に関する研究	清木
原田 玲香	足尾地域における渓流水の窒素飽和の可能性に関する基礎的研究	池田
二葉 潤	東日本大震災復興計画における都市の集約化に関する比較研究	森本
星山 仁篤	クリンカー骨材コンクリートの自己治癒性に関する研究	藤原・丸岡
宮田 野乃香	3DCGを用いた歩行者・自転車空間における情報提供効果に関する研究	森本
村上 大輔	居住意向を踏まえた被災地の将来人口推計に関する研究	森本
吉田 卓真	宇都宮大通りをケーススタディとした路上施設間スペースの活用法に関する研究	阪田
渡邊 裕人	頭付きスタッドの新しい押抜き試験方法の検証実験	中島
石井 勇樹	国内外の産業遺産に関する比較分析-足尾銅山の世界遺産に向けて-	永井
草野 秀平	地方部の救急医療に対する高速道路整備効果に関する研究 -栃木県真岡市を対象として-	阪田
八木澤 俊	電気炉酸化スラグ細骨材を用いたコンクリートのブリーディング抑制に関する研究	藤原・丸岡
佐藤 裕虎	大谷石風断断面修復材の開発	藤原・丸岡
奴賀 洋樹	高力ボルト摩擦接合を用いた鋼I桁腹板連結部の実大実験	中島

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
浅香 俊朗	交通安全に着目した集約型都市構造の有効性に関する研究	森本
岩田 正幸	環境負荷低減コンクリートに及ぼす各種アルカリ刺激材とボゾラン物質の影響に関する研究	藤原
白井 瑛憲	点検に着目した道路橋の戦略的維持管理計画に関する研究	阪田
塩井 恵理子	交通分野のブランド・メッセージを利用した市民の意識変容に関する研究	森本
菅原 景	透過型捨石導流堤による河道内流動制御に関する基礎的研究	池田
鈴木 一将	LRT導入による沿線の土地利用変化に関する研究	森本
澄田 高宏	産業遺産を保全するためのゾーニングに関する研究-世界遺産の事例比較を通して-	永井
長澤 和彦	高チクソトロピー性を有する寒冷地対応断面修復材の改良	藤原
柳沼 良輔	東京都市圏における鉄道利便性が居住地選択行動に及ぼす影響に関する研究	森本
大野 達也	足尾地域における渓流水窒素濃度に関する基礎的研究	池田
岡崎 祐也	高木群落の樹冠抵抗と非植生域との相互作用が乱流構造に与える影響に関する基礎的研究	池田
齋藤 拓哉	異なる振動レベルにおける橋梁完成系の振動特性の把握に関する研究	中島
田中 洋	足尾地域における治山・緑化事業が植生の回復に与える影響に関する基礎的研究	池田
室井 健宏	LPデータを用いた数値解析による那珂川上流部における流路デザインの基礎的検討	池田
Reem Al Sehnawi	Comparative Study on Seismic Performance of Viaduct Bridge System with Different Types of Superstructure-Pier Connections	中島

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
伊藤 将司	社会資本整備における持続可能な市民参加に関する研究	森本

2012年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
井口 舞	常温硬化型超高強度鋼繊維補強コンクリートの基本性状に関する実験的研究	藤原・丸岡
石ヶ森 渉	渡良瀬川砂州におけるハリエンジュとヤナギの競合に関する基礎的調査	池田
伊藤 悠	鋼橋模型を対象とした時刻歴応答解析による振動挙動の再現性に関する研究	中島
江口 陽祐	空中写真を利用した足尾地域の森林回復量の評価に関する基礎的研究	池田
及川 理香子	ジオポリマー硬化体の材料構成と強度発現に関する実験的研究	藤原・丸岡
大山 亮人	日光市観光客入込数の時系列分析に基づく震災の影響評価に関する研究	阪田
金子 一樹	長距離圧送吹き付け材の鉛直圧送性の改良	藤原・丸岡
河端 恵士	塩化物イオン吸着性能を付与した断面修復材の塩分移動に関する研究	藤原・丸岡
菊池 正寛	異なる構造形式を持つ大谷採石地下空間の熱特性に基づいた長期利用性に関する研究	清木
五味 政弘	確率論的劣化予測手法を適用した舗装のLCC分析に関する研究 ～栃木県内の国道をケーススタディとして～	阪田
斉藤 光海	高チクソトロピー性状を有するグラウト材の改良	藤原・丸岡
坂田 裕樹	大谷石と大谷石類似石の強度の発現の仕組みに関する研究	清木
宍戸 彩	急流礫床河川の大礫砂州上における植生分布に関する基礎的調査	池田
品川 温子	透過型捨石導流堤周辺の流れの三次元構造に関する実験的研究	池田
関 千尋	高炉スラグ微粉末を大量混和したコンクリートの基本的性状に関する実験的研究	藤原・丸岡
高橋 真太郎	構造形式の違いによる大谷採石地下空間の健全性評価に関する研究	清木
高橋 洋平	岡岡市内を実証運行する地域公共交通の利用状況と改善策に関する研究	阪田
多田 海成	ニーズを反映させた大谷採石跡地下空間の有効利用に関する研究	清木
千田 太樹	雲母を用いたコンクリートの収縮特性に関する研究	藤原・丸岡
土井 翔太	港湾物流の効率化を目指したインランドポートの機能検討 ～佐野インランドポート構想をケーススタディとして～	阪田
永尾 和大	合成桁床版取替時のプレキャスト版適用のためのずれ止めに着目した研究	中島
奈良部明鼓	残柱の損傷状況に注目した大谷採石地下空間の長期安定性に関する研究	清木
橋本 壮平	交互砂州における常流射流混在流れの流動形態の発生状況に関する基礎的研究	池田
早川 諒	クリンカー骨材コンクリートの自己治癒性評価	藤原・丸岡
福田 圭佑	宇都宮市における自転車レーンの安全性に関する研究	森本
邊見 莉紗	LRT導入に関わる情報提供がサイレント層に及ぼす影響に関する研究	森本
目時 芳淳	電気炉酸化スラグ細骨材を用いた高流動コンクリートの基本性状	藤原・丸岡
森 佑司	クリンカーフリーコンクリートへの廃棄物起源アルカリ刺激材の適用に関する研究	藤原・丸岡
山内 裕貴	断面修復材のひび割れ抵抗性に関する研究	藤原・丸岡
渡辺 一貴	複数配置した孔あき鋼板ジベル押抜き試験体のずれ性状とせん断力分担特性	中島
宇佐見 貴宏	いわき市小名浜港周辺地域の復興プロジェクトに伴う市内産業への影響評価に関する研究	阪田
OULAISSONE VANSAT	砕石場廃泥の有効活用に関する基礎的実験	今泉
生 将大	空き家発生メカニズムからみた市街地縮退に関する研究	森本
MOHAMMAD FAUZI	ベントナイト混合土の強度特性と斜面安定性評価	今泉
小野 泰樹	現場模型実験によるベントナイト混合土層の沈降・浸透実験	今泉
杉山 学之	HDPE遮水シートの引張り・応力緩和特性に関する実験的研究	今泉
藤田 恭之	ベントナイト混合土層の沈降量と浸透性に関する模型実験	今泉
市川 直紀	PIVに配慮した高木群落模型の製作および乱流測定に関する基礎的研究	池田
大塚 亮人	宇都宮市内でのまちづくり型CSR活動の環境整備の在り方に関する研究	阪田
藤田 亮	湾曲下流部の直線河道における流れの3次元性に関する基礎的研究	池田
町田 裕也	高力ボルト引張り接合と摩擦接合を併用した鋼I桁連結部のFEMモデルに関する検討	中島
千葉 歩	交通機関の利活用状況に着目した地方の課題と再生の可能性に関する研究	阪田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
井上 達也	環境負荷と利用者の意向に着目した大谷採石地下空間の有効性評価に関する研究	清木
岡村 祐輝	長距離圧送可能な吹付けモルタルの鉛直上方向への展開に関する研究	藤原
金子 貴登史	持続可能性から見た都市のコンパクト化度評価に関する研究	森本
菊池 遼	住民の支払意思を基にした地域公共交通の適切なサービス水準確保のための財政負担の在り方に関する研究	森本
阪路 英史	意識調査に基づく「自転車のまち宇都宮」の住民意識構造に関する研究	森本
定山 真輝	ステンレス鉄筋を用いた薄型高じん性埋設型柱(SSB埋設型柱)の開発へ向けた実験的研究	藤原
高野 穂景	違反履歴に着目した効果的な交通取締りに関する研究	森本
高葉 悠	大谷採石地下空間の客観的な構造安定性評価に関する研究	清木
竹井 智哉	環境負荷低減コンクリートの用途開発に関する研究	藤原
竹嶋 竜司	異なる振動レベルにおけるコンクリート橋の振動特性の変化に関する研究	中島
戸舘 光	生態学的モデルによる足尾地域の山林回復予測に関する基礎的研究	中島
橋本 昌利	孔あき鋼板ジベルのせん断耐力に及ぼす種々の影響因子に関する研究	中島
林 一哉	交互砂州地形における常流射流混在流れの流動形態に関する基礎的研究	中島
水本 齊	財政面からみた地方都市の持続性に関する研究	森本
富永 圭一	湾曲部下流の直線河道における中規模河床形態に関する基礎的研究	池田

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
松本 茂	既存ダムの機能向上のための事後評価に関する研究	永井

2013年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青木 貴志	定常流下における海岸林と防潮堤の位置関係が流れのエネルギー低減効果に与える影響に関する実験的研究	池田
浅野 周平	電気自動車を用いたカーシェアリングシステムの開発に関する研究	森本
稲葉 勇介	地方都市における地域公共交通の利用実態と住民意識に関する研究：真岡市をケーススタディとして	阪田
梅津 智大	透過型捨石導流堤の配置および形状が導流堤背後の流れに与える影響に関する基礎的研究	池田
梅原 一輝	栃木県における全国電子地盤図の構築に関する基礎的研究	清木
榎本 朱梨	高炉スラグ微粉末を多量混和したコンクリートの耐久性に関する研究	藤原・丸岡
遠藤 奨	交通取締りと事故に関する体系的研究	森本
岡崎 康幸	床版取換えに伴う合成桁の力学性状に関する実験的研究	中島
岡崎 耀子	利用者評価と環境負荷に基づいた大谷採石地下空間の施設利用可能性に関する研究	清木
柏 将徳	高力ボルト摩擦接合と引張接合を併用した鋼桁連結部の力学挙動に与えるリブ配置の影響	中島
神山 純一	腐食した桁端部の補修補強効果と簡易的な補修方法に関する基礎的研究	中島
亀田 俊	ドライバー特性に着目した抜け道利用低減方策に関する研究	阪田
NGUYEN VAN DUONG	頭付きスタッドの挙動に着目した合成桁の実験的研究	中島
幸村 智史	鬼怒川における礫河原保全事業後の植生変遷に関する基礎的調査	池田
小金 将輝	宇都宮市におけるLRT利用者推計と渋滞評価に関する研究	森本
小島 直大	栃木県における観光二次交通の充実に向けた情報提供に関する研究	森本
小西 拓哉	信号交差点での歩行者および車両の挙動に基づく渋滞対策に関する研究：宇都宮市平松交差点をケーススタディとして	阪田
小宮 敬之	フライアッシュを適用した長距離圧送吹付け材の特性に関する研究	藤原・丸岡
佐々木 歩	空き家の発生状況と市街地整備に関する研究	森本
佐藤 晶子	大谷採石地下空間の特殊地盤条件における構造安定性に関する研究	清木
佐藤 李愛	地域カフェの利用が住民の地域愛着と社会活動に及ぼす影響に関する研究	阪田
鈴木 雄一	交互砂州上における常流射流混在流れの発生条件及び河岸浸食に与える影響に関する基礎的実験	池田
田中 純	地下水水位が地下空間の熱効率に及ぼす影響を考慮した環境負荷の基礎的研究	清木
中川 大輔	積層ゴム支承を有するRC橋梁模型の振動挙動の数値解析による再現性の検討	中島
那須 文生	中心市街地活性化施策の実施状況と人口構成および人口変動との関係に関する研究	阪田
長谷川 直美	大谷採石地下空間の地震時の挙動に着目した安定性評価に関する研究	清木
辺見 拓	Ca ²⁺ 溶液によるベントナイト混合土の遮水性変化に関する研究	今泉
丸山 祥平	鋼製橋脚の減衰性向上に関する実験および減衰の振幅依存性に着目した数値解析に関する基礎的研究	中島
森 千鶴	宇都宮におけるLRT利用の市民PRに関する研究	森本
矢部 和史	振幅の大きな蛇行河道に接続する直線河道における流況及び河床変動に関する基礎的研究	池田
山本 大貴	地方都市の集約化における自動車需要に関する研究	森本
石井 侑希	ごみ溶融スラグの前処理方法がコンクリート製品の表面性状に及ぼす影響	藤原・丸岡
折笠 智紀	色調還元試験による大谷石の色調変化の原因究明に関する研究	清木
新海 敬之	土質系遮水層の局所沈下に伴う亀裂進展に関する画像解析	今泉
片山 岳	砕石場廃泥を用いた遮水材の乾燥亀裂に関する実験的研究	今泉
NGUYEN VU CUONG	超高強度遠心成形コンクリートパイル開発に関する研究	藤原・丸岡
後藤 智生	大型模型ベントナイト混合土層の局所沈下と遮水性評価実験	今泉
井上 祐太	高木群落内における組織的乱流構造に関する基礎的研究～PIVによる面的計測～	池田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
大武 博史	交通機関が将来人口と都市財政に与える影響に関する研究	森本
GUYEN MINH HAI	孔あき鋼板ジベルのせん断抵抗メカニズムの検討と耐力評価式の提案	中島
鈴木 成	各種アルカリ刺激材を用いた環境負荷低減コンクリートの特性に関する研究	藤原
津國 翔太	LRT沿線の商業型TODにおける交通円滑化に関する研究	森本
星山 仁篤	クリンカー骨材を用いたコンクリートの自己治癒性に関する研究	藤原
宮田 野乃香	集約型都市の交通安全施策の可視化に関する研究	森本
島田 大輔	宇都宮市の電子地盤モデルを活用した地盤防災に関する研究	清木
亀田 涼	渡良瀬川におけるハリエンジュ群落の定着・拡大に関する基礎的研究	池田
鈴木 啓祐	捨石型導流堤の河道内配置が周辺流況に及ぼす影響に関する基礎的研究	池田

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
磯 光夫	鋼橋の長寿命化のための予防保全技術に関する研究	中島

2014年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
浅井 幸太	交差点における障害者及び高齢者のための設備に対する健常者の意識分析	阪田
石井 智章	地震時における大谷採石地下空間の安全性評価に関する研究	清木
泉 祐太	砂州地形上の常流射流混在流れによる粘性河岸の侵食に関する基礎的実験的研究	池田
猪俣 昌哉	トンネルロックボルトの健全性が地震時のトンネル構造に与える影響に関する研究	清木
内山 雄輝	海岸林と防潮堤の位置関係が津波遡上の減災効果に与える影響に関する実験的研究	池田・飯村
内海 翔太	海岸林と防潮堤の位置関係が周辺流況に及ぼす影響に関する実験的研究	池田・飯村
大石 光仁	シリカ系天然鉱物微粉末を用いたコンクリートの基本性状に関する研究	藤原・丸岡
大野 将季	孔あき鋼板ジベルのジベル鋼板配置に着目した実験的研究	中島
影山 達也	鋼製橋脚の減衰性向上に関する一考察および橋梁模型の倒壊確認試験	中島
菊地 祐紀	交互砂州地形における常流射流混在流れの発生条件に関する基礎的研究	池田
木原 健貴	礫床2列蛇行河川における流況に植物群落が与える影響に関する基礎的実験的研究	池田
國嶋 康平	ALC粉末を用いた超硬練り軽量保水コンクリートの開発研究	藤原・丸岡
熊谷 尚紀	特殊地盤環境下における大谷採石地下空間の構造安定性に関する研究	清木
郡司 大暉	ホームドア設置に対する鉄道利用者及び非利用者の価値認識に関する研究	阪田
近藤 雄太	ライフスタイルの決定要因が居住地・勤務地選択意向に及ぼす影響に関する研究	大森・長田
後藤 郷	地方都市の交通弱者対策として運行するコミュニティバスの利用者意識に関する研究	阪田
佐藤 美乃里	グループスタッドの配置数及び箱抜き部モルタルの養生期間が合成桁の合成効果に及ぼす影響	中島
佐藤 雄斗	鬼怒川中流域の礫河原保全事業後の植生分布に関する基礎的調査	池田
三部 直人	駅周辺における放置駐輪と駐輪行動のメカニズムの研究	阪田
菅沼 幹	高木群落内における組織的乱流構造の相互作用に関する基礎的研究	池田
對開 昌宏	新設橋梁の景観に対する意識の相違に関する研究	阪田
高橋 智信	事業化を旨とした大谷採石地下空間の価値評価に関する研究	清木
田名網 研太	大谷石の塩類風化の影響と原因に関する研究	清木
田部井 優也	軌道系交通導入後の電停利用者による道路横断を考慮した交通流に関する研究	大森・長田
富樫 駿	栃木県の電子地盤モデルの補間と地震応答に関する研究	清木
根本 雅俊	クリンカー骨材を用いたモルタルの自己治癒性能を中心とした硬化性状に関する研究	藤原・丸岡
林 勲平	あと施工アンカー工法における無機系グラウト材の開発研究	藤原・丸岡
布瀬 大樹	川の振幅の大きな蛇行河道下流の直線河道における流路変動に関する基礎的検討 ～空中写真とGISの活用～	池田
山路 麻未	環境負荷低減コンクリートの凍結融解抵抗性改善に関する研究	藤原・丸岡
吉川 幸毅	充填モルタルの新たな流動性評価方法に関する研究	藤原・丸岡
和久 晃希	鋼とコンクリートの接触面の腐食に関するいくつかの実験的検討	中島
THAY VISAL	Study on changes in dynamic characteristics of RC simple beam and RC pier due to cracks	中島
小高 哲朗	真岡市コミュニティバスにおける利用者乗降傾向分析及び混雑要因の研究	阪田
桂 みちる	頭付きスタッドの直接せん断試験によるせん断耐力の検討	中島
亀井 航平	抄造法における窯業系外装材の各種製造要因がセメントスラリーの硬化性状に及ぼす影響	藤原・丸岡
下池 恭平	大谷採石地下空間群相互の熱環境と有効利用に関する研究	清木
七尾 雄作	ウレタン会合型増粘剤を添加したモルタルの性状に関する研究	藤原・丸岡
遊佐 源邦	左官用超強度断面修復材の開発に関する研究	藤原・丸岡
坂巻 悠介	鋼コンクリート界面の腐食に及ぼす防錆効果の基礎的研究	中島
持田 史紀	調査者と回答者との関係に着目したヒヤリハット調査に関する研究	阪田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
井口 舞	温硬化型超高強度繊維補強コンクリートの基本性状とその改善に関する実験的研究	藤原・丸岡
井上 恭介	域特性を考慮した地域公共交通の導入方法に関する研究	大森
大竹 秀樹	域公共交通との接続と遅れの変化がLRT需要に与える影響に関する研究	大森
大山 亮人	民による病院前救護に着目した交通ネットワーク改善効果の評価手法に関する研究	阪田
鈴木 恵士	タン会合型増粘剤がモルタル及びコンクリートの性状に与える影響に関する実験的研究	藤原・丸岡
生 将大	道利用状況データを活用した戸建て空き家戸数の予測モデル構築に関する研究	大森
定山 千尋	炉スラグ微粉末を多量混和したコンクリートの各種性状改善に関する実験的研究	藤原・丸岡
多田 海成	用者の感性に基づいた大谷採石地下空間群の利用形態に関する研究	清木
土井 翔太	性を考慮した地域の救急救命活動への支払意思に基づく社会資本整備の経済評価に関する研究	阪田
永尾 和太	頭付きスタッドを有する合成桁の限界状態に関する研究	中島
江口 陽祐	振幅の大きな蛇行河道と下流直線河道の接続部における流況と河床形態に関する基礎的研究	池田

2015年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
相澤 茂	左官用超高強度断面修復材の開発に関する研究	藤原・丸岡
飯嶋 茂樹	地方都市における食料品の買物行動の実態分析	大森・長田
海野 稜一	移動制約者を含めた多様な属性を有する個人の移動の正の効用に関する研究	大森・長田
金澤 周平	東日本大震災で被災した栃木県内分布火山灰質土の物理特性、液状化強度特性の把握	海野
加納 壮貴	受動赤外線型自動計測器を用いた歩行者交通量の変動に関する分析	大森・長田
川戸 陸也	シリカ系天然鉱物微粉末を用いたモルタルの止水性能に関する実験的研究	藤原・丸岡
神崎 広夢	防潮堤と海岸林が段波津波の減勢効果と流況に与える影響に関する基礎的実験	池田・飯村
桑原 伸太郎	非合成桁すれ止めの安全性に関する解析的研究	中島・HAI
小池 凌	環境負荷低減コンクリートの物性の改善	藤原・丸岡
斎藤 明秀	大谷採石地下空間における安全性に着目した空間価値評価に関する研究	清木
柴沼 莉沙	平成27年9月関東・東北豪雨での栃木県小山市における浸水被害の発生状況	池田・飯村
菅原 健太郎	合成梁の力学性状に及ぼす頭付きスタッドの配置間隔の影響に関する実験的研究	中島・HAI
田井 涼太	総合評価落札方式での入札結果の影響要因に関する統計分析 ～関東地方整備局の発注工事を対象として～	阪田
高橋 和也	地震観測網による大谷採石地下空間の地震応答特性に関する研究	清木
高橋 直紀	ジベル孔およびジベル鋼板の配置が孔あき鋼板ジベルのせん断抵抗に及ぼす影響	中島・HAI
武田 龍國	劣化によるたわみの影響線の変化に着目した橋梁のヘルスマニタリング	中島・HAI
館野 秀靖	微視的観察による風化した大谷石表面の剝離機構に関する研究	清木
戸部 那奈美	静岡県東部に分布する温泉余土の物理・力学特性の把握に関する基礎的研究	海野
藤沢 直志	繰返しせん断作用下におけるフライアッシュの圧縮特性に関する研究	海野
松本 隼宜	新規バス路線利用促進のための健康意識に働きかけるモビリティ・マネジメントの効果分析	大森・長田
村田 啓	中心市街地の魅力に愛着と利便性が与える影響—宇都宮市中心市街地を対象として—	大森・長田
望月 啓太	砂州地形上の常流射流混在流れによる非粘着性河岸の侵食に関する基礎的実験的研究	池田・飯村
森本 瑛士	若者の地域定着に余暇活動が与える影響	大森・長田
安田 雅人	土木工学系学生の進路選択傾向の分析に基づく「進路選択サポートカフェ」の提案 ～宇都宮大学工学部建設学科建設工学コースを対象として～	阪田
渡邊 卓磨	学生のキャンパス間移動に関する意識分析によるスクールバス導入検討の調査研究 ～宇都宮大学陽東・峰キャンパスを対象として～	阪田
SIPHAVANHOUDOM SAK OUDOMSAK	ALC粉末材料を用いた高保水性を有する即脱コンクリートブロックの開発	藤原・丸岡
高木 将人	東日本大震災によるいわき市市街地の広域沈下の実態調査及びその原因に関する考察	海野
櫻田 雅大	平成27年9月関東・東北豪雨での鬼怒川中流部における河道貯留効果について	池田・飯村
若林 篤史	公共事業評価における自然環境の評価方法に関する研究	阪田
菅原 岳美	超高強度遠心成形コンクリートパイプの開発に関する研究	藤原・丸岡
西村 大	裏込め注入材の物性評価試験方法の検討	藤原・丸岡

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
浅野 周平	個人の店舗選択行動を考慮した買い物アクセシビリティ評価手法の開発と適用	大森
岡崎 康幸	床版取替え時における合成はりの合成効果および限界状態に関する研究	中島
小金 将輝	LRT導入に伴うトランジットセンター整備が交通需要に与える影響に関する研究	大森
小宮 敬之	フライアッシュを適用した長距離圧送吹付け材の諸物性に関する実験的研究	藤原・丸岡
丸山 祥平	減衰の振幅依存性を有する橋脚模型の振動挙動の再現解析に関する研究	中島
森 千鶴	LRT導入計画における拡張現実を用いた市民PRに関する研究	大森
山本 大貴	集約型都市におけるパーソナルモビリティの導入効果に関する研究	大森
幸村 智史	鬼怒川における礫河原保全事業後の植生遷移メカニズムに関する研究	池田

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
青木 達也	足尾銅山における鉱害対策の変遷に関する研究	藤原

2016年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
阿部 瑛汰	鬼怒川の礫河原保全における大礫堆の設置が出水時の流況に及ぼす影響に関する実験的研究	池田・飯村
稲葉 直樹	宇都宮市における地震災害を想定した食料備蓄の現状と課題	近藤
犬養 清蔵	ALC粉末の有効活用に関する研究	藤原・丸岡
岩城 笙	大谷採石地下空間への利用者安全意識と構造安定性に関する研究	清木
大塚 亮介	石炭ガス化溶融スラグ細骨材を用いたモルタルのフレッシュ性状に関する研究	藤原・丸岡
大橋 忠司	模擬海底粘土を用いた海底地すべりの再現に関する基礎研究	海野
岡安 理夏	子ども乗せ自転車の利用環境改善に着目した態度・行動変容に関する研究	大森
小笠原 健	SPR工法における裏込めモルタルの開発	藤原・丸岡
奥出 峻大	平成27年9月関東・東北豪雨における鬼怒川中流部での流況シミュレーションに関する基礎的検討	池田・飯村
葛西 孝平	鋼材の塗装状態が鋼コンクリート接触面の付着性状に及ぼす影響	中島・藤倉・HAI
川崎 尚紘	中心市街地の歩行者・自転車共存空間における歩行者・自転車の通行実態に関する研究	大森
菊地 真紀	静的水平載荷による球面すべり支承の復元力特性に関する研究	中島・藤倉・HAI
楠木 崇仁	直接基礎のロッキング現象に関する基礎的研究	中島・藤倉・HAI
隈元 太郎	不飽和状態下における火山灰質土の液化化特性の把握	海野
齋藤 輝	大規模商業施設中心型商店街地区における端末物流実態及び地区特性の把握	大森
白山 昂資	シリカ系天然鉱物微粉末を用いたモルタルの基本性状および自己治癒性能に関する実験的研究	藤原・丸岡
神保 南	環境的要因に基づいた大谷石表面の剥離に関する研究	清木
菅野 健	学生の余暇活動と生活の質に関する研究	大森
住谷 航大	インドネシア国・西ジャワ州農村部の水利用に関する実態と住民意識	山岡
摺淵 笙乃	グリーンインフラを日本に導入するための評価指標の検討ー宇都宮市をケーススタディとしてー	山岡
高橋 洋基	クリンカー細骨材を用いたモルタルの硬化性状に関する実験的研究	藤原・丸岡
高橋 勇貴	防潮堤と海岸林による多重防護が段波津波の流況および樹木抵抗に与える影響に関する実験的研究	池田・飯村
手塚 拓也	平成27年9月関東・東北豪雨災害を踏まえた栃木市避難所運営の課題と改訂案	近藤
中村 竜馬	左官用超高強度断面修復材の改良に関する研究	藤原・丸岡
野崎 樹	防潮堤と海岸林の位置関係が流況と樹木抵抗に与える影響に関する実験的研究	池田・飯村
橋本 幸志郎	交互砂州上での流動形態と力学的特性に関する基礎的実験的研究	池田・飯村
羽藤 真	高強度パイル用コンクリートの粉体構成および電気炉酸化スラグ細骨材の適用性に関する研究	藤原・丸岡
又吉 彩乃	押抜き試験体の押抜き挙動に及ぼすスタッド配置段数の影響	中島・藤倉・HAI
水取 未流	補強鉄筋のひずみ挙動に着目した孔あき鋼板ジベルのせん断抵抗に関する実験的研究	中島・藤倉・HAI
森 未紗稀	鋼繊維補強モルタルと孔あき鋼板ジベルを用いた接合方法の力学性状に関する実験的研究	中島・藤倉・HAI
柳田 匡慶	繰返しせん断作用下におけるクリンカーアッシュの圧縮特性の把握	海野
山中 友仁	石炭ガス化溶融スラグ細骨材を用いたモルタルの硬化性状および耐久性に関する研究	藤原・丸岡
渡邊 浩大	LRT導入時の接触事故防止を目的とした3DVRの開発に関する研究	大森
AFIFAH YASMIN BINTI ZAKARIA	間隙中の水分状態を変化させた不飽和土の繰返しせん断変形挙動の把握	海野
嶋村 魁太	福島県における陸上及び洋上風力発電の開発可能量の推定	山岡
嶋村 駿汰	宇都宮市の地盤可視化のための三次元グリッドモデルの構築に関する研究	清木
鈴木 啓介	小水力発電の変遷と今後の開発の展望	山岡
滝川 徹	小藪川上流域における氾濫シミュレーションに関する基礎的研究	池田・飯村
平間 勇輝	異なる環境条件下における大谷石の色調変化の原因究明に関する研究	清木
河本 凌	栃木県の農業生産量減少を考慮したダム利水容量の検討	山岡
高星 誠也	建設業に対するイメージと実態の違いに関する調査研究	中島・藤倉・松本
MUHAMMAD HILMI BIN ISHAK	Natural Disaster (earthquake) Perception of Individual and Institutional Related to Climb Activities of Mount Kinabalu in Sabah, Malaysia.	近藤

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
泉 祐太	交互砂州上での流動形態が側岸侵食に与える影響に関する実験的研究	池田
大野 将季	せん断力一ずれ変位関係に基づく孔あき鋼板ジベルの設計法に関する研究	中島・藤倉
木原 健貴	鬼怒川における礫河原保全事業後の植生管理が出水時の流況に及ぼす影響に関する実験的研究	池田
近藤 雄太	出張・業務目的来訪者の消費行動の特性～北関東3都市をケーススタディとして～	大森
田部井 優也	大規模小売店舗立地法における交通アセスメント手法に関する研究	大森
根本 雅俊	クリンカーを細骨材として用いたモルタル及びコンクリートの基本性状に関する研究	藤原・丸岡
吉川 幸毅	各種高炉スラグ微粉末を用いた超高強度繊維補強コンクリートの基本性状に関する研究	藤原・丸岡

2017年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
伊藤 駿之介	ビーライト・ゲーレナイト系クリンカーを細骨材として用いたコンクリートの自己治癒性および製品化の検討	藤原・丸岡
臼井 祐太	基部に鋼管を有するRC橋脚の耐震性に関する解析的研究	中島・藤倉・HAI
大森 翼	水道管内の夾雑物が水質悪化に及ぼす影響	山岡
小川 和晃	減衰の振幅依存性を有する高架橋模型の振動挙動の再現に関する解析的研究	中島・藤倉・HAI
忍田 祥汰	基部に鋼管を有するRC橋脚の耐震性に関する実験的研究	中島・藤倉・HAI
加藤 拓也	雨水貯留施設とグリーンインフラストラクチャによる栃木県小山市大行寺・立木地区の内水氾濫対策の経済評価	山岡
金田 裕明	既設非合成桁の合理的ずれ止め配置に関する研究	中島・藤倉・HAI
川島 千恵	礫河原再生事業後の植生繁茂が細粒土砂の動態に与える影響に関する基礎的実験的研究	池田・飯村
木村 樹	圧電素子を用いた弾性波速度計測による砂の物性把握	海野
桑原 雄大	防潮堤と樹冠部抵抗を考慮した海岸林が津波の流況に与える影響に関する実験的研究	池田・飯村
小林 亮太郎	石炭ガス化溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの諸特性に関する実験的研究	藤原・丸岡
榊原 優士	山岳地曲線橋の地震時挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
佐々木 徳朗	インドネシア国・西ジャワ州内陸地域における住民の災害対策に関する調査研究	山岡
佐藤 安有	鋼製橋脚への鋼繊維補強モルタル巻きつけによる減衰性向上効果に関する研究	中島・藤倉・HAI
佐藤 夏海	津波越流時の洗掘現象に防潮堤背後の海岸林が与える影響に関する実験的研究	池田・飯村
菅原 佑介	平成27年9月関東・東北豪雨における鹿沼市災害ボランティアセンターの活動事例の分析	近藤
鈴木 杏実	栃木県のICT施工推進に向けた受発注者の課題に関する研究	中島・藤倉・松本
高草 木 祥	子育て支援施設の利用実態とLRT利用意向に関する研究—宇都宮市都心部をケーススタディとして—	大森・長田
高橋 優樹	歩行者・自転車共存空間としての商店街における歩行者の通行快適性に関する研究	大森・長田
高橋 諒	若年層の防災活動への参加促進に関する調査研究	近藤
竹内 小織	ダブル球面すべり支承を有する橋梁の活荷重時挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
塚原 周平	大谷石粉末の基礎的物性・力学特性の把握	海野
坪井 文音	鬼怒川中下流部の地形変化が河道貯留および平面流況に与える影響に関する基礎的研究 ～平成27年9月出水をケーススタディとして～	池田・飯村
照井 拓朗	栃木市巴波川流域を対象とした雨水貯留・浸透施設による浸水低減効果についての基礎的研究	池田・飯村
富田 大地	シリカ系天然鉱物微粉末を混和した各種セメントモルタルの自己治癒性に関する実験的研究	藤原・丸岡
中島 徹	大谷石の剥離現象と表面温度に関する研究	清木
中野 碧	水分状態を異にした不飽和砂の有効応力低下挙動の把握	海野
星 恒也	ボーリングデータの分析に基づいた宇都宮市の地盤構成に関する研究	清木
星野 天海	大谷採石地下空間入口への期待感と構造安全性に関する研究	清木
細貝 朱里	高炉スラグ微粉末を多量に混和したモルタルのダイラタンシー的性状に関する研究	藤原・丸岡
村上 宏紀	移動の正の効用と理想の移動に関する研究—自動運転技術と瞬間移動装置に着目して—	大森・長田
村山 聖	鋼繊維補強モルタルを用いた孔あき鋼板ジベルのせん断抵抗に関する実験的研究	中島・藤倉・HAI
山口 りえ	残柱の現場計測に基づいた大谷採石地下空間の動的特性に関する研究	清木
山田 健人	半たわみ性舗装用セメントミルクの充填性評価法に関する検討	藤原・丸岡
山田 結花	低塑性粘土と非塑性シルトの繰返しせん断およびせん断後挙動の比較	海野
横山 洋侃	住民主体の避難所運営に向けた業務分析—栃木市吹上地区をモデルとして—	近藤
LE MONG CAM	超高強度グラウト材の開発研究	藤原・丸岡
渡邊 郁尋	各種繊維を添加した超高強度繊維補強モルタルの諸性状に関する実験的研究	藤原・丸岡
狩野 陽平	水道管内夾雑物の化学組成および物性の評価	山岡
須田 愛美	地方都市における地域愛着と都市施設整備の関係性に関する研究	大森・長田
瀬谷 旺二郎	雪山登山引率者の状況判断力向上を目指した演習の提案	近藤
金井 圭汰	大谷石の色調変化の防止に基づいた原因究明に関する研究	清木
小林 直樹	地方都市郊外居住者の外出行動と地域愛着に関する研究	大森・長田
川向 雄太	宇都宮市のコンパクトシティ実現による貨物車の輸送距離の変化に関する研究	大森・長田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
加納 壮貴	自転車通行空間における自転車走行実態からみた安全性確保に関する研究	大森
川戸 陸也	ビーライト・ゲーレナイト系クリンカーを細骨材として用いたモルタルおよびコンクリートの各種性状と自己治癒性能の評価	藤原
SIPHAVANH OUDOMSAK	各種繊維を用いた超高強度繊維補強コンクリートの基本性状に関する研究	藤原
菅原 健太郎	死荷重の載荷履歴を考慮した合成桁の挙動に関する研究	中島
菅原 岳美	オートクレーブ養生を用いた超高強度遠心成形コンクリートパイル開発に関する研究	藤原
高木 将人	中山間地域の生活枠組みに着目した地域防災力の評価—いわき市での適用—	山岡
武田 龍國	減衰の振幅依存性を有する橋脚模型の弾塑性振動挙動の再現解析に関する研究	中島
松本 隼宜	バス路線沿線の高齢者を対象としたモビリティ・マネジメントの効果分析	大森
劉 玲玲	塗布工法によるコンクリートの乾燥収縮低減剤の開発	藤原
林 天揚	LIDによる浸水抑制効果に関する研究—小山市大行寺地区をケーススタディとして—	池田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
清水 進	充填性を有する各種グラウトモルタルの開発および充填性評価方法に関する研究	藤原

2018年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
秋山 拓哉	避難所施設利用コミュニティが避難所運営に協力する支援する可能性の調査	中島・藤倉
石木田 卓良	水道管内の堆積物および付着物が水質に及ぼす影響	中島・藤倉
石橋 龍一	津波の越流形態ごとの防潮堤裏法況における流況と海岸林の抵抗特性に関する基礎的研究	池田・飯村
内田 秀平	広域ミクロシミュレーションモデルのための自動車OD交通量推計手法に関する研究 ～大規模小売店舗の来店車両入出庫を考慮して～	大森・長田
榎木 康佑	大谷石の擁壁モデルによる風化の再現と色調変化の定量的判断に関する研究	清木
大久保 桃子	シリカ系天然鉱物微粉末を混和したモルタルの自己治癒性能に関する実験的研究	藤原・丸岡
大和田 瑞樹	クリンカー細骨材を使用したコンクリートの自己治癒性能およびプレキャストコンクリートへの適用性	藤原・丸岡
岡本 拓也	低炭素型コンクリートの耐硫酸性に関する基礎研究	藤原・丸岡
尾形 圭祐	死荷重の載荷履歴を考慮した連続合成桁の挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
小川 喬平	インドネシア国・西ジャワ州の交通事故多発地域における路地活用のための分析	中島・藤倉
黒坂 明善	地盤改良土に対するBE試験によるせん断波速度の計測	海野
小島 侑城	SUS鉄筋補強埋設型枠を有する柱を想定した梁部材の耐荷性能に関する研究	中島・藤倉・HAI
小林 健人	遠心成形超強度コンクリートパイルの強度発現性向上に関する研究	藤原・丸岡
笹川 凜	急流河川の交互砂州が流動形態に与える影響に関する基礎的研究	池田・飯村
佐藤 匠	下水管更生工法に用いる特殊裏込め材の開発	藤原・丸岡
佐藤 航	鬼怒川中流域における平成27年9月関東・東北豪雨による植生分布の変化に関する基礎的研究	池田・飯村
SHIRENDEV OYUN-ERDENE	モンゴルの大学生の自由時間の過ごし方と幸福感に関する研究	大森・長田
添田 有香	モード維持した2列蛇行地形上の流れと粗粒土砂の動態に関する基礎的研究	池田・飯村
高瀬 慎吾	足尾銅山産業史跡のデジタル保存におけるUAVとSfM-MVSの活用に関する基礎的検討	池田・飯村
高橋 健太郎	ダブル球面すべり支承で支持された免震橋の地震時挙動に関する解析的研究	中島・藤倉・HAI
高橋 夢	大谷石粉末供試体の一軸圧縮強さと土中水分量の関係に関する研究	海野
長島 宝	洪水ハザードマップの掲載情報の認知に関する研究	中島・藤倉
新村 遼	鋼繊維補強モルタルを用いた孔あき鋼板ジベルの引抜き試験時のせん断挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
野口大智	断面コアにCFTを有するSRC橋脚の耐震性に関する実験的研究	中島・藤倉・HAI
BUI HUY THANH	大谷採石地下空間の残柱に対する構造安定性と安心感改善に関する研究	清木
前鶴 菜摘	シングル球面すべり支承で支持された橋梁の活荷重時挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
緑川 雄介	北海道胆振東部地震で大規模崩壊を起こした火山灰質土の物理特性及び力学特性の把握	海野
柳沼 大介	変断面合成梁に配置されるずれ止めの水平せん断挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
山口 敬也	断面コアにCFTを有するSRC橋脚の耐震性に関する解析的研究	中島・藤倉・HAI
我妻 智世	複数地点の受動赤外線型自動計測器を用いた中心市街地における歩行者・自転車通行量の変動に関する研究	大森・長田
渡邊 貴郁	石炭ガス化溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの凍結融解抵抗性に関する研究	藤原・丸岡
齋藤 日向子	繰返しせん断に伴う火山灰質砂の粒子破砕に関する基礎的研究	海野
平形 将之	Web上に存在するテキストデータの分析による効果的な観光情報発信に関する基礎的研究 ～ツイートとクチコミに着目して～	大森・長田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
謝 蕙竹	半たわみ性舗装用セメントミルクの充填に関する研究	藤原・丸岡
Dintwe Tumelo Kgetse	A FUNDAMENTAL STUDY ON THE STATIC AND DYNAMIC STABILITY OF THE ROOM AND PILLAR UNDERGROUND QUARRY IN OYA	清木
大塚 亮介	チクソトロビニ性状を付与した常温硬化型超強度断面補強材の開発	藤原・丸岡
小笠原 健	下水道管更生工法に用いられる低密度高強度裏込めモルタルの開発	藤原・丸岡
葛西 孝平	鋼コンクリート接触部近傍の腐食の要因に関する幾つかの実験的研究	中島・藤倉・HAI
齋藤 輝	中心市街地における道路空間構成と沿道店舗の立地を考慮した端末物流活動の実態に関する研究 ～栃木県宇都宮市をケーススタディとして～	大森・長田
齋藤 祐輔	急流河川の交互砂州が流動形態と側岸侵食に与える影響に関する基礎的研究	池田・飯村
白山 昂資	尿素混和水溶液含浸による乾燥収縮低減方法の開発	藤原・丸岡
菅野 健	夜の繁華街の特性と来訪者の活動実態と意識に関する研究	大森・長田
鈴木 啓介	水道管内の堆積物・付着物の生成要因に関する実証研究	中島・藤倉
高橋 勇貴	防潮堤裏法況の堀状構造物が防潮堤と海岸林による多重防護の津波減災に与える影響	池田・飯村
水取 未流	長手方向に複数配置した孔あき鋼板ジベルの設計法に関する研究	中島・藤倉・HAI
柳田 匡慶	粒径の異なる土の繰返しせん断作用下における体積圧縮特性の把握	海野
山中 友仁	特性の異なる石炭ガス化溶融スラグのコンクリート細骨材への適用性に関する研究	藤原・丸岡
渡邊 浩大	軌道系交通との自動車接触事故防止を目的とした3DVRコンテンツの開発に関する研究	大森・長田

2019年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
石塚 日和	耐硫酸性を付与した低炭素型コンクリートの実験的研究	藤原・丸岡
乾 真之介	プレキャスト床版を有する非合成桁のずれ止め配置に関する研究	中島・藤倉・HAI
大島 健太	低水粉体比領域において微粉砕フライアッシュを用いた高強度モルタルに関する研究	藤原・丸岡
長田 一輝	急流河川における霞堤の治水機能及び周辺の土砂動態に関する数値解析	池田・飯村
小野 俊平	裏込めモルタルの改良および新規開発に関する研究	藤原・丸岡
小幡 竜馬	孔あき鋼板ジベルを用いたプレキャスト床版接合構造の静的曲げ挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
柏木 俊亮	樹冠を考慮した海岸林が防潮堤裏法尻の洗掘現象に与える影響に関する実験的研究	池田・飯村
糺谷 拓未	地方都市における送迎交通の実態と生活の質に関する研究 ～日光市および宇都宮市に着目して～	大森・長田
坂部 大成	d4PDFを用いた余笹川流域における気候変動下での降雨特性に関する基礎的検討	池田・飯村
櫻井 拓也	SUS埋設型柱を有する柱を想定した部材の曲げ挙動に関する解析的研究	中島・藤倉・HAI
佐野 凌汰	定断面圧力円管水路における軟質球状ピグの挙動と水流への影響	山岡・王
篠崎 歩	大谷石粉末を添加した混合土の力学特性と含水状態によるその変化	海野
篠崎 広太	自動計測器を用いた自転車通行実態の把握に関する研究 ～商店街における押しチャリの推進を目指して～	大森・長田
鈴木 颯斗	蒸気養生したピーライト・ゲーレンナイト系クリンカー細骨材使用コンクリートの物性および製品適用性の検討	藤原・丸岡
鈴木 優花	類似した粒度分布を持つ火山灰質粗粒土の液状化強度の比較	海野
春原 菜々子	シリカ質天然鉱物微粉末添加モルタルの止水性能および自己治癒性能	藤原・丸岡
空本 健太郎	宇都宮市の三次元グリッドモデルに基づいた地震防災に関する研究	清木
高石 将平	セメント・アスファルト安定処理土の液状化抵抗	海野
土屋 友梨珠	大谷採石地下空間の地震応答と避難意識に関する研究	清木
野沢 哲哉	レジリエンスを高めるRC部材の繰返し引張特性に関する実験的研究	中島・藤倉・HAI
長谷部 恭一	乾燥収縮の影響を考慮した活荷重合成桁の挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
服部 直樹	社会的規範と心理的リアクタンスに着目した自転車交通安全教育の効果に関する研究 ～高校生・大学生を対象として～	大森・長田
馬場 翔太郎	狭い接合部にループ継手を用いたPCa床版の曲げ挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
馬場 春華	水道管内の付着物生成機構に影響を与える細菌の分析	山岡・王
土方 啓慎	商業施設の立地からみた地方都市における高齢者の居住地の評価	大森・長田
平野 優麻	鋼繊維補強モルタルを用いた孔あき鋼板ジベルのせん断挙動の定量的評価	中島・藤倉・HAI
福井 慎之介	令和元年台風19号における栃木県の情報共有会議の分析	近藤
藤岡 光	超弾性合金を用いた橋脚の曲げ挙動に関する研究	中島・藤倉・HAI
藤原 政茂	災害時における外国人住民の災害情報に関する調査研究	近藤
松田 剛	急流河川における砂州上の植生繁茂が河岸侵食に与える影響に関する数値実験	池田・飯村
茂木 花奈	避難所に必要な設備とその配置に関する研究	近藤
山田 克彦	オートクレーブ養生した繊維補強モルタルの強度発現性に関する研究	藤原・丸岡
依田 さやか	大谷石の風化原因と色調及び強度変化に関する研究	清木
涌井 恭平	エネルギーに対する学生のリスク認知・利益認知とそれらの形成要因の分析	山岡・王
渡邊 唯	破砕性土の繰返しせん断中における粒子破碎と液状化強度への影響	海野
左部 晃司	フライアッシュを多量混和したコンクリートの基本的性状に関する研究	藤原・丸岡
緑川 太智	海岸林内通路を考慮した多重防護下における越流形態と流況に関する基礎的研究	池田・飯村
六本木 晶瑚	尿素を用いたコンクリートの乾燥収縮低減工法の改良に関する研究	藤原・丸岡
清水 涼平	日本及びインドネシアにおける種類の異なる水道管での付着物の生成	山岡・王
中島 俊大	大谷地域における交通需要の増加が交通ネットワークに与える影響のシミュレーション分析	大森・長田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
伊藤 駿之介	組成の異なるクリンカーを細骨材として用いたコンクリートの自己治癒性能およびプレキャスト製品適用性に関する研究	藤原・丸岡
加藤 拓也	栃木市における豪雨時の内水氾濫を考慮した避難情報のあり方に関する検討	池田・飯村
韓 昱琦	子育て世帯の外出行動支援のためのスマートフォンアプリの開発と適用	大森・長田
小林 亮太郎	産地の異なる石炭ガス化溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの諸性状および改良に関する研究	藤原・丸岡
佐藤 夏海	防潮堤背後の海岸林が津波越流形態と洗掘現象に与える影響	池田・飯村
高草木 祥	子どもの送迎・移動に着目した子育て世帯のアクセシビリティに関する研究	大森・長田
細貝 朱里	各種混和材を多量混和したモルタルのダイラタンシー性状に関する検討	藤原・丸岡
渡邊 郁尋	低炭素型耐硫酸性コンクリートの開発	藤原・丸岡

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
土橋 喜人	計画段階からの当事者参加による鉄道事業バリアフリー化の効果発現に関する研究	大森
田部井 優也	大規模小売店舗における交通アクセスメントの課題に関する研究	大森

2020年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
青田 洗希	2016年熊本地震で損傷した鋼斜張橋の地震時挙動に関する研究	藤倉
池田 早希	災害廃棄物処理に関する初動対応の分析	近藤
石井 ハンナ	令和元年東日本台風における栃木県田川の出水に支川山田川が及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
石川 航大	「自転車マナーポイントアプリ」による 高校生の交通安全に関する研究	長田
植木 星吾	ループ継手を用いた狭い接合部の引張挙動に関する研究	藤倉
遠藤 里桜	全天球カメラを活用したUAV写真測量による中小河川の河道形状把握手法の検討	池田
大木 直也	東京湾川崎エリアの人工埋立地盤の液状化抵抗の把握	海野
木村 航輔	LRT利用者の利便性向上を目的とした 交通結節点に関する基礎的研究	長田
小岩 大毅	令和元年東日本台風における永野川皆川城内地区での内水・外水氾濫解析	飯村
幸野谷 旭	低水粉体比領域における微粉砕フライアッシュと分級フライアッシュを混和したモルタルの特性に関する研究	藤原・丸岡
小林 新人	普通ポルトランドセメント用クリンカーを細骨材として用いたコンクリートおよびモルタルの諸特性に関する研究	藤原・丸岡
齋藤 舜介	中山間地域におけるドローン物流の実装に関する基礎的研究	長田
坂本 凌	アスファルト混合物で使用される道路用砕石土砂の強度特性に関する基礎的研究	海野
佐藤 有起	SPR工法に用いる裏込めモルタルの新規開発に関する研究	藤原・丸岡
佐藤 嘉峻	夜の繁華街への来訪経験が印象と意識に与える影響	大森
下山 孔輝	インターネットメディアに対する情報の信頼度に関する調査～新型コロナが与えた影響～	近藤
下山野 萌夏	中山間地域における潜在的防災力の評価	近藤
菅沼 舜太郎	令和元年東日本台風での栃木市中心市街地の浸水被害に周辺河川が及ぼす影響	池田
鈴木 一平	定断面圧力配水管路の圧力変化に透水性球状ビグが及ぼす影響	山岡
高田 章詩	地方公共工事の入札制度に関する発注者のリスク認知の調査・分析	王
田仲 慎太郎	低炭素型コンクリートが耐硫酸性に及ぼす影響に関する実験的研究	藤原・丸岡
出町 元大	エネルギー吸収性能を向上させた超弾性合金橋脚の曲げ挙動に関する研究	藤倉
徳留 雄太	大谷石の表面分析に基づいた風化の原因究明に関する研究	清木
中野 緒未	超弾性合金を用いた橋脚の地震時挙動に関する解析的研究	藤倉
野原 魁人	マイクロ交通流シミュレーションを用いたバス停での乗降時間が他の交通流に与える影響に関する研究	長田
蜂巣 諒平	那珂川水系荒川の逆越流地点の植生が対岸の決壊に与えた影響に関する基礎的研究	飯村
林 弦	シリカ質天然鉱物微粉末混和モルタル及び混和コンクリートの止水性能と自己治癒性能	藤原・丸岡
福嶋 夏紀	動的載荷による減容化を模擬した圧縮土の液状化抵抗に関する研究	海野
松尾 美穂	令和元年東日本台風での栃木県五行川上流域における流量低減の要因に関する基礎的研究	池田
村上 遙佳	多量のフライアッシュを混和したモルタルの強度改善に関する研究	藤原・丸岡
本橋 拓大	原子力発電に関する成年者の知識・意識に経験が及ぼす影響の分析	山岡
柳谷 一輝	I形鋼を用いた新たな複合構造の曲げ挙動に関する実験	藤倉
吉川 航太郎	オートクレーブ養生を用いた超高強度金属繊維補強モルタルの強度発現性に関する研究	藤原・丸岡
吉澤 健太	特殊土に分類される細粒土の高含水比状態下におけるセメント固化処理の基礎的研究	海野
吉田 絢	地方都市における乳幼児を持つ親の 私事目的外出行動に関する研究-小山市PT 調査を用いて-	大森
吉原 隆	模型盛土斜面の崩壊実験による火山灰質粗粒土の粒子破碎挙動の観察	海野
和田 智也	令和元年東日本台風における那珂川水系荒川の連鎖的な決壊現象に関する基礎的研究	飯村
浦橋 誠	地方都市の夜の繁華街活性化に向けた 取り組みに関する研究	大森
加藤 俊紀	大谷採石地下空間の地震時安全性と安心感に関する研究	清木
鈴木 直人	社会心理学的視点から見た防災とインターネットの関連性調査	近藤
冨塚 黎	夜の繁華街の街路景観に光環境が与える影響	大森
小林 春陽	配水池及び配水管内における水質・堆積物・付着物の特性	山岡

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
内田 秀平	地方都市の中心市街地における LRT 導入が 道路交通流に与える影響に関する研究	長田
大和田 瑞樹	組成の異なるクリンカーを細骨材に用いたコンクリートの特性に関する研究	藤原・丸岡
小川 喬平	多文化共生社会による災害避難行動 -インドネシアへの適応に向けて-	近藤
黒坂 明善	ベンダーエレメント試験によるせん断波速度を用いた各種地盤改良土の強度評価に関する研究	海野
小林 健人	オートクレーブ養生製品の高強度化に関する研究	藤原・丸岡
佐藤 匠	尿素含浸によるコンクリートの乾燥収縮低減効果に関する研究	藤原・丸岡
SHIRENDEV OYUN-ERDENE	若者の余暇活動へのアクセシビリティと 生活の質に関する研究 -ウランバートル市をケーススタディとして-	大森
高瀬 慎吾	令和元年東日本台風での思川における氾濫流による二次破堤プロセス	池田
高橋 健太郎	シングル球面すべり支承の球面半径が振動挙動に及ぼす影響に関する研究	藤倉
緑川 雄介	日本国内に分布する代表的な火山灰質粗粒土の飽和・不飽和繰返しせん断挙動に関する研究	海野
柳沼 大介	作用履歴に基づいた合成桁の挙動に関する解析的研究	藤倉
山口 敬也	I形鋼を用いた新たな複合構造の曲げ挙動に関する研究	藤倉
我妻 智世	中心市街地における歩行者・自転車通行量の変動要因に関する研究	長田
渡邊 貴都	フライアッシュ多量混和コンクリートの基本的特性に関する研究	藤原・丸岡
程 伝涛	現場計測に基づいた地震動推定と大谷採石地下空間の耐震性能評価に関する研究	清木

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
劉 玲玲	尿素を用いたコンクリートの塗布型乾燥収縮低減剤の実用化研究	藤原
永井 徹	次世代公共交通導入における合意形成のための3DVRコンテンツ生成手法に関する研究	大森

2021年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
飯塚 絵理名	永野川の皆川地区における堤内外地の植生が洪水氾濫流況に与える影響に関する基礎的研究	飯村
市野 塚彩音	令和元年東日本台風において複数箇所が決壊した永野川の洪水氾濫解析に関する研究	飯村
伊東 可恋	シリカ質天然鉱物微粉末混和モルタルの止水性能と自己治癒性能	藤原・丸岡
伊藤 恭祐	地下水位を変化させた場合における火山灰質細粒土および粗粒土の斜面安定解析	海野
伊藤 海里	孤立タイムラインを使用した栃木県佐野市上秋山地区の孤立時の強みと弱みの抽出	近藤
井上 魁斗	RTK搭載型UAVを活用した標定点レス写真測量による中小河川の地形把握手法の検討	飯村
宇那木 駿介	夜の繁華街におけるバリアフリーの実態調査と課題の整理に関する研究	大森
小島 朋也	多量のフライアッシュを混和したモルタルおよびコンクリートの強度発現性改善に関する研究	藤原・丸岡
勝目 進之介	低摩擦型球面すべり支承の動的挙動に関する研究	藤倉
金沢 悠太	ファイバー要素解析における超弾性合金のモデル化に関する研究	藤倉
金子 瞬	電動キックボード利用時における経路選択の要素としての走行振動に関する研究	長田
黒木 千聖	サブミクロン高炉スラグ微粉末を混和したモルタルの特性に関する研究	藤原・丸岡
齋藤 響	公園・緑地に関するアクセシビリティと利用実態および生活の質	大森
相楽 大紀	受動赤外線自動計測器を用いた中心市街地における面的な歩行者・自転車通行量の分析	長田
櫻井 翔平	植樹活動に参加する小学校児童の意識に関する研究 一栃木県日光市足尾町松木地区の体験植樹をケーススタディとして一	山岡
佐々木 良馬	気候変動に向けた地域の取り組みの課題抽出と解決に向けたワークショップの実施	近藤
佐藤 颯	バンダーエレメント試験を用いた繰返し載荷を伴う各種砂のせん断波速度の観察	海野
篠本 宏太	地方中小規模建設会社の新技術受容に関する調査研究	王
島崎 湧馬	水道管内における軟質球状ビグの流速と堆積・付着物の再現性評価	山岡
高島 優大	マイクロ交通流シミュレーションと等価時間係数を用いたパスターミナルの評価に関する研究	大森
高林 優美	高原地域での内水氾濫を考慮した戦略的なEbA導入策に関する基礎的研究 ～那須塩原市をケーススタディとして～	池田
高橋 新	GTFISデータを用いた到達圏解析による地方都市繁華街からの帰宅交通に関する研究	大森
高橋 陽太	現役世代の地域防災活動への参加促進に向けた現状と活動事例の調査	近藤
羽賀 毅	緑化推進を目的とした森林環境教育における振り返り学習の効果に関する研究 ～小学校高学年生による足尾での「体験植樹」を通して～	池田
花井 裕也	環境要因と構成物質に着目した大谷石の風化プロセスに関する研究	清木
平井 妙実	日本の大学で建設業情報管理におけるCIM/BIMの統合に関する学生の意識とアクセプタンス ～i-Constructionの教育プログラムに向けて～	王
水上 大輝	宇都宮市における自転車関連事故に影響を与える要因に関する研究	長田
山谷 慧悟	霞堤の地形構成が主流の3次元構造に与える影響に関する基礎的実験的研究	池田
吉川 珠暖	オートクレープ養生を施した超高強度金属繊維補強モルタルの耐久性に関する研究	藤原・丸岡
吉川 遼	超弾性合金を用いたヒンジ構造を有する新たな壁式橋脚に関する研究	藤倉
中島 猛生	工業団地通勤者の交通行動が周辺道路へ及ぼす影響に関する基礎的研究	長田
尾崎 光城	ループ継手および連続繊維補強材を用いた接合部の引張挙動に関する研究	藤倉
菊池 尊丈	普通ポルトランドセメント用クリンカーを細骨材として用いたモルタルの基本特性および流動性に関する研究	藤原・丸岡
西崎 理瑚	住民ニーズに着目した栃木県佐野市災害ボランティアセンターの業務分析	近藤
笹原 尚人	マルシェ来場者の購入要因と出店者との会話による影響の分析	山岡
小川 謙士	超弾性合金の座屈挙動に関する基礎的研究	藤倉
西澤 将大	路盤で用いられる砕石土砂の締固め特性に関する基礎的研究	海野
前田 和輝	大谷採石地下空間における有効利用の観点から見た安全性再評価に関する研究	清木

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
石塚 日和	耐硫酸性を付与した低炭素型コンクリートの高流動化に向けた実験的研究	藤原・丸岡
大島 健太	微粉砕フライアッシュを利用した高強度モルタルの開発およびフレッシュ性状評価方法に関する検討	藤原・丸岡
長田 一輝	霞堤内部の流れの3次元性に地形構成が及ぼす影響に関する基礎的研究	池田
左部 晃司	フライアッシュを多量混和したモルタルおよびコンクリートの強度発現性改善に関する研究	藤原・丸岡
佐野 凌汰	定断面圧力円管水路における軟質球状ビグの挙動と水流への影響に関する実験的研究	山岡
清水 涼平	同一水道配水系統における浮遊物の移動と付着	山岡
高石 将平	CAE路盤材料の液状化抵抗に関するアスファルト乳剤の影響	海野
馬場 翔太郎	I形鋼を用いた新たな複合構造の引張特性に関する研究	藤倉
藤岡 光	地震後の復旧性能を向上するPC橋脚の開発に関する研究	藤倉
山田 克彦	オートクレープ養生超高強度繊維補強モルタルの耐久性に関する研究	藤原・丸岡
渡邊 唯	繰返しせん断作用下における破砕性土のせん断変形挙動と粒子破砕に関する研究	海野

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
藤原 了	シングルミクロン粒径を有する無機混和材料を用いたモルタル・コンクリートの諸特性に関する研究	藤原

2022年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
浅田 裕亮	オートクレーブ養生を施した超高強度金属繊維補強モルタルの流動性に関する研究	藤原・丸岡
浅沼 信也	蛇行河川における連鎖的な決壊による氾濫流の戻り流れが河道内流況に与える基礎的実験	池田・飯村
鮎田 秀都	平均粒径がシングルミクロンアンダーの高炉スラグ微粉末を混和した超高強度モルタルの耐火性能に関する研究	藤原・丸岡
荒川 優紀	被災地支援活動における二者連携と中間支援に関する研究 ～令和元年東日本台風で被災した那須烏山市、宇都宮市の事例調査～	近藤
梅野 駿	貯留状態の震場周辺の流れに旧河道が及ぼす影響に関する基礎的実験的研究	池田・飯村
遠藤 大輔	新設バス路線における電動バスの導入が道路交通ネットワークに与える影響に関する分析	大森・長田
及川 新太	芳賀・宇都宮ライトレールにおける沿線地域住民の交通実態に関する研究	大森・長田
大村 壮汰	次世代自動車の普及が道路交通流に与える影響に関する研究	大森・長田
奥山 賢人	残留変位を低減し地震後の復旧性能を向上するPC橋脚の耐震性能に関する研究	藤倉・Thay
長田 結名	応力比を考慮した接着接合部の疲労強度に関する研究	藤倉・Thay
金澤 昂大	低水粉体比領域における微粉砕フライアッシュを混和したコンクリートの特性に関する研究	藤原・丸岡
草野 日向子	原子力発電所における規制機関の事故対応マニュアルの分析	近藤
熊谷 あすみ	東京湾神奈川エリア内の埋立地盤における細粒土の繰返しせん断挙動に関する研究	海野
小泉 大輝	ループ継手に短繊維補強コンクリートおよび連続繊維補強材を用いたPCa床版接合部の曲げ挙動に関する研究	藤倉・Thay
小林 亘	細骨材に普通ポルトランドセメント用クリンカーを用いたモルタルの耐久性および流動性に関する研究	藤原・丸岡
酒井 夏輝	シリカ質天然鉱物微粉末混和硬化体の止水性および自己治癒性能と養生条件による影響に関する研究	藤原・丸岡
佐々木 瑠以	霞堤の氾濫戻し機能に着目した堤内地流況に対する蛇行形状と霞堤形状の影響に関する基礎的実験	池田・飯村
実川 智貴	スタジアムにおけるバリアフリーデザインの案内表示に関する研究	大森・長田
白倉 大夢	建設新技術導入が技能者に及ぼす影響に関する調査研究～受発注者の視点から～	近藤
白須 玲音	セメント・アスファルト乳剤安定処理路盤材料のアスファルト乳剤添加量の違いによる強度比較	海野
杉山 健斗	蛇行河川における外水氾濫の戻り流れと河道内流況に堤内地植生が与える影響に関する基礎的実験	池田・飯村
五月女 隼輔	思川合流部の取水塔周辺の地形変遷に関する基礎的研究	池田・飯村
谷本 靖斗	シングル球面すべり支承の摩擦係数温度依存性に着目した動的挙動に関する研究	藤倉・Thay
辻 拓海	フライアッシュを多量混和したコンクリートの蒸気養生特性および自己治癒性能に関する研究	藤原・丸岡
土田 晃久	宇都宮都市圏におけるLRTへの通勤時交通手段転換可能性	大森・長田
津野 佑登	オープン型宅配ロッカーとドローンの組み合わせ配送によるCO ₂ 排出量削減効果に関する研究	大森・長田
名越 彩瑠	機械学習を用いた道路用砕石の締固め特性の推定に関する基礎的研究	海野
七崎 千翔	円管路における気水二相流の管内圧力変動および流動特性の分析	山岡
番場 恵梨子	海底火山由来軽石の繰返しせん断による粒子破砕及び液状化強度の把握	海野
星野 妃美	令和4年台風第15号によるデキストマイニングを用いたタイムライン作成手法の検討	近藤
水田 瑛伸	大谷採石地下空間の有効利用のための維持管理点検手法の策定に関する研究	清木
水野 颯希	夜の繁華街における飲食店経営者及び地域住民の意識に関する研究	大森・長田
屋敷 拓海	大谷石の色調変化防止手法の効果に基づいた風化機構に関する研究	清木
柳村 陸	水田の区画面積と水路網が水田貯留に与える影響に関する模型実験	池田・飯村
横山 進乃助	公衆浴場が地域コミュニティの形成に与える影響に関する研究	大森・長田
若林 華凜	高速空気混合洗浄工法による水道管内の付着物除去効果の研究	山岡
和栗 辰樹	孔あきI形鋼を用いた複合構造の曲げ挙動に関する実験的研究	藤倉・Thay
渡邊 優作	SPR工法用裏込めモルタルの基礎性状と施工性の評価に関する研究	藤原・丸岡
ISLAM MD RASHEDUL	円管路洗浄に効果的な気水二相流の水理特性の研究	山岡
剣吉 辰哉	銅繊維及び化学繊維を混和した配合における常温硬化型UFCの硬化性状及び物性評価	藤原・丸岡
楠 祐規	大谷石採石地下空間の破壊進行に伴う不安定予測に関する研究	清木
新藤 幹太	EbA実施に向けたステークホルダーの抽出と関与レベルを向上させるための課題整理に向けたワークショップの実施	近藤
堀内 泰我	大谷石及び類似石の比較による色調変化プロセスの原因究明に関する研究	清木
山口 大智	中心市街地における路外荷捌き駐車施設の適正配置に関する研究 ～栃木県宇都宮市をケーススタディとして～	大森・長田
斎藤 来仁太	超弾性合金を用いたコンクリート巻立て部材の圧縮挙動に関する研究	藤倉・Thay

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
青田 洗希	球面すべり支承で支持された橋梁の衝突現象に関する基礎的研究	藤倉
幸野谷 旭	微粉砕FAを利用した高強度モルタルおよびコンクリートの開発と実用性に関する検討	藤原・丸岡
小林 新人	組成の異なる2種類のクリンカーを細骨材として用いたモルタルの断面補修材への適用性に関する研究	藤原・丸岡
齋藤 舜介	ドローン配送の輸送経路の変化が輸送物資に与える影響に関する研究	大森・長田
坂本 凌	道路用砕石の締固めに伴う諸特性の把握とその評価に関する研究	海野
田仲 慎太郎	低炭素型耐硫酸性コンクリートの諸特性に関する実験的研究	藤原・丸岡
出町 元大	銅系超弾性合金を有するコンクリート部材の応力-ひずみ関係に関する研究	藤倉
野原 魁人	LRT導入と路線バス再編が道路交通流に与える影響に関する研究	大森・長田
村上 遥佳	フライアッシュ多量使用コンクリートにおけるクリンカー細骨材置換が諸性状に及ぼす影響	藤原・丸岡
吉川 航太郎	吹付け施工を想定した常温硬化型超高強度金属繊維補強コンクリートの諸特性	藤原・丸岡
吉澤 健太	流動性を変化させた固化処理土の配合と強度に関する研究	海野
吉原 隆	加振あるいは降雨浸透実験による模型盛土斜面崩壊における粒子破砕挙動の把握	海野
斬 強	LRT 導入による市民の交通手段とアクセシビリティの変化に関する研究 ～宇都宮をケーススタディとして～	大森・長田

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
江里口 玲	RFID技術を活用したコンクリート構造物の診断技術の構築と実用化に関する研究	藤原
渡邊 有寿	超高性能繊維補強セメント系複合材料の品質および耐久性確保に向けた研究	藤原

2023年度卒業・修了

学部

氏名	論文題目	指導教員
赤荻 亮真	芳賀・宇都宮ライトレール沿線住民の交通実態に関する研究	長田
石井 陽	細骨材にアルキルケテンダイマーを付着させた2種類のクリンカーを用いたモルタルの基本性状に関する研究	藤原・丸岡
石田 梨華	SPR工法用裏込めモルタルの改良および施工性の評価に関する研究	藤原・丸岡
稲葉 彩夏	火山灰質細粒土(ローム)中のアロフェン含有量と強度の把握	海野
乙高 悠泰	炭素繊維シートの真空含浸接着による面外ガセット溶接継手の疲労き裂補修に関する研究	Thay
門川 菜摘	円管路内における気水二相流の水利特性の分析	山岡
加藤 舜	大学生を対象とした子ども乗せ自転車/ベビーカー 安全利用教室の試行と意識変容	大森
菅野 幸輝	多変量解析による栃木県内の河川と水道配水系統の水質評価	山岡
木南 慶秋	加熱アスファルト混合物の締固め特性および一軸圧縮強度に対する細骨材の粒子形状の影響	海野
黒澤 駿斗	フライアッシュ多量混和コンクリートの基本性状および自己治癒性に関する研究	藤原・丸岡
小林 昌輝	豪雨時の道路閉塞を考慮した中山間地域の孤立可能性の評価	近藤
佐々木 稜久	AI画像トラフィックカウンターを用いたLRT開業に伴う交通量変動に関する分析	長田
更科 まなみ	Ti-Ni形状記憶合金を用いたプレストレス導入に関する基礎的研究	藤倉
塩見 駿斗	高炉スラグ微粉末混和モルタルの耐火性能に及ぼすポリプロピレン樹脂添加方法の影響	藤原・丸岡
菅原 溪祐	在留外国人に向けた防災イベントの提案～栃木県さくら市における実践～	近藤
杉原 佳苗	火山灰質粗粒土の静的せん断に伴う粒子破碎挙動の把握	海野
鈴野 愛斗	災害時における被災者のための防災拠点の在り方の検討～栃木県上三川町を題材として～	近藤
高橋 瑞貴	中小急流河川における蛇行河道内流況に氾濫流の戻り流れが与える影響に関する基礎的解析	飯村
高橋 凜太郎	河岸付近の構造物が交互砂州の挙動に及ぼす影響に関する基礎的実験	池田
千島 武丸	宇都宮都市圏におけるLRT延伸時の通勤交通手段転換可能性	大森
堤 絢斗	繁華街活性化を目的とした飲食店マップの作成と効果	大森
寺崎 裕人	氾濫戻りが生じる合流部の開口部幅が蛇行河道内の流況に与える基礎的実験	飯村
永井 大晴	大規模降雨時の那珂川水系荒川における内水・外水氾濫流の流下に着目した数値解析	飯村
橋本 大典	宇都宮市中心部の路外駐車場と周辺土地利用の関係に関する基礎的研究	長田
廣瀬 尚也	アスファルト乳剤添加量によるセメント・アスファルト乳剤安定処理混合物の静的・動的強度変化	海野
藤嶋 涼	超弾性合金を塑性ヒンジ部に有する矩形橋脚の耐震性能に関する研究	藤倉
古川 雄大	河川源流部での産業遺構のドローン動画による景観訴求力向上に関する基礎的研究 一日光市足尾地域 古河橋をケーススタディとして	池田
穂積 里紀	大谷川・中禅寺湖における水資源開発と景観配慮の歴史的関係	中川
松村 晃希	コロナ禍を経験した大学生の余暇活動と主観的評価に関する研究	大森
宮下 怜	岩石の力学的性質と現場変状を考慮した地下空洞の構造安定性に関する研究	清木
山口 愛華	高耐久性すべり材を用いたシングル球面すべり支承の動的挙動に関する基礎的研究	藤倉
山本 章生	SUS埋設型枠を用いたハーフプレキャスト工法による壁高欄の実験的研究	藤倉
横本 大樹	防災士を交えた一般住民向け防災研修プログラムの在り方の検討	近藤
渡辺 康太	山間地域における森林管理状況が災害抑止効果に与える影響に関する基礎的研究 ～栃木県秋山川流域をケーススタディとして～	池田
新井 唯翔	シリカ質天然鉱物微粉末混和コンクリートの養生条件が止水性能と自己治癒性に及ぼす影響	藤原・丸岡
大矢 桃花	気水二相流を用いた模擬洗浄実験による洗浄力および最適な洗浄条件の分析評価	山岡
三浦 瑛人	大谷石群の構成成分に基づいた風化進行の相違に関する研究	清木
三浦 太智	流し込み製造を目指した超高強度コンクリートパイル開発に関する研究	藤原・丸岡
菊地 歩美	低水粉体比領域における微粉砕フライアッシュ混和モルタルの特性に関する研究	藤原・丸岡
細川 雄太郎	大谷地下空間の利用可能性拡大のための点検手法の構築に関する研究	清木

大学院(博士前期課程)

氏名	論文題目	指導教員
相楽 大紀	中心市街地における歩行者・自転車通行量を用いた通行量予測手法の開発に関する研究	長田
尾崎 光城	機械式定着具を用いた狭隘なPC床版接合部の曲げ挙動に関する研究	藤倉
水上 大輝	自転車関連事故発生エリアにおける道路交差環境に関する空間分析	長田
伊藤 恭祐	人為的に間隙空気の状態を変化させた砂質土のせん断挙動に関する研究	海野
高島 優大	等価時間係数を用いた繁華街へのアクセシビリティに関する研究	大森
NEUPANE BIKESH BABU	銅系超弾性合金を軸方向筋に用いたRC部材の応力ひずみ関係に関する研究	藤倉
菊池 尊丈	アルキルケテンダイマーでコーティングした2種類のクリンカー細骨材を用いたモルタルの基本性状に関する研究	藤原
金子 舜	電動キックボードの走行振動とシェアリングサービス利用状況の関係性に関する実証分析	長田
黒木 千聖	高炉スラグ微粉末を混和したモルタルの耐火性能に関する実験的研究	藤原
齋藤 響	公園・緑地へのアクセシビリティが生活の質に与える影響に関する研究	大森
篠本 宏太	建設プロジェクトにおける受発注者間のコミュニケーションに関する研究～日本とガーナでの調査～	近藤
島崎 湧馬	水道管内の水質環境に起因するバイオフィルムの形成	山岡
伊東 可恋	シリカ質天然鉱物微粉末混和モルタルの止水性能及び自己治癒性能の検討と新たな使用用途の開発	藤原
吉川 珠暖	オートクレーブ養生を施した超高強度金属繊維補強モルタルに関する研究	藤原
勝田 進之介	大型振動台実験による球面すべり支承の動的挙動に関する基礎研究	藤倉
吉川 遼	銅系超弾性合金を耐震補強に用いた矩形橋脚の耐震性に関する研究	藤倉
金澤 悠太	端部処理を考慮した板曲げを受ける接着接合部の疲労強度の評価に関する研究	Thay
高林 優美	水田の区画割と水路網の複雑性が雨水貯留特性に与える影響に関する基礎的研究	池田
小島 朋也	多量のフライアッシュおよびセメントクリンカー細骨材を用いたコンクリートの諸性状に関する研究	藤原

大学院(博士後期課程)

氏名	論文題目	指導教員
太田 和良	緊急時における土木行政による災害対応マネジメントの研究	山岡
大藪 宏文	活荷重または地震荷重が作用した際の球面すべり支承の力学的挙動に関する研究	藤倉
阿部 智彦	可塑性グラウト材料の高機能化と充填メカニズムに関する研究	藤原